

令和 8 年度実施

町民満足度・意識調査結果報告書

～令和 7 年度を振り返って～



令和 8 年 8 月
大 泉 町

目次

■ 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の方法及び回答率	1
3	その他	1

■ アンケート集計結果

I	「あなたご自身」のことについて	2
II	「まちづくり」の満足度と重要度について	6
1	産業振興	6
2	基盤整備	10
3	行財政と協働	14
4	保健福祉	18
5	生活環境	22
6	生涯学習	26
7	満足度×重要度平均値 上位・下位 10 項目	30
III	あなたの「意識」について①	50
IV	あなたの「意識」について②	55

■調査の概要

1 調査の目的

- (1) 町民の町政に対する評価とこれからのまちづくりに対するニーズや意識を統計的に把握し、町政運営にあたっての基礎資料とする。
- (2) 前年度の取り組みに対する満足度の結果から、「大泉町みらい創造羅針盤～大泉町総合計画 2019～」の第二期実施計画に掲げた施策の達成度の現状値を把握する。
- (3) 調査時点における各施策の重要度を踏まえ、今後の取り組みの方向性を検討する。

2 調査の方法及び回答率

調査の対象者、回答方法、有効回答率などは以下のとおりです。

対象者	無作為で抽出した 18 歳以上の町内在住者 1,800 人
有効発送数 (郵送戻等を除く)	1,764 件
実施時期	令和 8 年 4 月～5 月
回答方法	郵送、インターネットまたは LINE により回答
有効回答数	455 件 (郵送：266 件、インターネット：131 件、LINE：58 件)
有効回答率	25.79%

3 その他

- (1) 構成比はすべて百分率(%)で表し、小数点以下 2 位を四捨五入して算出しました。このため、合計が 100%に満たない場合や、100%を超える場合があります。
- (2) 複数回答となる設問は、1 人の回答者が 2 つ以上の回答を選択することができます。回答の各項目の構成比は、回答者数を基に算出しているため、合計が 100%を超える場合があります。
- (3) 日本人と外国人でアンケートの設問が一部異なっている箇所があるため、各設問の合計回答数が全体の有効回答数にならない場合があります。
- (4) 前年度から設問項目の内容を一部変更している箇所がありますが、過去の結果との比較においては、関連する項目の数値を表及びグラフにて表示しています。

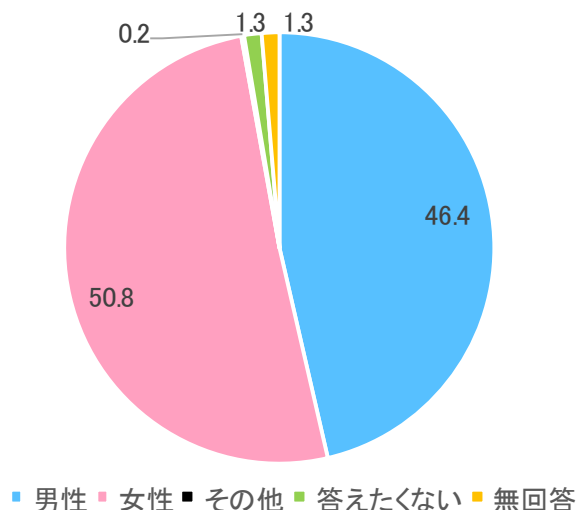
■ アンケート集計結果

I 「あなたご自身」のこについて

あなたご自身のこについて、各項目にあてはまる番号1つに○を付けてください。

■ 性別

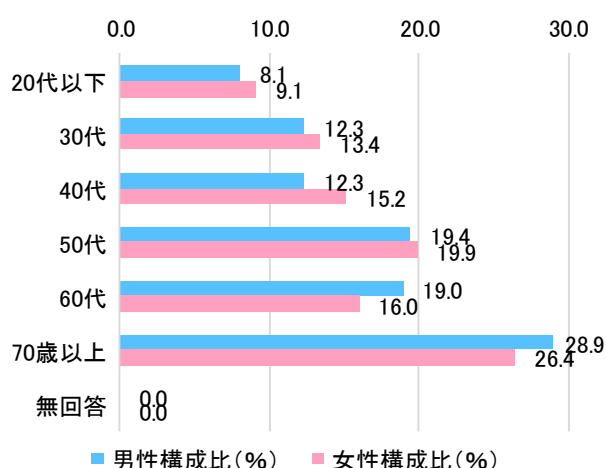
	全体 回答数	構成比 (%)
男性	211	46.4
女性	231	50.8
その他	1	0.2
答えたくない	6	1.3
無回答	6	1.3
計	455	100.0



『性別』については、「男性」が46.4%、「女性」が50.8%となっており、男女による回答率に大きな差は見られませんでした。

■ 年齢

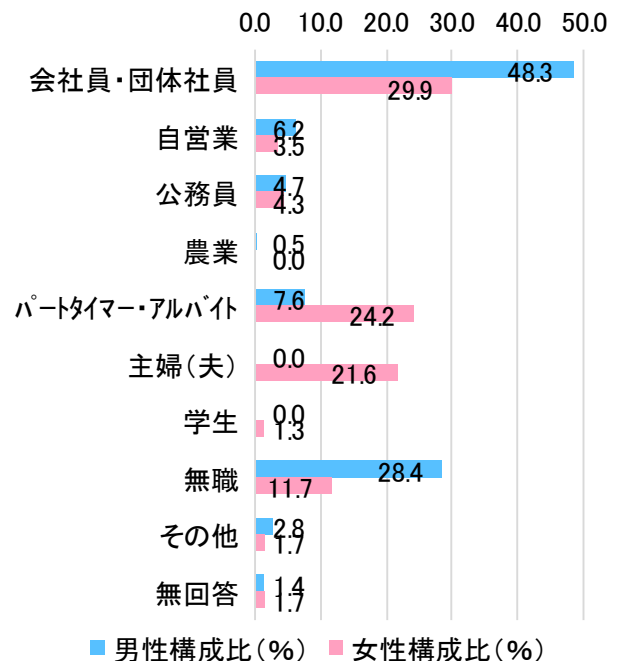
	全体 回答数	全体 構成比 (%)	男性 回答数	女性 回答数
20代以下	39	8.6	17	21
30代	59	13.0	26	31
40代	63	13.8	26	35
50代	91	20.0	41	46
60代	79	17.4	40	37
70歳以上	122	26.8	61	61
無回答	2	0.4	0	0
計	455	100.0	211	231



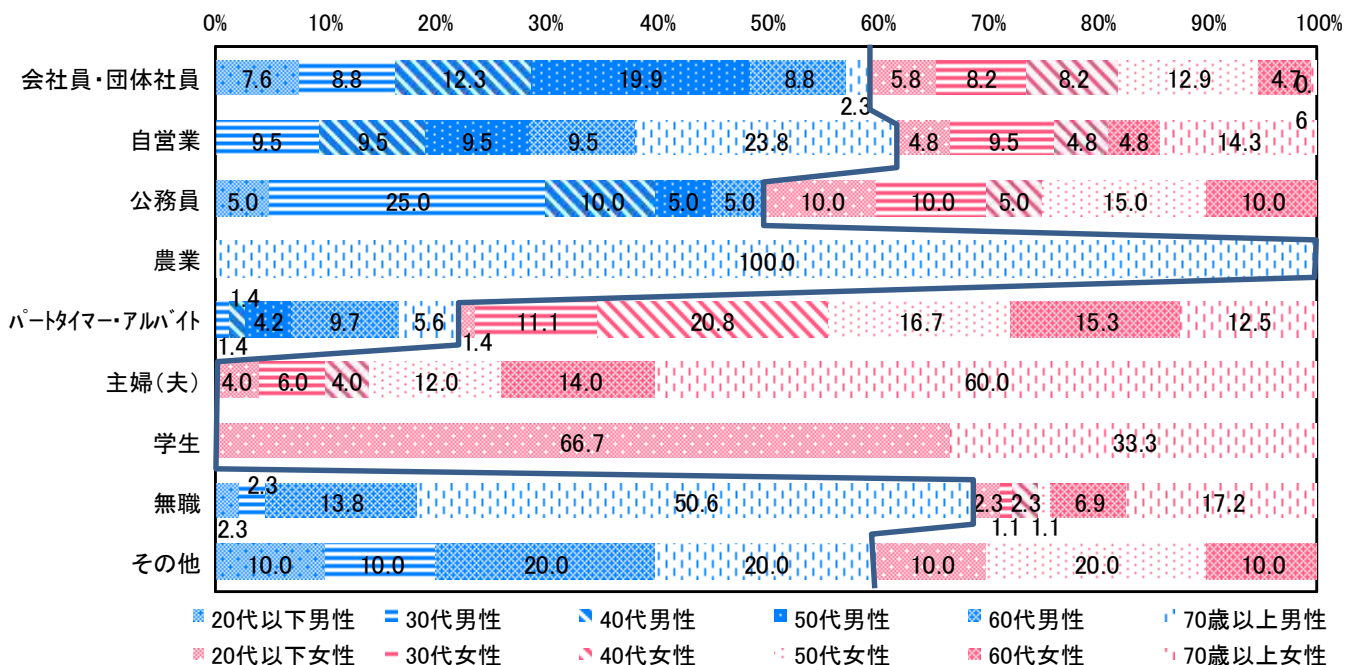
回答者の構成比では、70歳以上が26.8%と最も多く、約3割を占めています。また、高い年代ほど回答者の構成比が高い傾向が見られました。なお、これは回答者全体に占める割合を示したものであり、町全体の人口構成比を表すものではありません。性別による回答者の構成比には大きな差は見られませんでした。

■職業等

	全体 回答数	全体 構成比 (%)	男性 回答数	女性 回答数
会社員・ 団体社員	176	38.7	102	69
自営業	22	4.8	13	8
公務員	21	4.6	10	10
農業	1	0.2	1	0
パートタイマー・ アルバイト	74	16.3	16	56
主婦(夫)	51	11.2	0	50
学生	3	0.7	0	3
無職	87	19.1	60	27
その他	11	2.4	6	4
無回答	9	2.0	3	4
計	455	100.0	211	231



『職業等』については、「会社員・団体社員」が38.7%と最も多く、次いで「無職」が19.1%、「パートタイマー・アルバイト」が16.3%となっています。男性は「会社員・団体職員」が48.3%と最も多く、次いで「無職」が28.4%となっています。女性は「会社員・団体社員」が29.9%と最も多く、次いで「パートタイマー・アルバイト」が24.2%となっています。



全体で比較的多い職業等（「会社員・団体職員」「パートタイマー・アルバイト」「無職」）について、性別・年代別で見ると、「会社員・団体職員」は男女ともほぼすべての年代で見られ、特に多い年代は見られませんでした。「パートタイマー・アルバイト」は女性が多く、女性の30代から70歳以上までを合わせると7割以上（76.4%）となっています。「無職」は男女とも70歳以上が多く、男女の70歳以上を合わせると約7割（67.8%）となっています。

■大泉町での居住年数

	全体 回答数	全体 構成比(%)
1 年未満	10	2.2
1 年以上 5 年未満	39	8.6
5 年以上 10 年未満	49	10.8
10 年以上 20 年未満	52	11.4
20 年以上 30 年未満	67	14.7
30 年以上	235	51.6
無回答	3	0.7
計	455	100.0

『大泉町での居住年数』については、「30 年以上」が 51.6%と最も多く、次いで「20 年以上 30 年未満」が 14.7%、「10 年以上 20 年未満」が 11.4%などとなっています。

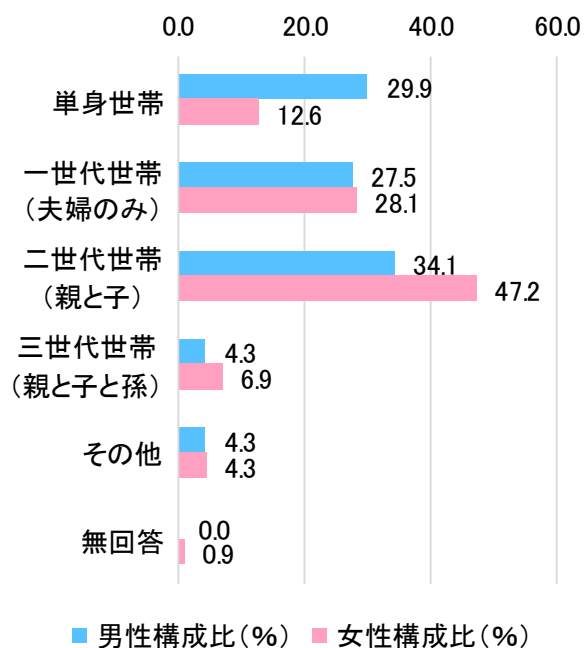
■お住まいの地区

	回答数	構成比(%)		回答数	構成比(%)
大字上小泉	4	0.9	富士一 ～ 三丁目	20	4.4
大字下小泉	1	0.2	西小泉一 ～ 五丁目	25	5.5
大字坂田	15	3.3	中央一 ～ 三丁目	5	1.1
大字古氷	37	8.1	朝日一 ～ 五丁目	49	10.8
大字寄木戸	47	10.3	東小泉一 ～ 三丁目	26	5.7
大字仙石	19	4.2	城之内一 ～ 五丁目	25	5.5
大字古海	27	5.9	北小泉一 ～ 四丁目	22	4.8
大字吉田	50	11.0	いずみ一 ～ 二丁目	1	0.2
住吉	11	2.4	坂田一 ～ 七丁目	23	5.1
日の出	6	1.3	仙石一 ～ 四丁目	17	3.7
丘山	10	2.2	無回答	15	3.3
計				455	100.0

『お住まいの地区』については、「大字吉田」が 11.0%と最も多く、次いで「朝日一～五丁目」が 10.8%、「大字寄木戸」が 10.3%などとなっており、おおむね居住人口どおりとなっています。

■家族構成

	回答数	構成比 (%)	男性 回答数	女性 回答数
単身世帯	94	20.7	63	29
一世代世帯 (夫婦のみ)	127	27.9	58	65
二世代会世帯 (親と子)	185	40.7	72	109
三世代会世帯 (親と子と孫)	25	5.5	9	16
その他	21	4.6	9	10
無回答	3	0.7	0	2
計	455	100.0	211	231



『家族構成』については、「二世代会世帯（親と子）」が40.7%と最も多く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」は27.9%、「単身世帯」が20.7%となっています。



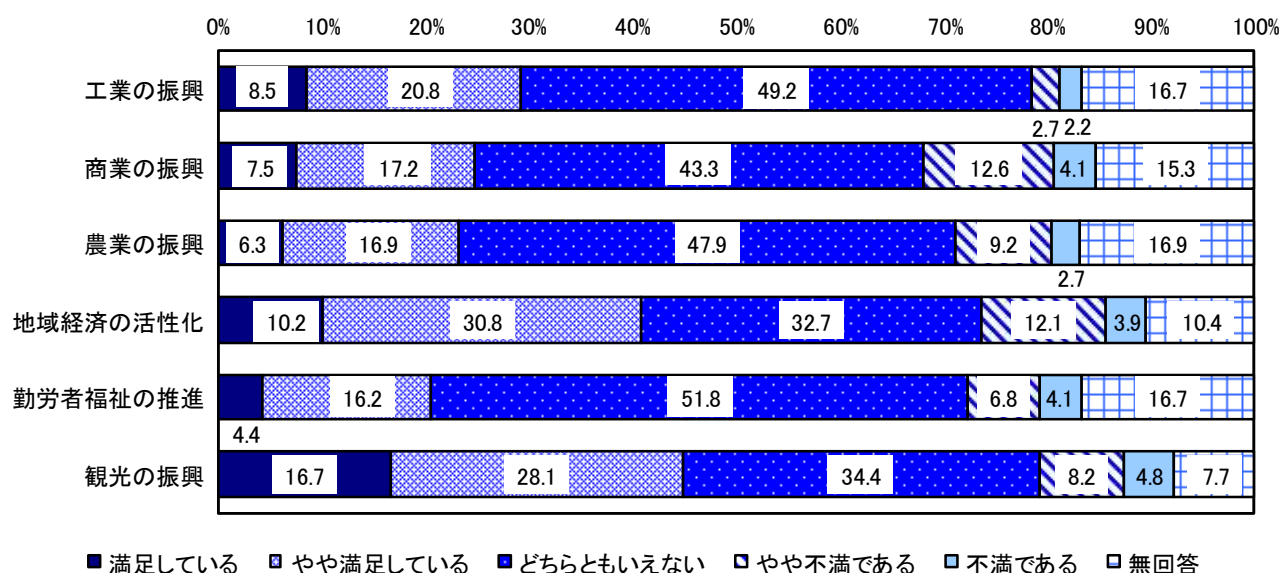
Ⅱ 「まちづくり」の満足度と重要度について

以下の項目について、令和7年度中の町の取り組みに対してあなたが感じている「満足度」と、今後町が取り組むにあたっての「重要度」について、お答えください。
※日本人のみの設問となっています。

1 産業振興（工業の振興、商業の振興、農業の振興、地域経済の活性化、勤労者福祉の推進、観光の振興）

【満足度】

満足度	満足している		やや満足している		どちらともいえない		やや不満である		不満である		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 工業の振興	35	8.5	86	20.8	203	49.2	11	2.7	9	2.2	69	16.7	413	100.0
② 商業の振興	31	7.5	71	17.2	179	43.3	52	12.6	17	4.1	63	15.3	413	100.0
③ 農業の振興	26	6.3	70	16.9	198	47.9	38	9.2	11	2.7	70	16.9	413	100.0
④ 地域経済の活性化	42	10.2	127	30.8	135	32.7	50	12.1	16	3.9	43	10.4	413	100.0
⑤ 勤労者福祉の推進	18	4.4	67	16.2	214	51.8	28	6.8	17	4.1	69	16.7	413	100.0
⑥ 観光の振興	69	16.7	116	28.1	142	34.4	34	8.2	20	4.8	32	7.7	413	100.0

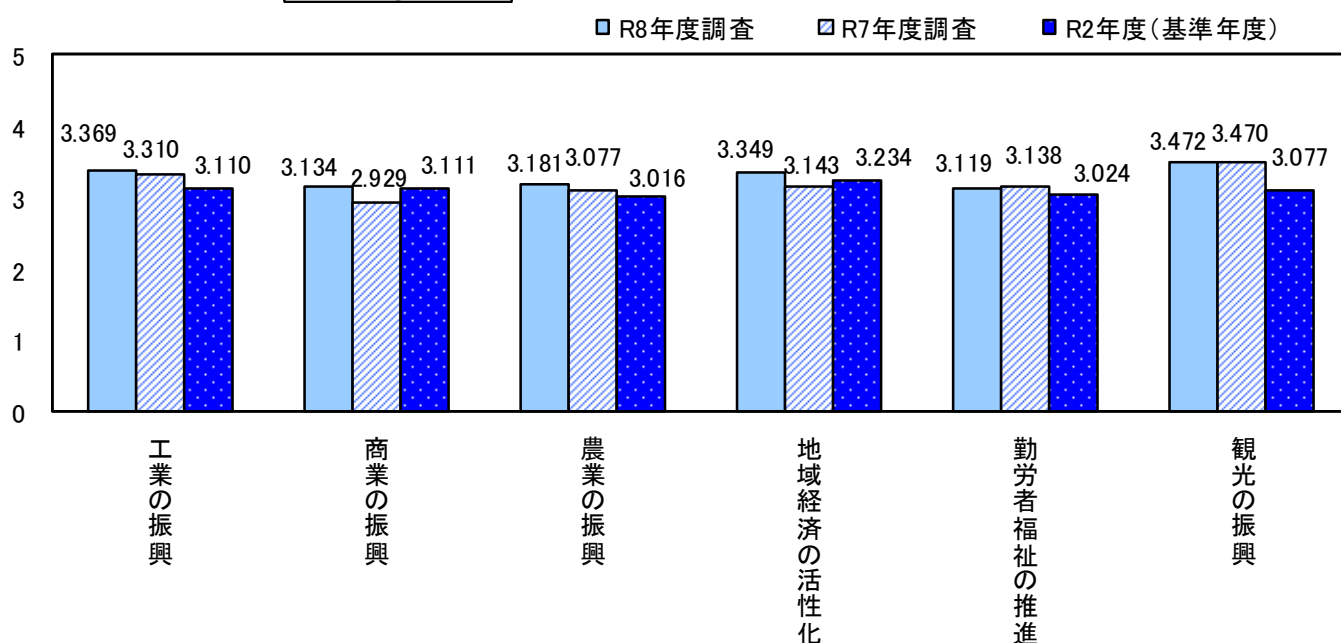


『産業振興』の「満足している」と「やや満足している」の合計は、「観光の振興」が44.8%と最も多く、次いで「地域経済の活性化」が41.0%、「工業の振興」が29.3%などとなっています。一方、「不満である」と「やや不満である」の合計は、「商業の振興」が16.7%と最も多く、次いで「地域経済の活性化」が16.0%、「農業の振興」が11.9%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 満足 4 やや満足 3 どちらともいえない 2 やや不満 1 不満

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
工業の振興	3.369	3.310	3.110	0.059	0.259
商業の振興	3.134	2.929	3.111	0.205	0.023
農業の振興	3.181	3.077	3.016	0.104	0.165
地域経済の活性化	3.349	3.143	3.234	0.206	0.115
勤労者福祉の推進	3.119	3.138	3.024	▲ 0.019	0.095
観光の振興	3.472	3.470	3.077	0.002	0.395



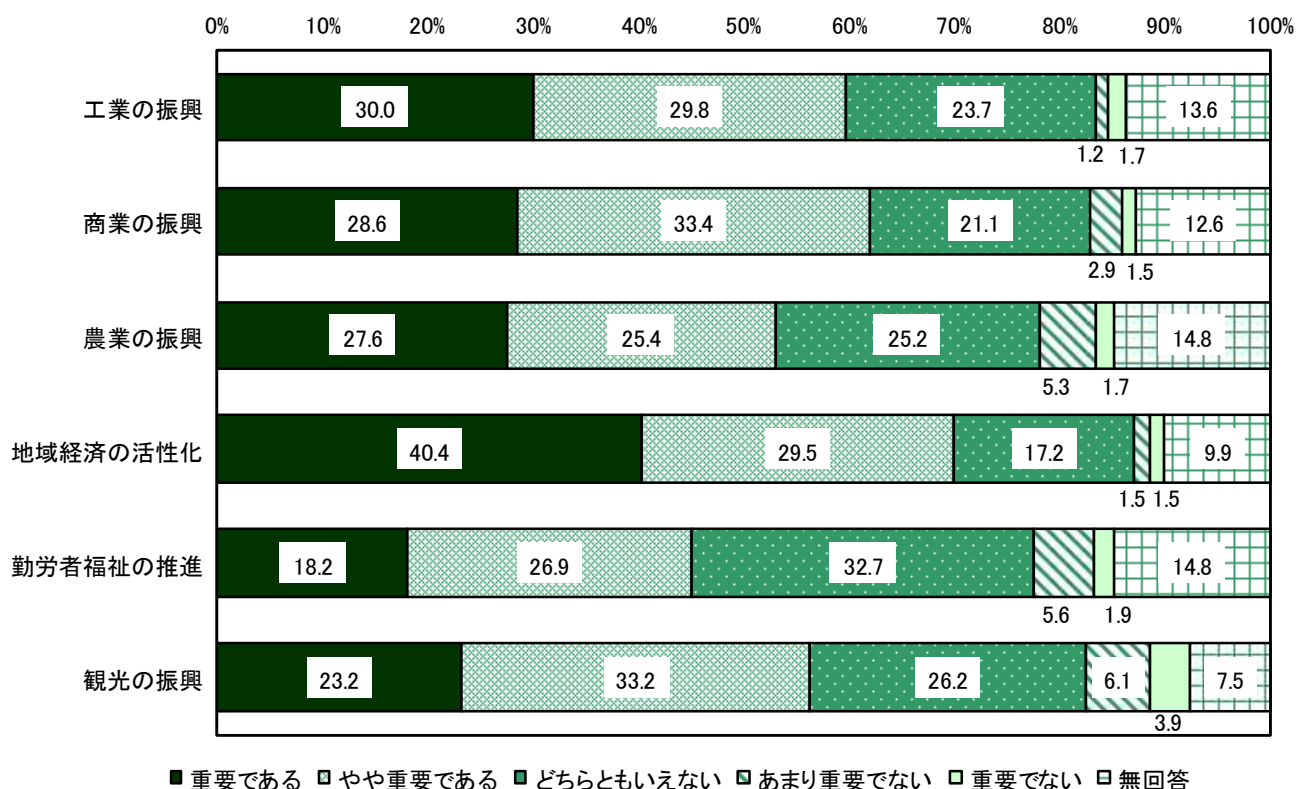
本分野における満足度は、「観光の振興」が 3.472 点と最も高く、刀水橋花火大会をはじめとした地域イベント実施への評価が影響していると考えられます。

また、「地域経済の活性化」の満足度が 3.349 点(前年比+0.206 点)へと急上昇している点については、独自のプレミアム付商品券事業をはじめとする各種補助制度といった取り組みが評価されたものと考えますが、同項目に「不満」「やや不満」と回答した人が 16.0%いることについては、物価高騰などにより地域経済の先行きに不安を抱いている町民が依然として多いことを示していると考えます。

この点については、同じく V 字回復を遂げているものの「不満」「やや不満」と回答した人が 16.7%を占める「商業の振興」についても、同様のことがいえます。

【重要度】

重要度	重要である		やや重要である		どちらともいえない		あまり重要でない		重要ではない		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 工業の振興	124	30.0	123	29.8	98	23.7	5	1.2	7	1.7	56	13.6	413	100.0
② 商業の振興	118	28.6	138	33.4	87	21.1	12	2.9	6	1.5	52	12.6	413	100.0
③ 農業の振興	114	27.6	105	25.4	104	25.2	22	5.3	7	1.7	61	14.8	413	100.0
④ 地域経済の活性化	167	40.4	122	29.5	71	17.2	6	1.5	6	1.5	41	9.9	413	100.0
⑤ 勤労者福祉の推進	75	18.2	111	26.9	135	32.7	23	5.6	8	1.9	61	14.8	413	100.0
⑥ 観光の振興	96	23.2	137	33.2	108	26.2	25	6.1	16	3.9	31	7.5	413	100.0



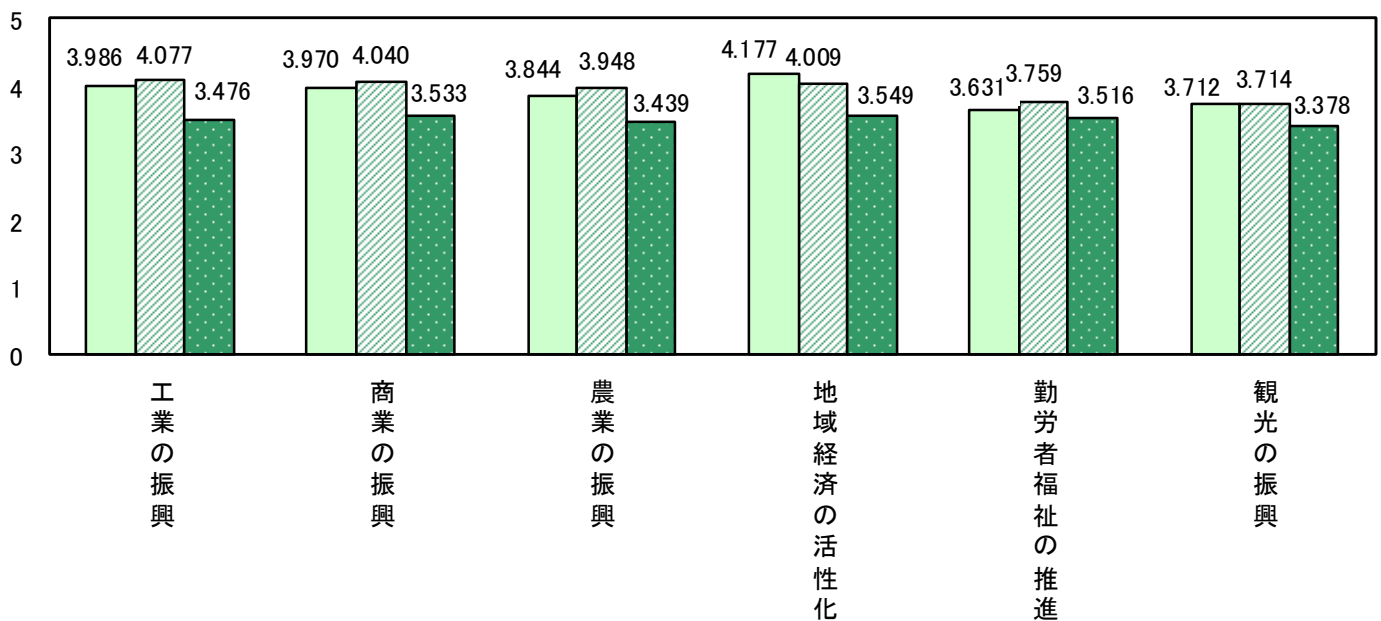
『産業振興』の「重要である」と「やや重要である」の合計は、「地域経済の活性化」が69.9%と最も多く、次いで「商業の振興」が62.0%、「工業の振興」が59.8%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 重要 4 やや重要 3 どちらともいえない 2 あまり重要ではない 1 重要ではない

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
工業の振興	3.986	4.077	3.476	▲ 0.091	0.510
商業の振興	3.970	4.040	3.533	▲ 0.070	0.437
農業の振興	3.844	3.948	3.439	▲ 0.104	0.405
地域経済の活性化	4.177	4.009	3.549	0.168	0.628
勤労者福祉の推進	3.631	3.759	3.516	▲ 0.128	0.115
観光の振興	3.712	3.714	3.378	▲ 0.002	0.334

□ R8年度調査 □ R7年度調査 ■ R2年度(基準年度)



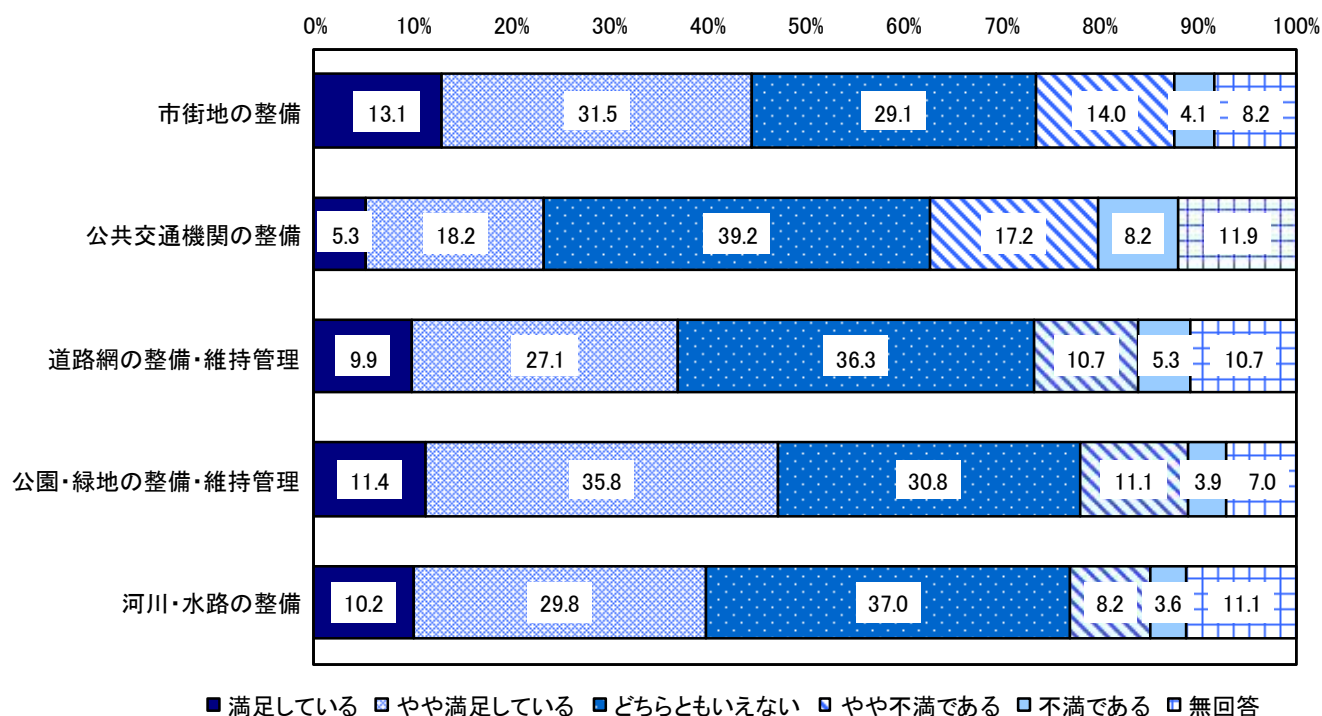
「地域経済の活性化」の満足度が回復の兆しを見せつつも、同項目の重要度が4.177点へと急上昇している背景には、物価高騰などにより地域経済の先行きに不安を抱いている町民の持続的な経済・雇用基盤への強い要望が見て取れます。

これらを踏まえ、令和8年度は地域経済の更なる活性化に向けて、企業間のビジネスマッチング支援や新産業団地の確保などの取り組みを進めています。具体的には、情報交換会の開催や各種奨励金の利用促進、新産業団地の立地支援と企業誘致後の継続的な支援、中小企業の経営基盤の強化に向けた支援などを行い、地域経済全体の底上げを図ります。

2 基盤整備（市街地の整備、道路網の整備・維持管理、公園・緑地の整備・維持管理、河川・水路の整備）

【満足度】

満足度	満足している		やや満足している		どちらとも いえない		やや 不満である		不満である		無回答		計	
	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)
① 市街地の整備	54	13.1	130	31.5	120	29.1	58	14.0	17	4.1	34	8.2	413	100.0
② 公共交通機関の整備	22	5.3	75	18.2	162	39.2	71	17.2	34	8.2	49	11.9	413	100.0
③ 道路網の整備・維持管理	41	9.9	112	27.1	150	36.3	44	10.7	22	5.3	44	10.7	413	100.0
④ 公園・緑地の整備・維持管理	47	11.4	148	35.8	127	30.8	46	11.1	16	3.9	29	7.0	413	100.0
⑤ 河川・水路の整備	42	10.2	123	29.8	153	37.0	34	8.2	15	3.6	46	11.1	413	100.0

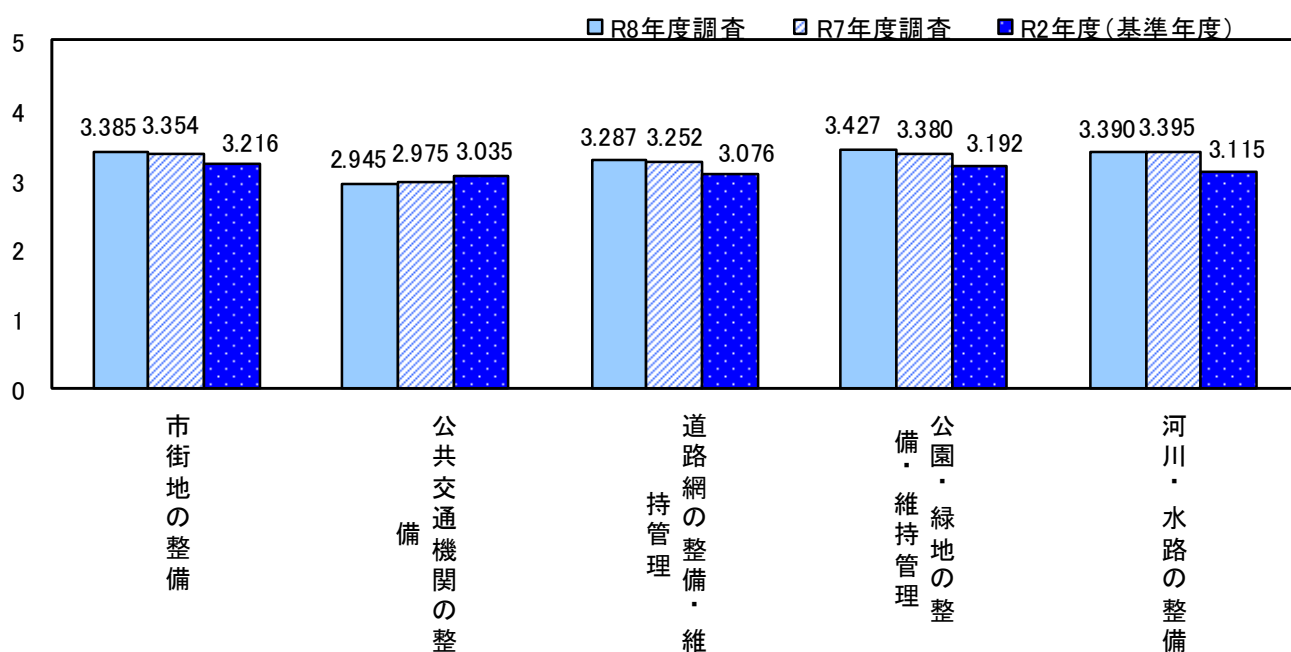


『基盤整備』の「満足している」と「やや満足している」の合計は、「公園・緑地の整備・維持管理」が47.2%と最も多く、次いで「市街地の整備」が44.6%、「河川・水路の整備」が40.0%などとなっています。一方、「不満である」と「やや不満である」の合計は、「公共交通機関の整備」が25.4%と最も多く、次いで「市街地の整備」が18.1%、「道路網の整備・維持管理」が16.0%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 満足 4 やや満足 3 どちらともいえない 2 やや不満 1 不満

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
市街地の整備	3.385	3.354	3.216	0.031	0.169
公共交通機関の整備	2.945	2.975	3.035	▲ 0.030	▲ 0.090
道路網の整備・維持管理	3.287	3.252	3.076	0.035	0.211
公園・緑地の整備・維持管理	3.427	3.380	3.192	0.047	0.235
河川・水路の整備	3.390	3.395	3.115	▲ 0.005	0.275



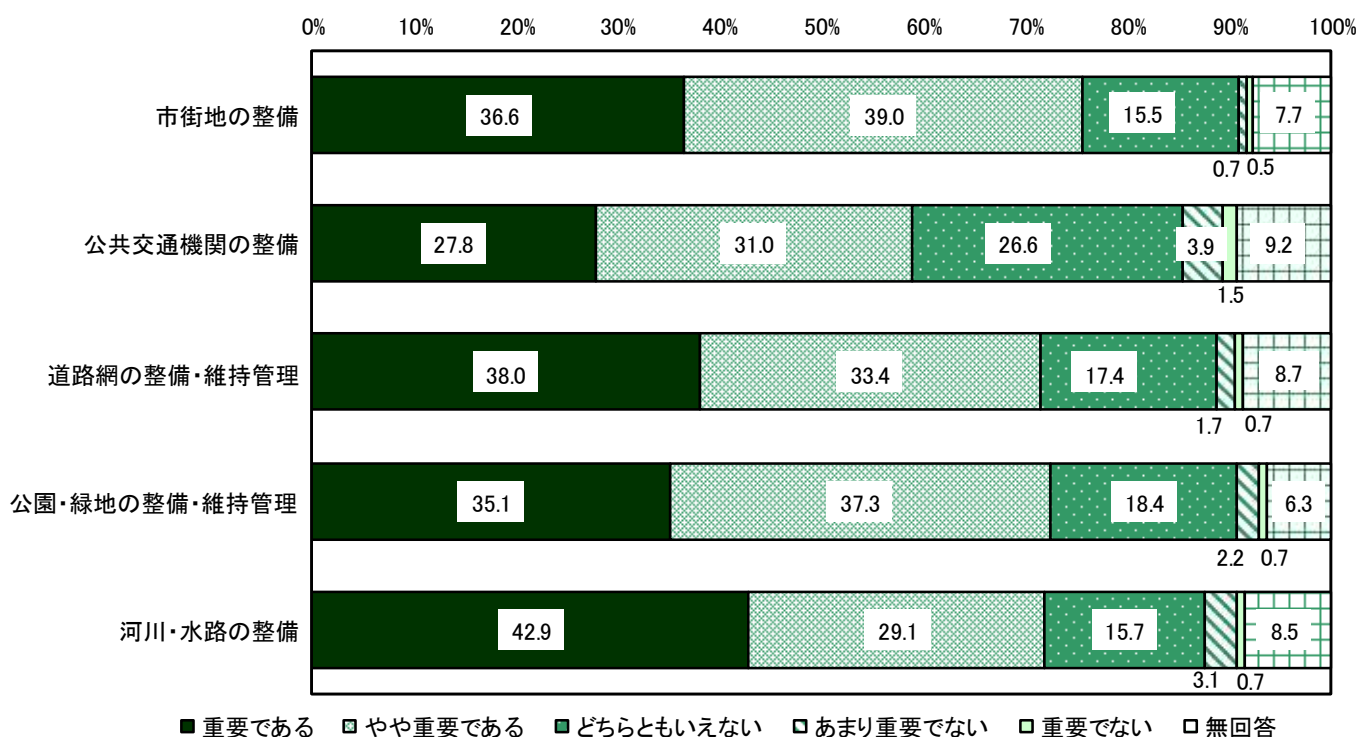
本分野における満足度は、市街地の整備（3.385 点）や公園・緑地の維持管理（3.427 点）が改善傾向を示しており、これまでのインフラ投資や遊具点検・樹木剪定といった日常的な管理体制（生活環境分野とも密接に関連）が一定の評価を得ていることが伺えます。

一方で、「公共交通機関の整備」は 2.945 点と全項目中で唯一 3 点台を割り込む最下位の評価となっており、現状の移動手段に対する課題が表れています。

令和 8 年度は、この満足度低下の解消に向けて『地域公共交通計画策定事業』に着手し、持続可能な公共交通の構築に向けた取り組みを進めていきます。

【重要度】

重要度	重要である		やや重要である		どちらともいえない		あまり重要でない		重要ではない		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 市街地の整備	151	36.6	161	39.0	64	15.5	3	0.7	2	0.5	32	7.7	413	100.0
② 公共交通機関の整備	115	27.8	128	31.0	110	26.6	16	3.9	6	1.5	38	9.2	413	100.0
③ 道路網の整備・維持管理	157	38.0	138	33.4	72	17.4	7	1.7	3	0.7	36	8.7	413	100.0
④ 公園・緑地の整備・維持管理	145	35.1	154	37.3	76	18.4	9	2.2	3	0.7	26	6.3	413	100.0
⑤ 河川・水路の整備	177	42.9	120	29.1	65	15.7	13	3.1	3	0.7	35	8.5	413	100.0

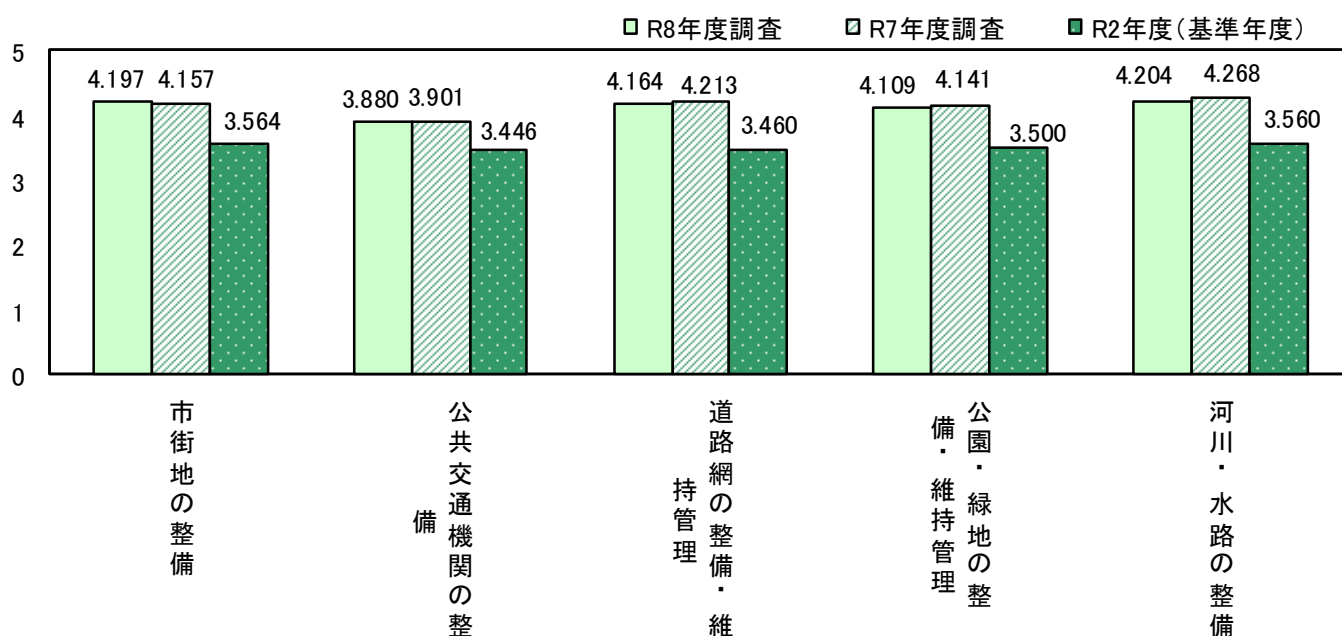


『基盤整備』の「重要である」と「やや重要である」の合計は、「市街地の整備」が75.6%と最も多く、次いで「公園・緑地の整備・維持管理」が72.4%、「河川・水路の整備」が72.0%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 重要 4 やや重要 3 どちらともいえない 2 あまり重要ではない 1 重要ではない

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
市街地の整備	4.197	4.157	3.564	0.040	0.633
公共交通機関の整備	3.880	3.901	3.446	▲ 0.021	0.434
道路網の整備・維持管理	4.164	4.213	3.460	▲ 0.049	0.704
公園・緑地の整備・維持管理	4.109	4.141	3.500	▲ 0.032	0.609
河川・水路の整備	4.204	4.268	3.560	▲ 0.064	0.644



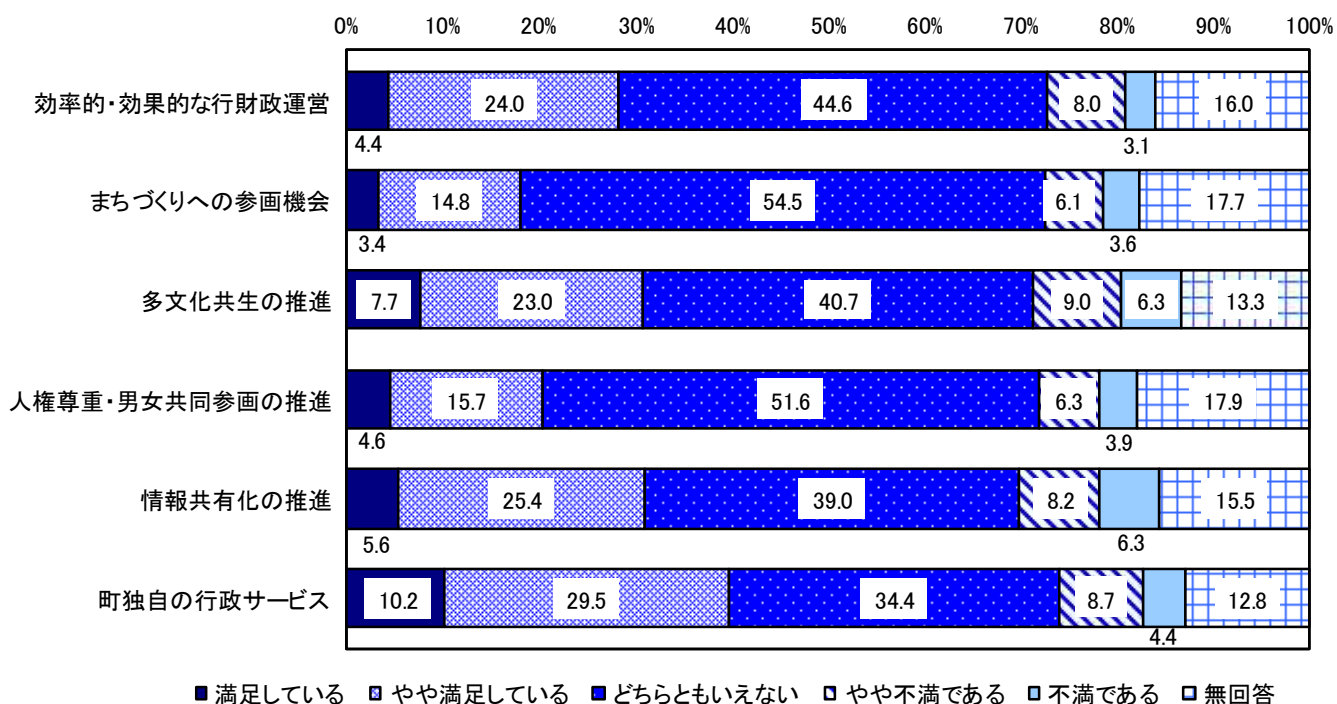
重要度の経年推移を見ると、町民のニーズが日常の安全に直結する「河川・水路の整備（4.204 点）」に重点がおかれています。これは、近年多発する局地的な大雨など、自然災害への危機感が反映されたものであり、災害対策拠点となる新庁舎運用（生活環境分野の防災対策と関連する）との関連性が非常に高い分野といえます。

寄木戸地区・西小泉地区・北小泉地区をはじめとした、町内における水害対策については、降雨等による浸水や冠水対策として道路側溝等の新設を進めるとともに、上小泉地区における新産業団地造成に伴う洪水調整池の整備を行っていきます。

3 行財政と協働 (効率的・効果的な行財政運営、協働のまちづくりの推進、多文化共生の推進、 人権尊重・男女共同参画の推進、情報共有化の推進、地域創生の推進)

【満足度】

満足度	満足している		やや満足している		どちらともいえない		やや不満である		不満である		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 効率的・効果的な行財政運営	18	4.4	99	24.0	184	44.6	33	8.0	13	3.1	66	16.0	413	100.0
② まちづくりへの参画の機会	14	3.4	61	14.8	225	54.5	25	6.1	15	3.6	73	17.7	413	100.0
③ 多文化共生の推進	32	7.7	95	23.0	168	40.7	37	9.0	26	6.3	55	13.3	413	100.0
④ 人権尊重・男女共同参画の推進	19	4.6	65	15.7	213	51.6	26	6.3	16	3.9	74	17.9	413	100.0
⑤ 情報共有化の推進	23	5.6	105	25.4	161	39.0	34	8.2	26	6.3	64	15.5	413	100.0
⑥ 町独自の行政サービス	42	10.2	122	29.5	142	34.4	36	8.7	18	4.4	53	12.8	413	100.0

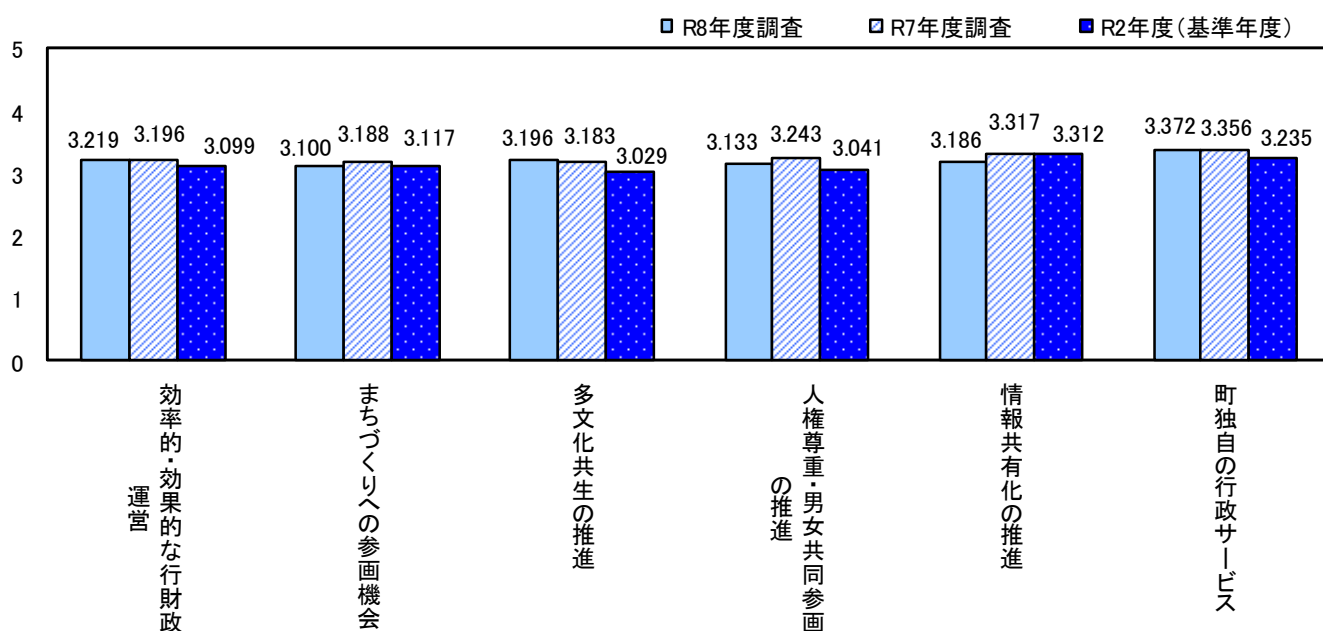


『行財政と協働』の「満足している」と「やや満足している」の合計は、「町独自の行政サービス」が39.7%と最も多く、次いで「情報共有化の推進」が31.0%、「多文化共生の推進」が30.7%などとなっています。一方、「不満である」と「やや不満である」の合計は、「多文化共生の推進」が15.3%と最も多く、次いで「情報共有化の推進」が14.5%、「町独自の行政サービス」が13.1%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 満足 4 やや満足 3 どちらともいえない 2 やや不満 1 不満

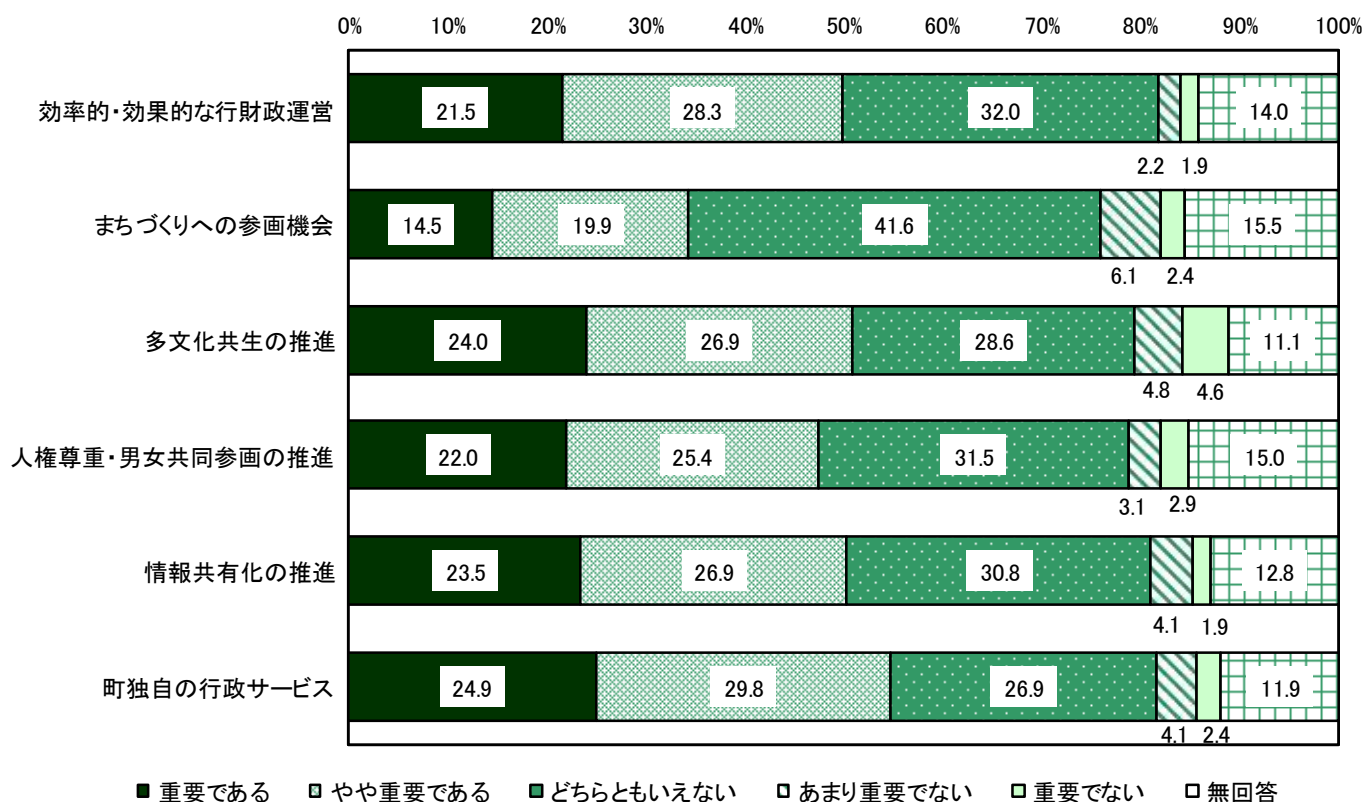
	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
効率的・効果的な行財政運営	3.219	3.196	3.099	0.023	0.120
まちづくりへの参画機会	3.100	3.188	3.117	▲ 0.088	▲ 0.017
多文化共生の推進	3.196	3.183	3.029	0.013	0.167
人権尊重・男女共同参画の推進	3.133	3.243	3.041	▲ 0.110	0.092
情報共有化の推進	3.186	3.317	3.312	▲ 0.131	▲ 0.126
町独自の行政サービス	3.372	3.356	3.235	0.016	0.137



本分野では、満足度平均値 3.186 点の「情報共有化の推進」が前年から 0.131 点、さらに基準年度から 0.126 点低下しており、年代別分析から、特に 40 代以降の世代で満足度が低迷していることが分かりました。SNS などの情報発信が定着していった一方、自身に必要な情報が見つげにくいことや、デジタルでの情報の読みづらさといった課題があると推測されます。今後は「発信量の増加」から「ニーズに応じた情報の最適化」へ転換し、世代ごとに的確に情報を届ける新たなアプローチに向け、調査・研究を進めていきます。

【重要度】

重要度	重要である		やや重要である		どちらともいえない		あまり重要でない		重要ではない		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 効率的・効果的な行財政運営	89	21.5	117	28.3	132	32.0	9	2.2	8	1.9	58	14.0	413	100.0
② まちづくりへの参画の機会	60	14.5	82	19.9	172	41.6	25	6.1	10	2.4	64	15.5	413	100.0
③ 多文化共生の推進	99	24.0	111	26.9	118	28.6	20	4.8	19	4.6	46	11.1	413	100.0
④ 人権尊重・男女共同参画の推進	91	22.0	105	25.4	130	31.5	13	3.1	12	2.9	62	15.0	413	100.0
⑤ 情報共有化の推進	97	23.5	111	26.9	127	30.8	17	4.1	8	1.9	53	12.8	413	100.0
⑥ 町独自の行政サービス	103	24.9	123	29.8	111	26.9	17	4.1	10	2.4	49	11.9	413	100.0

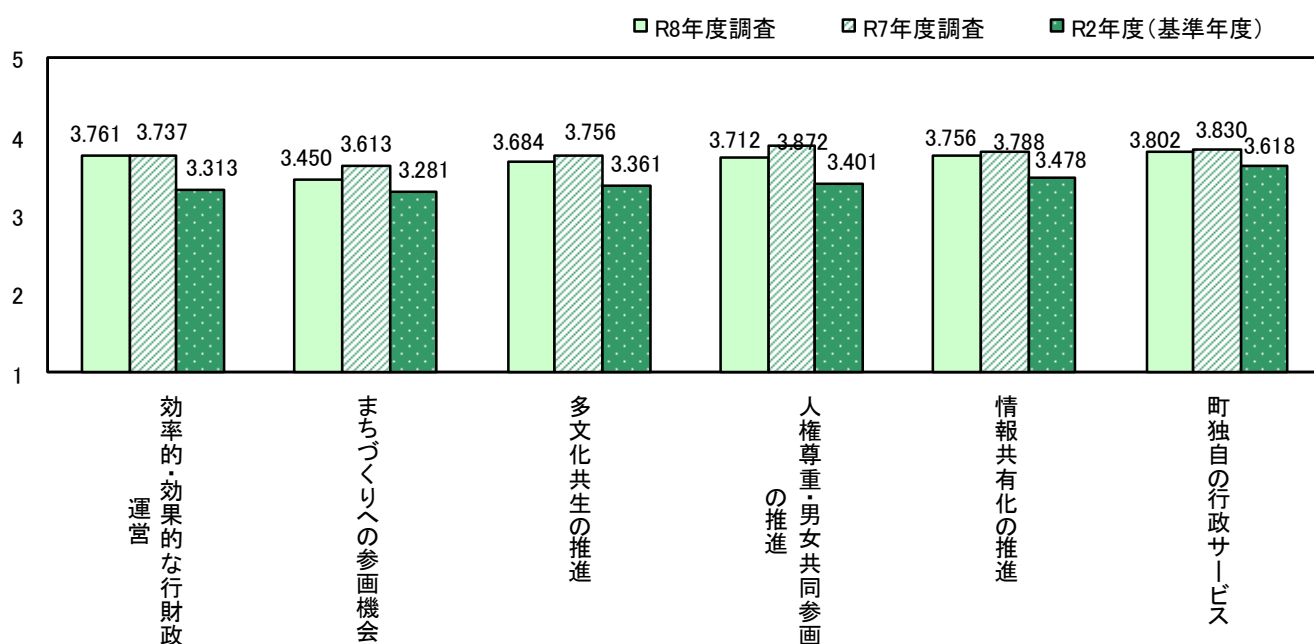


『行財政と協働』の「重要である」と「やや重要である」の合計は、「町独自の行政サービス」が54.7%と最も多く、次いで「多文化共生の推進」が50.9%、「情報共有化の推進」が50.4%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 重要 4 やや重要 3 どちらともいえない 2 あまり重要ではない 1 重要ではない

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
効率的・効果的な行財政運営	3.761	3.737	3.313	0.024	0.448
まちづくりへの参画機会	3.450	3.613	3.281	▲ 0.163	0.169
多文化共生の推進	3.684	3.756	3.361	▲ 0.072	0.323
人権尊重・男女共同参画の推進	3.712	3.872	3.401	▲ 0.160	0.311
情報共有化の推進	3.756	3.788	3.478	▲ 0.032	0.278
町独自の行政サービス	3.802	3.830	3.618	▲ 0.028	0.184



本分野においては「町独自の行政サービス」の重要度が3.802点と最も高く、画一的な事業にとらわれない行政の柔軟な対応を期待する町民の声が強いことが伺えます。令和9年3月には町政施行70周年を迎えることから、町民参画の機会として記念事業の実施に向けた企画・準備を行っていきます。

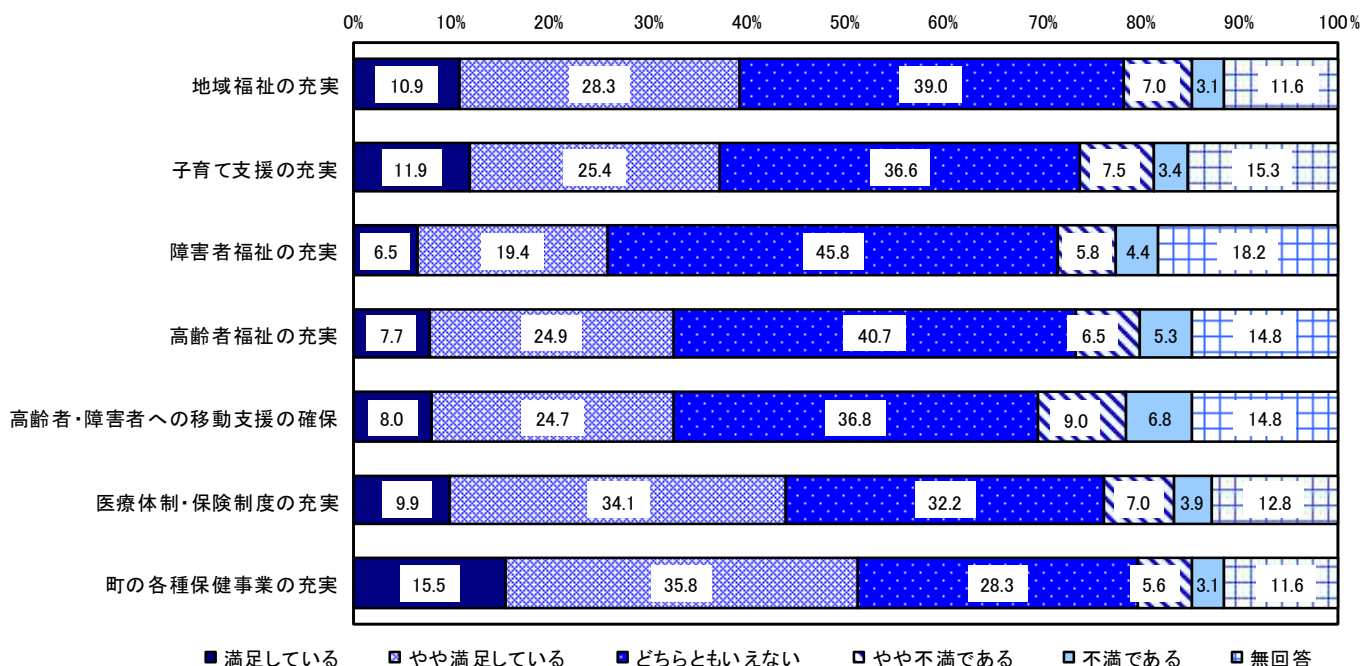
また、「効率的・効果的な行財政運営」の重要度が3.761点と、基準年度(R2:3.313点)と比較すると0.448点増加している背景には、社会保障関係費等の増加が見込まれる中、限られた経営資源で質の高い行政サービスを維持・継続してほしいという町民の要望が見て取れます。

この点については、令和8年度は持続可能な行財政運営の確立に向けて、ふるさと納税制度の拡充や地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)等の活用による新たな自主財源の確保や、各種行政手続きのデジタル化の推進による業務全体の省力化・効率化を進めていきます。

4 保健福祉 (地域福祉の充実、子育て支援の充実、障害者福祉の充実、高齢者福祉の充実、医療体制と保険制度の充実、健康の保持増進)

【満足度】

満足度	満足している		やや満足している		どちらともいえない		やや不満である		不満である		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 地域福祉の充実	45	10.9	117	28.3	161	39.0	29	7.0	13	3.1	48	11.6	413	100.0
② 子育て支援の充実	49	11.9	105	25.4	151	36.6	31	7.5	14	3.4	63	15.3	413	100.0
③ 障害者福祉の充実	27	6.5	80	19.4	189	45.8	24	5.8	18	4.4	75	18.2	413	100.0
④ 高齢者福祉の充実	32	7.7	103	24.9	168	40.7	27	6.5	22	5.3	61	14.8	413	100.0
⑤ 高齢者・障害者への移動支援の確保	33	8.0	102	24.7	152	36.8	37	9.0	28	6.8	61	14.8	413	100.0
⑥ 医療体制・保険制度の充実	41	9.9	141	34.1	133	32.2	29	7.0	16	3.9	53	12.8	413	100.0
⑦ 町の各種保健事業の充実	64	15.5	148	35.8	117	28.3	23	5.6	13	3.1	48	11.6	413	100.0

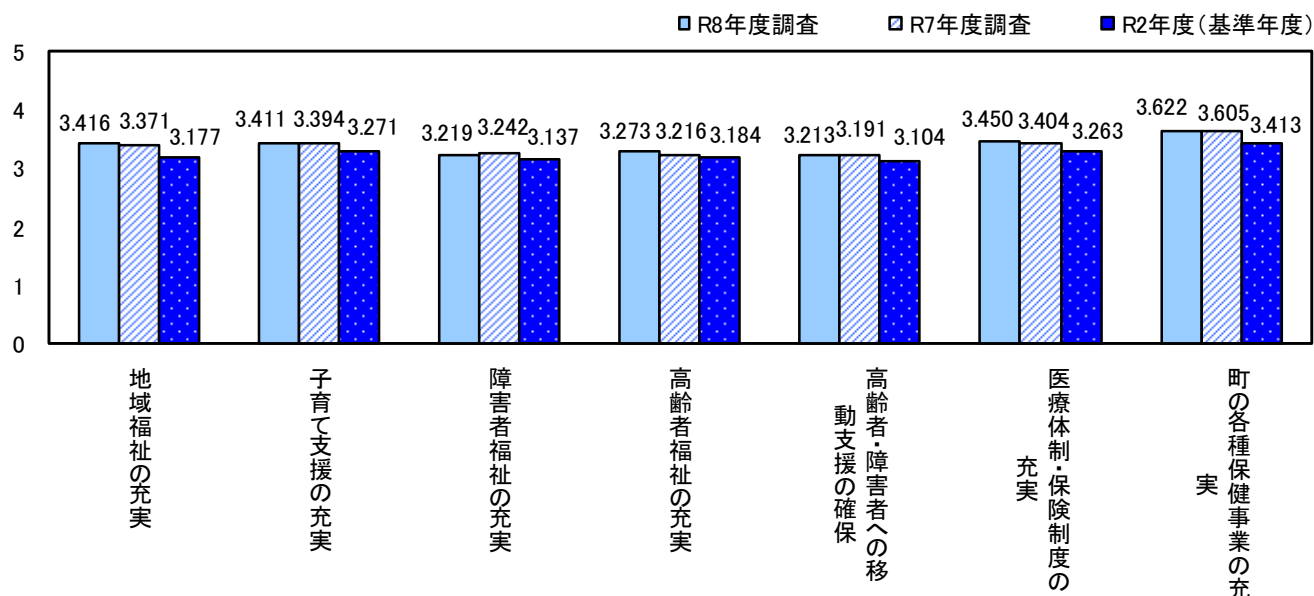


『保健福祉』の「満足している」と「やや満足している」の合計は、「町の各種保健事業の充実」が51.3%と最も多く、次いで「医療体制・保険制度の充実」が44.0%、「地域福祉の充実」が39.2%などとなっています。一方、「不満である」と「やや不満である」の合計は「高齢者・障害者への移動支援の確保」が15.8%と最も多く、次いで「高齢者福祉の充実」が11.8%、「子育て支援の充実」と「医療体制・保険制度の充実」が10.9%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 満足 4 やや満足 3 どちらともいえない 2 やや不満 1 不満

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
地域福祉の充実	3.416	3.371	3.177	0.045	0.239
子育て支援の充実	3.411	3.394	3.271	0.017	0.140
障害者福祉の充実	3.219	3.242	3.137	▲ 0.023	0.082
高齢者福祉の充実	3.273	3.216	3.184	0.057	0.089
高齢者・障害者への移動支援の確保	3.213	3.191	3.104	0.022	0.109
医療体制・保険制度の充実	3.450	3.404	3.263	0.046	0.187
町の各種保健事業の充実	3.622	3.605	3.413	0.017	0.209

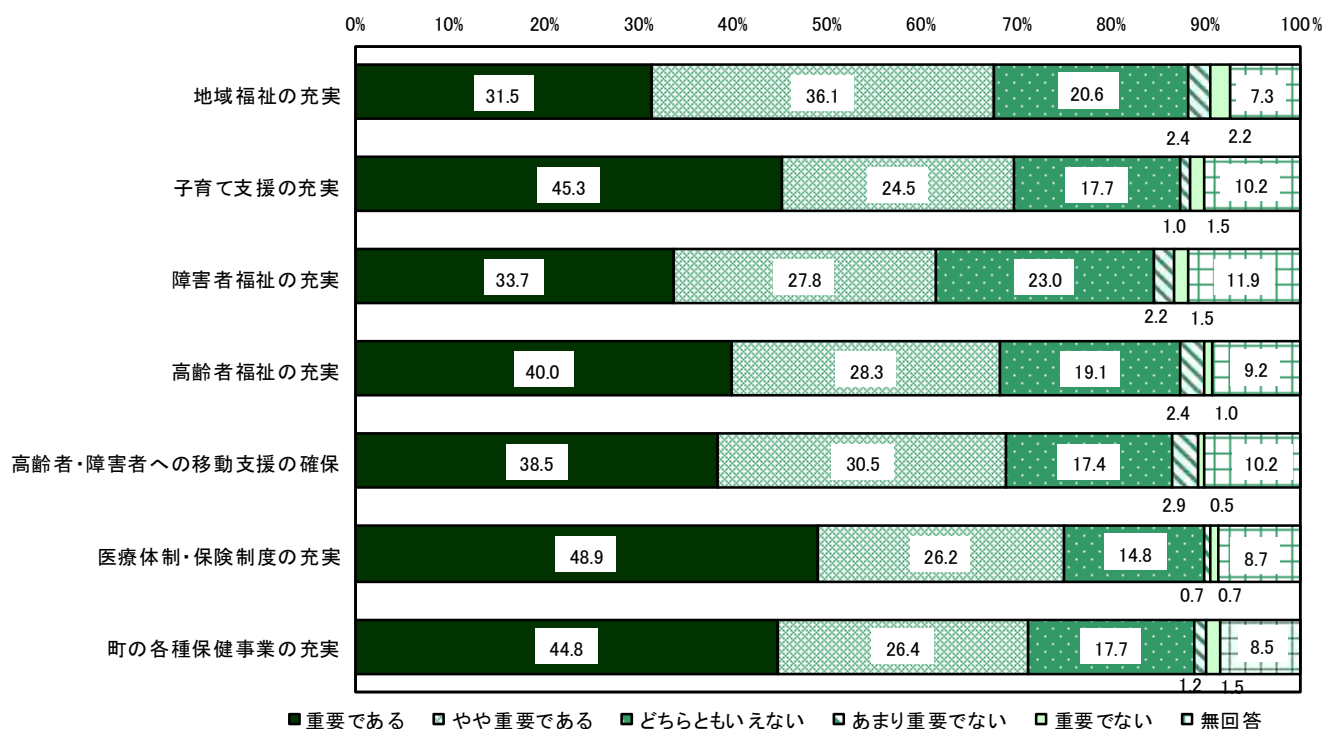


本分野における満足度は、「町の各種保健事業の充実」が3.622点（前年比+0.017点）と全38項目中第2位と高い評価を得ており、がん検診や乳幼児健診をはじめとする各種けんしんを通じた疾病予防の推進のほか、健康に関する相談事業などの取り組みが広く浸透していることが伺えます。令和8年度も、多様化する町民ニーズに応じ、質の高い保健サービスを提供することで、誰もが生涯にわたり健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

一方で、「高齢者・障害者への移動支援の確保」は3.213点と経年で微増傾向にはあるものの、「不満」「やや不満」と回答した人が15.8%を占めています。この「不満」「やや不満」と回答した人のうち、50代から70歳以上の回答者の割合は61.5%と過半数を超え、移動手段の確保を困難と感じる高齢者層をはじめとする当事者世代が多く、課題が解決途上にあることを示しています。令和8年度は引き続き、令和7年度に運賃引き下げを行った「高齢者等デマンド交通事業」の周知・利用促進をはじめ、安全・安心な高齢者等の暮らしの基盤を整えていきます。

【重要度】

重要度	重要である		やや重要である		どちらともいえない		あまり重要でない		重要ではない		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 地域福祉の充実	130	31.5	149	36.1	85	20.6	10	2.4	9	2.2	30	7.3	413	100.0
② 子育て支援の充実	187	45.3	101	24.5	73	17.7	4	1.0	6	1.5	42	10.2	413	100.0
③ 障害者福祉の充実	139	33.7	115	27.8	95	23.0	9	2.2	6	1.5	49	11.9	413	100.0
④ 高齢者福祉の充実	165	40.0	117	28.3	79	19.1	10	2.4	4	1.0	38	9.2	413	100.0
⑤ 高齢者・障害者への移動支援の確保	159	38.5	126	30.5	72	17.4	12	2.9	2	0.5	42	10.2	413	100.0
⑥ 医療体制・保険制度の充実	202	48.9	108	26.2	61	14.8	3	0.7	3	0.7	36	8.7	413	100.0
⑦ 町の各種保健事業の充実	185	44.8	109	26.4	73	17.7	5	1.2	6	1.5	35	8.5	413	100.0

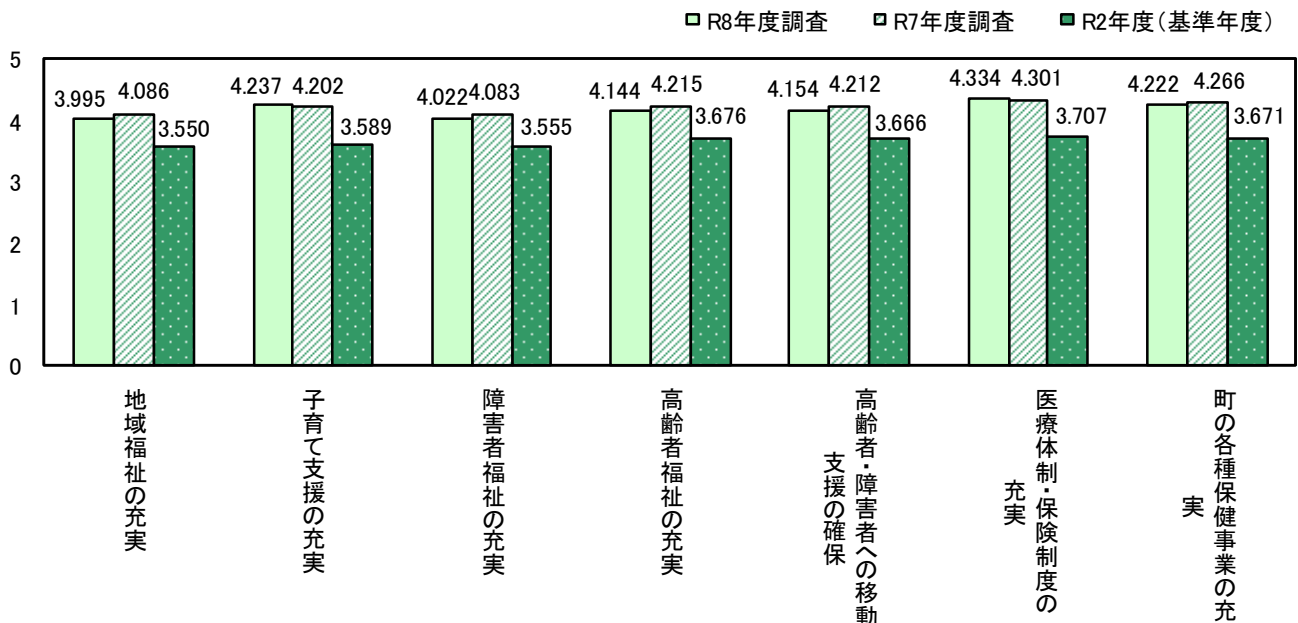


『保健福祉』の「重要である」と「やや重要である」の合計は、「医療体制・保険制度の充実」が75.1%と最も多く、次いで「町の各種保健事業の充実」が71.2%、「子育て支援の充実」が69.8%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 重要 4 やや重要 3 どちらともいえない 2 あまり重要ではない 1 重要ではない

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
地域福祉の充実	3.995	4.086	3.550	▲ 0.091	0.445
子育て支援の充実	4.237	4.202	3.589	0.035	0.648
障害者福祉の充実	4.022	4.083	3.555	▲ 0.061	0.467
高齢者福祉の充実	4.144	4.215	3.676	▲ 0.071	0.468
高齢者・障害者への移動支援の確保	4.154	4.212	3.666	▲ 0.058	0.488
医療体制・保険制度の充実	4.334	4.301	3.707	0.033	0.627
町の各種保健事業の充実	4.222	4.266	3.671	▲ 0.044	0.551



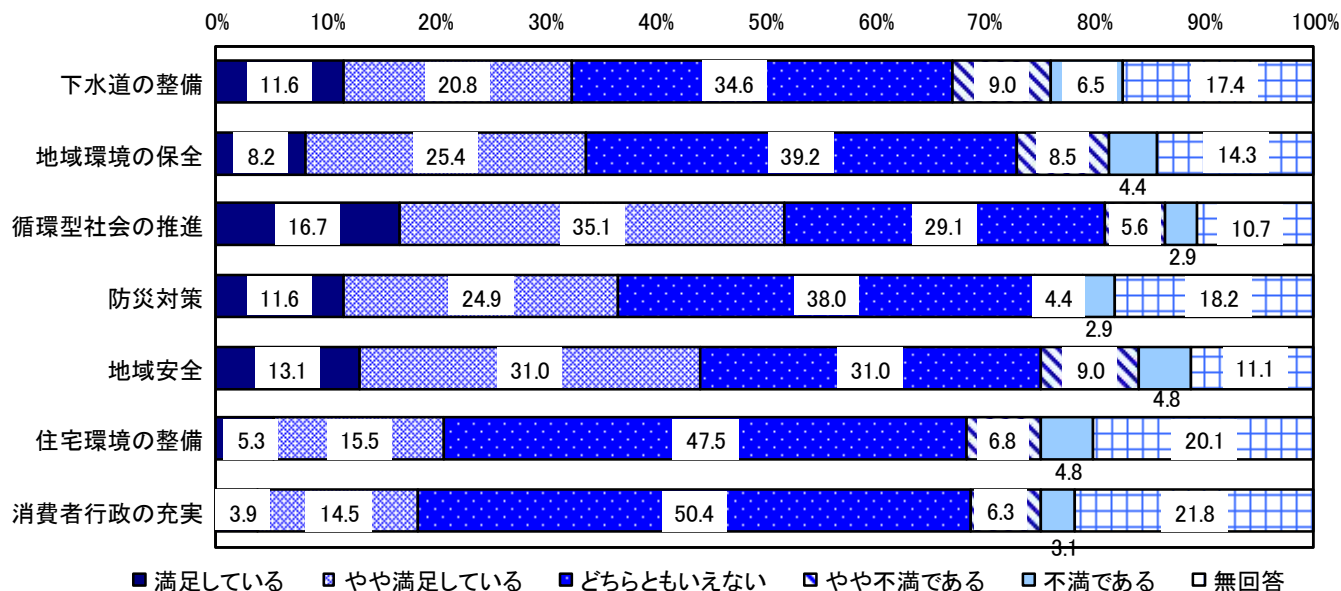
「医療体制・保険制度の充実（4.334 点）」が全項目中第 2 位という評価を受けたことについては、健康維持のために必要な時に適切な医療を受けられる体制が必要と考える町民の声が反映されたものといえます。誰もが住み慣れた地域で健康に暮らせるよう、医療機関や関係機関・団体との連携を継続しながら、地域医療体制の維持・確保に取り組んでいきます。

また、「子育て支援の充実（4.237 点）」が全項目中第 5 位となったことについても、少子高齢化が進む中、切れ目のない育児環境の整備を望む町民の声が多かったものと見て取れます。令和 8 年度から、妊産婦や子育て世代へ早期から切れ目のない支援を行う『こども家庭センター』を開設しました。家族が抱えるさまざまな悩みについて気軽に相談できる窓口として、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境の構築を図っていきます。

5 生活環境 (下水道の整備、地域環境の保全、循環型社会の推進、防災対策の充実、地域安全の充実、住宅環境の整備、消費者行政の充実)

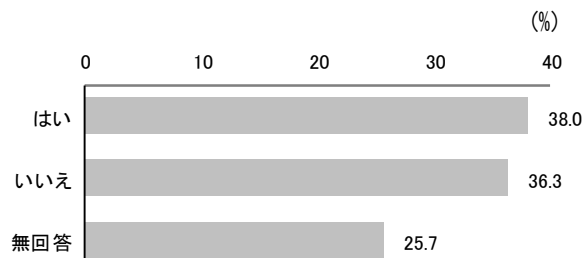
【満足度】

満足度	満足している		やや満足している		どちらともいえない		やや不満である		不満である		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 下水道の整備	48	11.6	86	20.8	143	34.6	37	9.0	27	6.5	72	17.4	413	100.0
② 地域環境の保全	34	8.2	105	25.4	162	39.2	35	8.5	18	4.4	59	14.3	413	100.0
③ 循環型社会の推進	69	16.7	145	35.1	120	29.1	23	5.6	12	2.9	44	10.7	413	100.0
④ 防災対策	48	11.6	103	24.9	157	38.0	18	4.4	12	2.9	75	18.2	413	100.0
⑤ 地域安全	54	13.1	128	31.0	128	31.0	37	9.0	20	4.8	46	11.1	413	100.0
⑥ 住宅環境の整備	22	5.3	64	15.5	196	47.5	28	6.8	20	4.8	83	20.1	413	100.0
⑦ 消費者行政の充実	16	3.9	60	14.5	208	50.4	26	6.3	13	3.1	90	21.8	413	100.0



5-①関連:下水道を利用していますか？

	回答数	構成比(%)
はい	157	38.0
いいえ	150	36.3
無回答	106	25.7
計	413	100.0



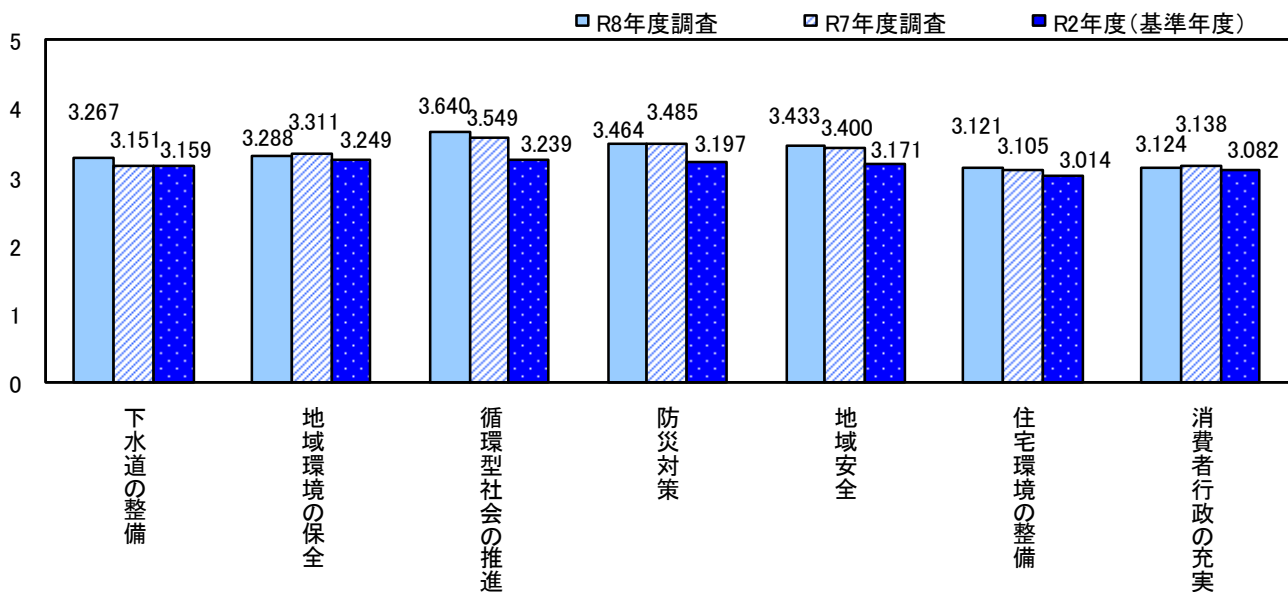
『生活環境』の「満足している」と「やや満足している」の合計は、「循環型社会の推進」が51.8%と最も多く、次いで「地域安全」が44.1%、「防災対策」が36.5%などとなっています。一方、「不満である」と「やや不満である」の合計は「下水道の整備」が15.5%と最も多く、次いで「地域安全」が13.8%、「地域環境の保全」が12.9%などとなっています。

また、下水道の利用に関する設問では「はい」が38.0%、次いで「いいえ」が36.3%、「無回答」が25.7%となっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 満足 4 やや満足 3 どちらともいえない 2 やや不満 1 不満

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
下水道の整備	3.267	3.151	3.159	0.116	0.108
地域環境の保全	3.288	3.311	3.249	▲ 0.023	0.039
循環型社会の推進	3.640	3.549	3.239	0.091	0.401
防災対策	3.464	3.485	3.197	▲ 0.021	0.267
地域安全	3.433	3.400	3.171	0.033	0.262
住宅環境の整備	3.121	3.105	3.014	0.016	0.107
消費者行政の充実	3.124	3.138	3.082	▲ 0.014	0.042

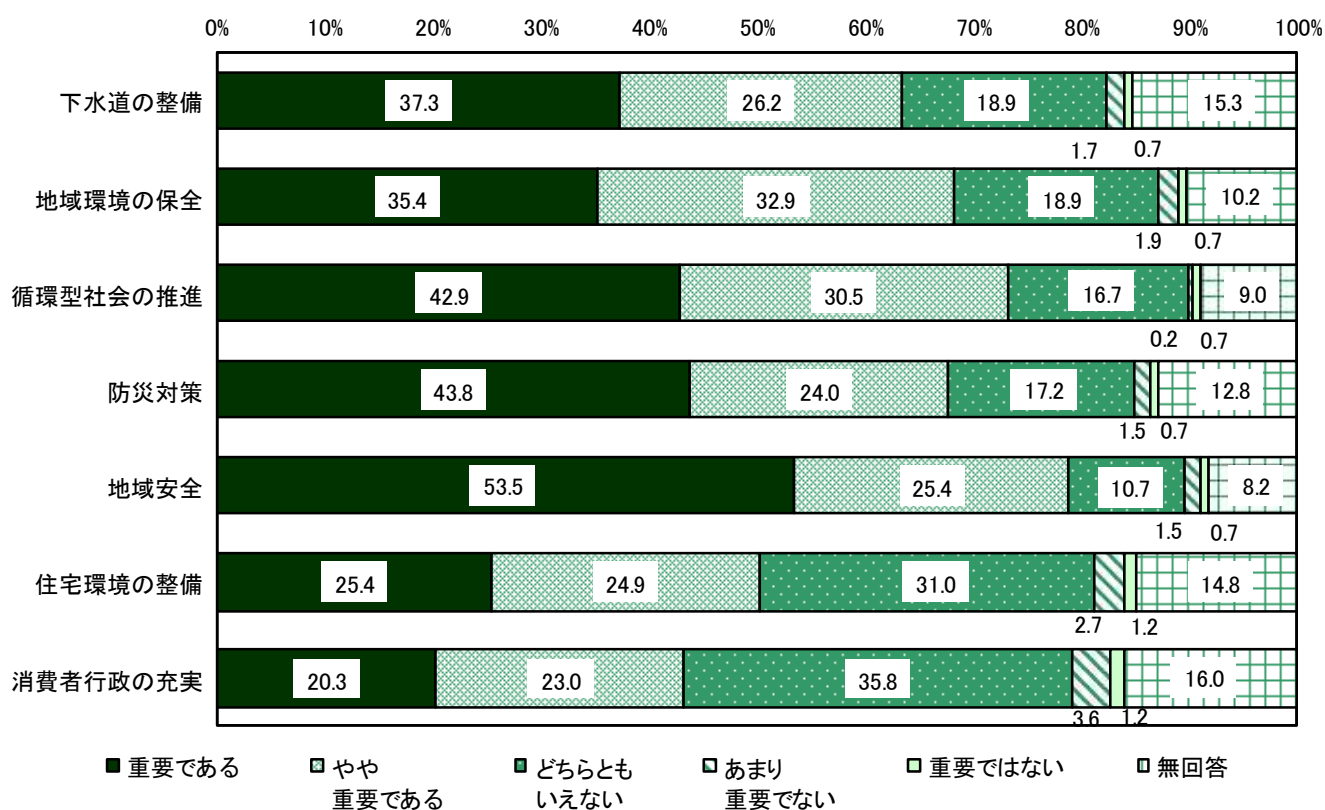


本分野における満足度は、「循環型社会の推進」が 3.640 点（全項目中第 1 位、昨年度調査は第 2 位）と高い水準を維持しています。これは、リサイクルやごみ減量化への意識が町民の間に定着している成果と捉えられます。引き続き意識啓発を行い、循環型社会の推進に努めていきます。

また、「防災対策」の 3.464 点が基準年度（R2：3.197 点）と比較すると+0.267 点、「地域安全」の 3.433 点が基準年度（R2：3.171 点）と比較すると+0.262 点と点数を伸ばしている点については、町民の安全・安心のためのこれまでの取り組みが評価されたものといえます。一方で、多発する地震や局地的な大雨などの自然災害、多様化する犯罪への不安から、更なる安全確保を望む声は依然として根強いと考えられます。新庁舎を拠点とした各種防災訓練の実施や防災資機材等の点検・整備、警察等と連携した防犯・交通安全教室の開催などを進め、地域の防犯・防災体制の更なる充実を図ります。

【重要度】

重要度	重要である		やや重要である		どちらとも いえない		あまり 重要でない		重要ではない		無回答		計	
	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)
① 下水道の整備	154	37.3	108	26.2	78	18.9	7	1.7	3	0.7	63	15.3	413	100.0
② 地域環境の保全	146	35.4	136	32.9	78	18.9	8	1.9	3	0.7	42	10.2	413	100.0
③ 循環型社会の推進	177	42.9	126	30.5	69	16.7	1	0.2	3	0.7	37	9.0	413	100.0
④ 防災対策	181	43.8	99	24.0	71	17.2	6	1.5	3	0.7	53	12.8	413	100.0
⑤ 地域安全	221	53.5	105	25.4	44	10.7	6	1.5	3	0.7	34	8.2	413	100.0
⑥ 住宅環境の整備	105	25.4	103	24.9	128	31.0	11	2.7	5	1.2	61	14.8	413	100.0
⑦ 消費者行政の充実	84	20.3	95	23.0	148	35.8	15	3.6	5	1.2	66	16.0	413	100.0

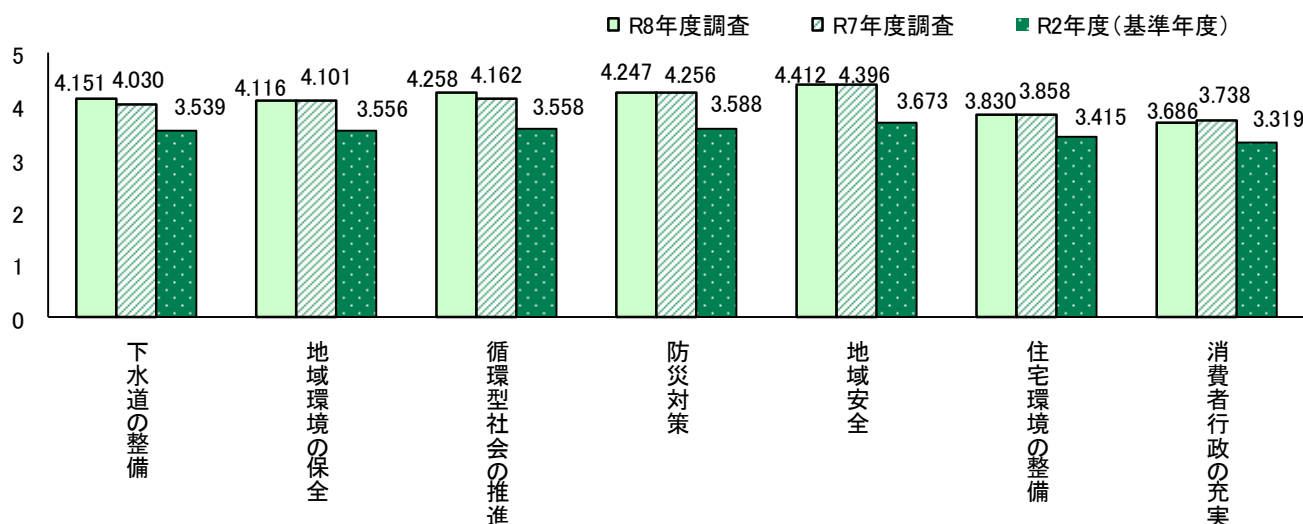


『生活環境』の「重要である」と「やや重要である」の合計は、「地域安全」が78.9%と最も多く、次いで「循環型社会の推進」が73.4%、「地域環境の保全」が68.3%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 重要 4 やや重要 3 どちらともいえない 2 あまり重要ではない 1 重要ではない

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
下水道の整備	4.151	4.030	3.539	0.121	0.612
地域環境の保全	4.116	4.101	3.556	0.015	0.560
循環型社会の推進	4.258	4.162	3.558	0.096	0.700
防災対策	4.247	4.256	3.588	▲ 0.009	0.659
地域安全	4.412	4.396	3.673	0.016	0.739
住宅環境の整備	3.830	3.858	3.415	▲ 0.028	0.415
消費者行政の充実	3.686	3.738	3.319	▲ 0.052	0.367



「地域安全」は重要度が 4.412 点で全項目中第 1 位として位置づけられ、巧妙化する犯罪や交通事故への不安に対し、日々の「安全・安心」の確保を強く切望する町民の期待が反映されていると考えられます。令和 8 年度は警察等と連携した地域防犯や交通安全対策の徹底や交通安全施設の整備・更新を進め、安全なまちづくりの基盤を固めていきます。

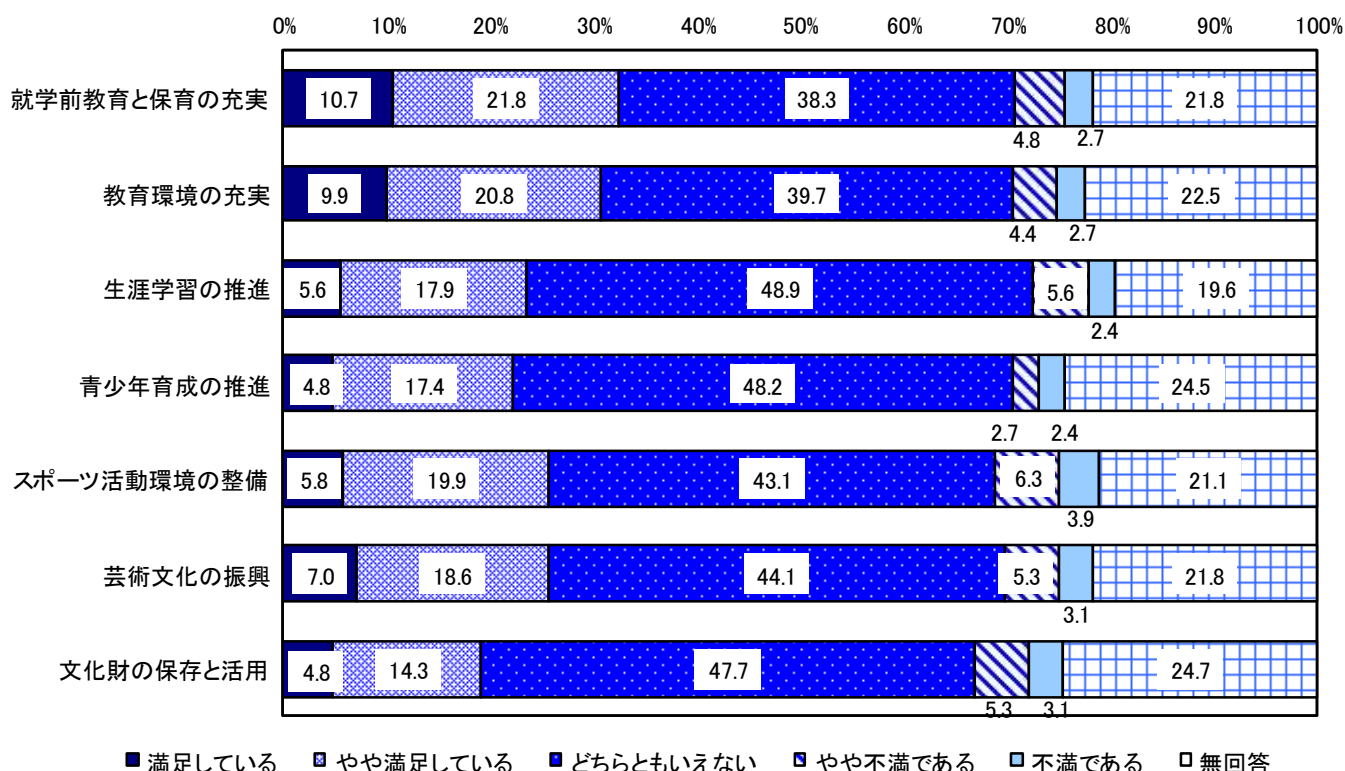
「循環型社会の推進」は満足度が全項目中第 1 位であるのと同様に、重要度も 4.258 点と全項目中第 3 位と上位に位置づけられています。この評価については、猛暑の長期化など、気候の変動を肌で感じる機会が増えたことなどから、今できる行動をしなければならないという町民の身近な願いが反映されていると考えられます。引き続き、多言語での周知や適切な分別・排出への指導、意識啓発などを継続し、快適な地域環境の維持を図っていきます。

「防災対策」についても、重要度は 4.247 点で全項目中第 4 位という位置づけになっています。近年多発する局地的な大雨等の自然災害への危機感から、有事の際にも確実に行き届く「自助・共助・公助」の備えを願う町民の意識が反映されていると考えられます。令和 8 年度は 5 月に開庁した新庁舎を災害対策拠点として運用していくとともに、各種防災訓練の実施や備蓄品の整備等を進め、災害に強いまちづくりを推進していきます。

6 生涯学習（就学前教育と保育の充実、教育環境の充実、生涯学習の推進、青少年育成の推進、スポーツ・芸術文化の振興、文化財の保存と活用）

【満足度】

満足度	満足している		やや満足している		どちらともいえない		やや不満である		不満である		無回答		計	
	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
① 就学前教育と保育の充実	44	10.7	90	21.8	158	38.3	20	4.8	11	2.7	90	21.8	413	100.0
② 教育環境の充実	41	9.9	86	20.8	164	39.7	18	4.4	11	2.7	93	22.5	413	100.0
③ 生涯学習の推進	23	5.6	74	17.9	202	48.9	23	5.6	10	2.4	81	19.6	413	100.0
④ 青少年育成の推進	20	4.8	72	17.4	199	48.2	11	2.7	10	2.4	101	24.5	413	100.0
⑤ スポーツ活動環境の整備	24	5.8	82	19.9	178	43.1	26	6.3	16	3.9	87	21.1	413	100.0
⑥ 芸術文化の振興	29	7.0	77	18.6	182	44.1	22	5.3	13	3.1	90	21.8	413	100.0
⑦ 文化財の保存と活用	20	4.8	59	14.3	197	47.7	22	5.3	13	3.1	102	24.7	413	100.0

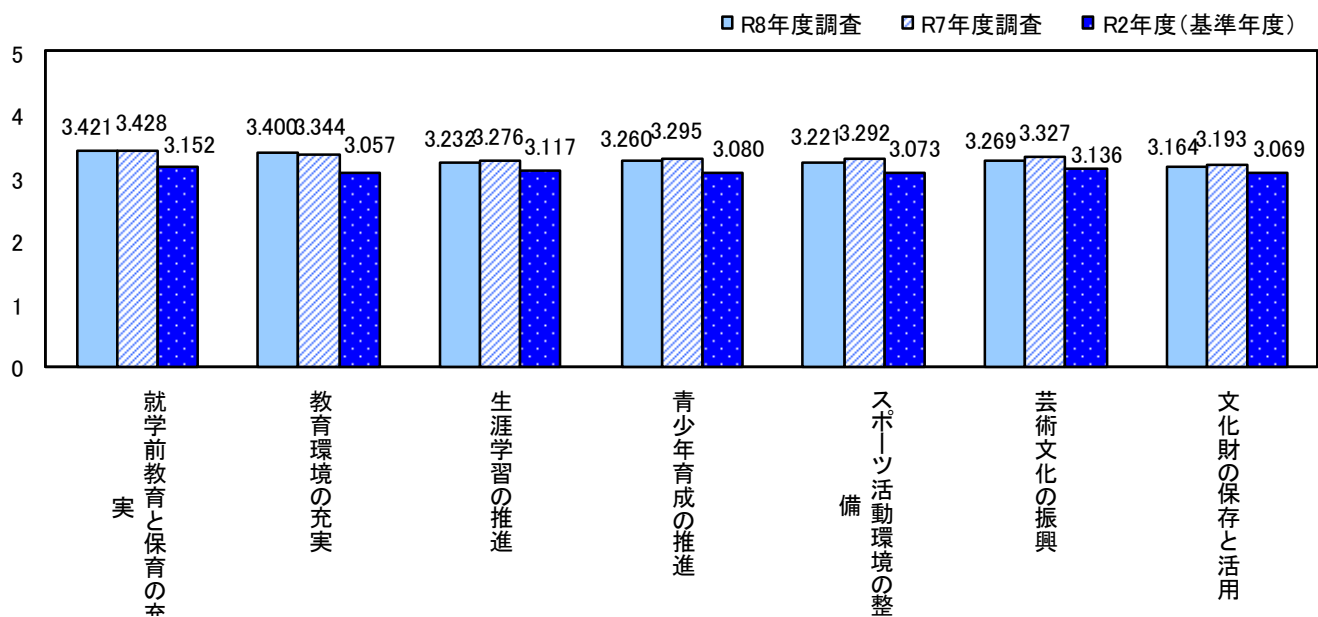


『生涯学習』の「満足している」と「やや満足している」の合計は、「就学前教育と保育の充実」が32.5%と最も多く、次いで「教育環境の充実」が30.7%、「スポーツ活動環境の整備」が25.7%などとなっています。一方、「不満である」と「やや不満である」の合計は「スポーツ活動環境の整備」が10.2%と最も多く、次いで「芸術文化の振興」と「文化財の保存と活用」が8.4%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 満足 4 やや満足 3 どちらともいえない 2 やや不満 1 不満

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
就学前教育と保育の充実	3.421	3.428	3.152	▲ 0.007	0.269
教育環境の充実	3.400	3.344	3.057	0.056	0.343
生涯学習の推進	3.232	3.276	3.117	▲ 0.044	0.115
青少年育成の推進	3.260	3.295	3.080	▲ 0.035	0.180
スポーツ活動環境の整備	3.221	3.292	3.073	▲ 0.071	0.148
芸術文化の振興	3.269	3.327	3.136	▲ 0.058	0.133
文化財の保存と活用	3.164	3.193	3.069	▲ 0.029	0.095

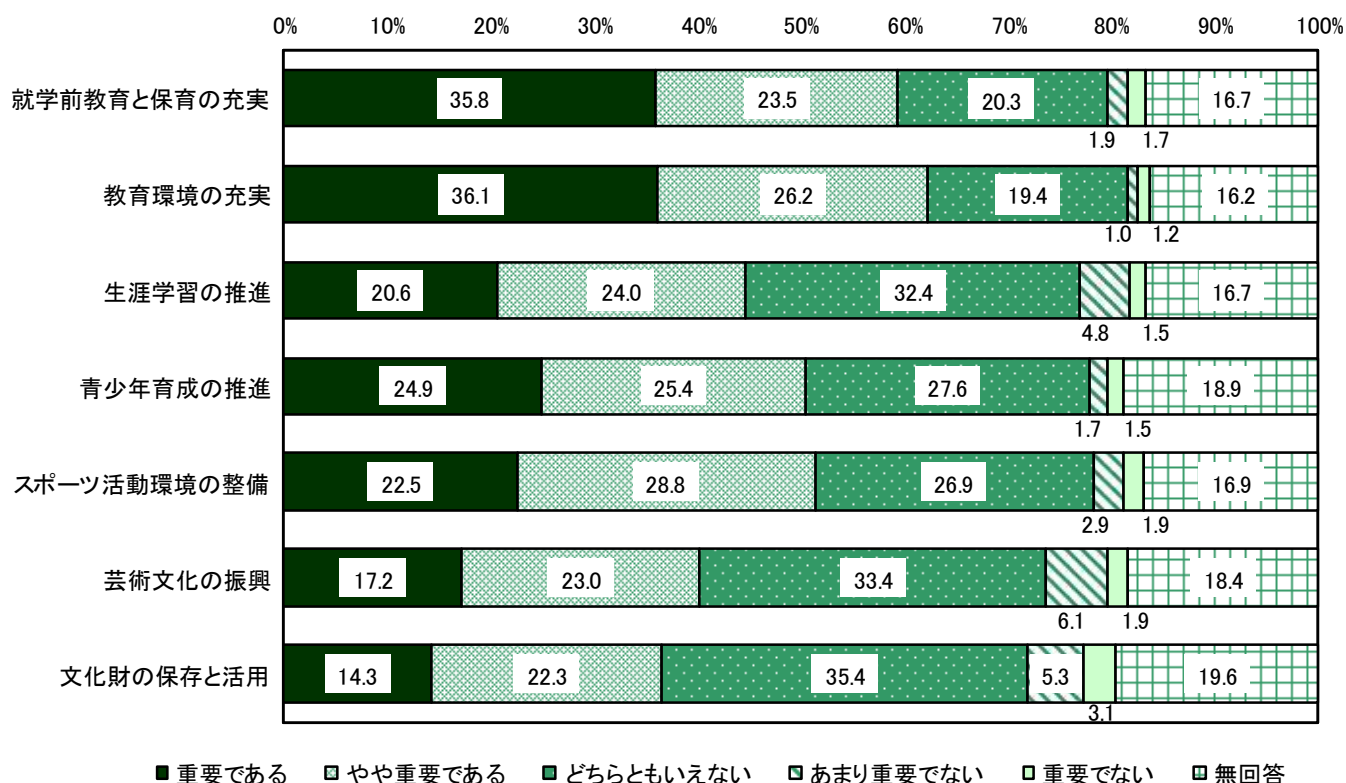


「就学前教育と保育の充実」は満足度 3.421 点と分野内で高い評価を得ており、保護者の多様な働き方に合わせたこれまでの保育サービスや児童館等の運営が支持されていると考えられます。引き続き、ALT 等の配置による英語教育や学童保育での学習サポートを通じ、子育て家庭をさらに包括的に支える環境構築を進めます。

また、「教育環境の充実」についても満足度が 3.400 点（前年比+0.056 点）と改善傾向にあります。これまでの教職員研修や ICT 活用体制の強化、教育支援センターの運営や各種専門員の配置、さらに外国籍児童生徒へのプレスクール開設といった多角的な学習・生活支援の成果が、現場で着実に評価されたと考えられます。

【重要度】

重要度	重要である		やや重要である		どちらとも いえない		あまり重要でない		重要ではない		無回答		計	
	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)
① 就学前教育と保育の充実	148	35.8	97	23.5	84	20.3	8	1.9	7	1.7	69	16.7	413	100.0
② 教育環境の充実	149	36.1	108	26.2	80	19.4	4	1.0	5	1.2	67	16.2	413	100.0
③ 生涯学習の推進	85	20.6	99	24.0	134	32.4	20	4.8	6	1.5	69	16.7	413	100.0
④ 青少年育成の推進	103	24.9	105	25.4	114	27.6	7	1.7	6	1.5	78	18.9	413	100.0
⑤ スポーツ活動環境の整備	93	22.5	119	28.8	111	26.9	12	2.9	8	1.9	70	16.9	413	100.0
⑥ 芸術文化の振興	71	17.2	95	23.0	138	33.4	25	6.1	8	1.9	76	18.4	413	100.0
⑦ 文化財の保存と活用	59	14.3	92	22.3	146	35.4	22	5.3	13	3.1	81	19.6	413	100.0

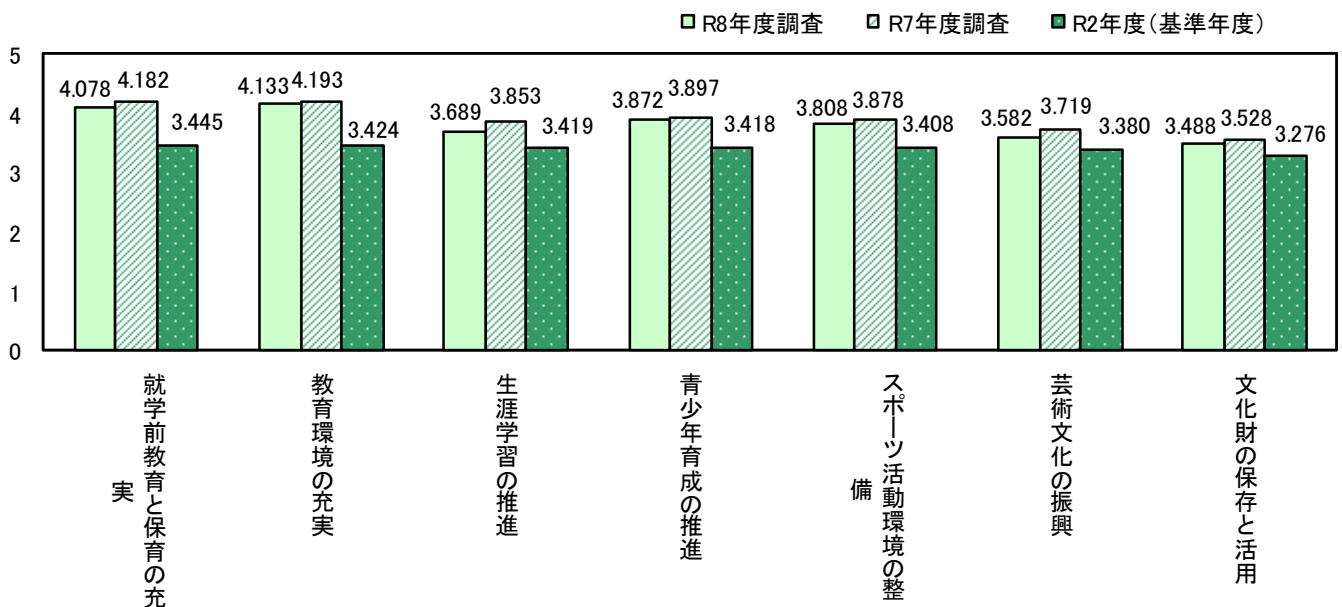


『生涯学習』の「重要である」と「やや重要である」の合計は、「教育環境の充実」が62.3%と最も多く、次いで「就学前教育と保育の充実」が59.3%、「スポーツ活動環境の整備」が51.3%などとなっています。

平均値比較 ※無回答を除く。

5 重要 4 やや重要 3 どちらともいえない 2 あまり重要ではない 1 重要ではない

	R8 年度調査結果 (R7 年度取組)	R7 年度調査結果 (R6 年度取組)	R2(2020)年度 (第二期実施計画 基準年度)	増減	
				R8 年度と R7 年度 の比較	R8 年度と基準値 の比較
就学前教育と保育の充実	4.078	4.182	3.445	▲ 0.104	0.633
教育環境の充実	4.133	4.193	3.424	▲ 0.060	0.709
生涯学習の推進	3.689	3.853	3.419	▲ 0.164	0.270
青少年育成の推進	3.872	3.897	3.418	▲ 0.025	0.454
スポーツ活動環境の整備	3.808	3.878	3.408	▲ 0.070	0.400
芸術文化の振興	3.582	3.719	3.380	▲ 0.137	0.202
文化財の保存と活用	3.488	3.528	3.276	▲ 0.040	0.212



「教育環境の充実」の重要度は 4.133 点であり、第二期実施計画の基準年度（3.424 点）と比較して+0.709 点とニーズが上昇しています。満足度が改善傾向にありつつも重要度がそれを上回る要因としては、急速なデジタル化へのさらなる適応、経済的困窮家庭への学習支援、外国籍児童生徒へのより手厚い言語指導など、教育環境の「質的なアップデート」を求める市民の声が反映されていると考えられます。令和 8 年度以降は ICT 環境や教育支援体制を一層強化するとともに、近年深刻化する酷暑対策として普通教室等の空調機器の整備・更新を行っていくなど、安全で快適な学習環境の底上げを図っていきます。

「就学前教育と保育の充実」の重要度についても 4.078 点と、基準年度（3.445 点）に比べ+0.633 点とニーズが上昇しており、共働き世帯の増加に伴った、より質の高い保育サービスや切れ目のない支援体制を求める保護者層の要望が反映されていると考えます。引き続き、英語教育の推進や学童保育の運営体制強化に加え、保護者の多様なニーズに対応する保育環境の整備を進め、子育て家庭を支える環境の底上げを図っていきます。

7 満足度×重要度平均値 上位・下位 10 項目 ※同順位がある場合は当該順位を含む

◎「満足度」と「重要度」のマトリクス分析について

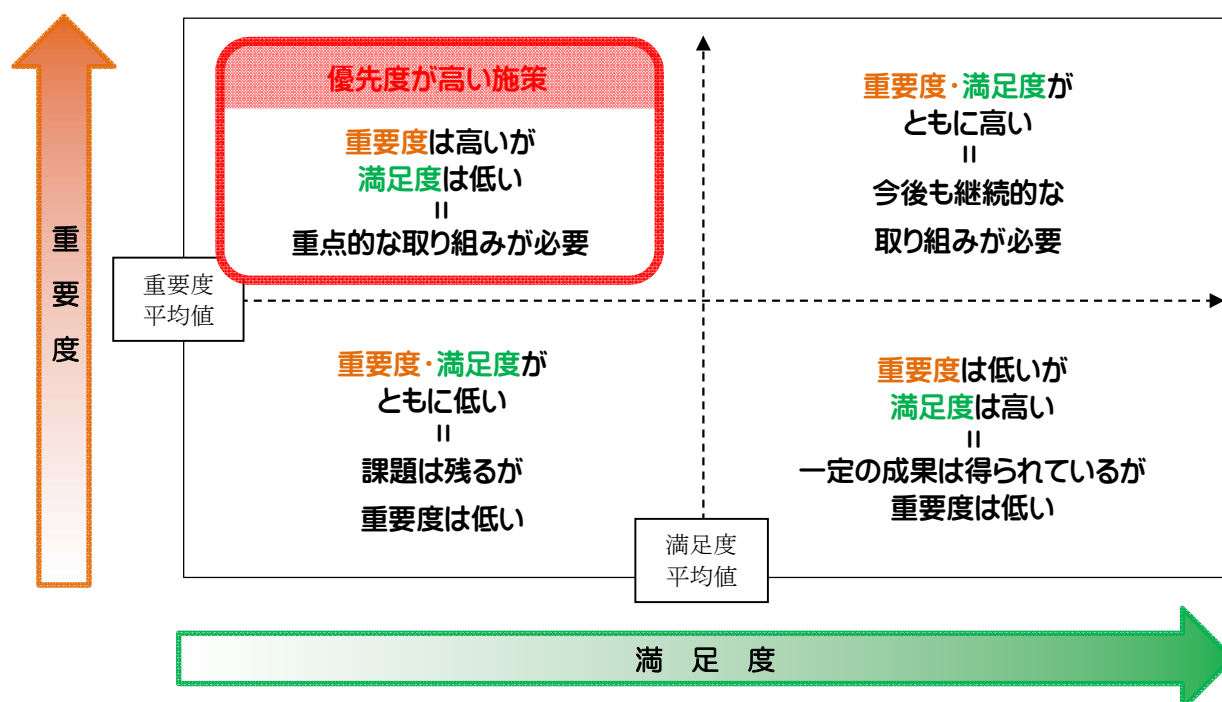
【マトリクス作成方法】

- ・町の施策 6 分野 35 施策に係る 38 項目について、「満足度」と「重要度」の各選択肢に以下のとおり点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことで項目ごとの「満足度」、「重要度」の平均値を算出しました。（ここで用いる回答数は「無回答」を除く。）
- ・全 35 施策 38 項目の満足度・重要度それぞれの平均値によって 4 象限に区分されるマトリクス上に、各施策の結果を反映しています。

満足度	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
重要度	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり 重要でない	重要でない
点数	5	4	3	2	1

◎マトリクスの見方

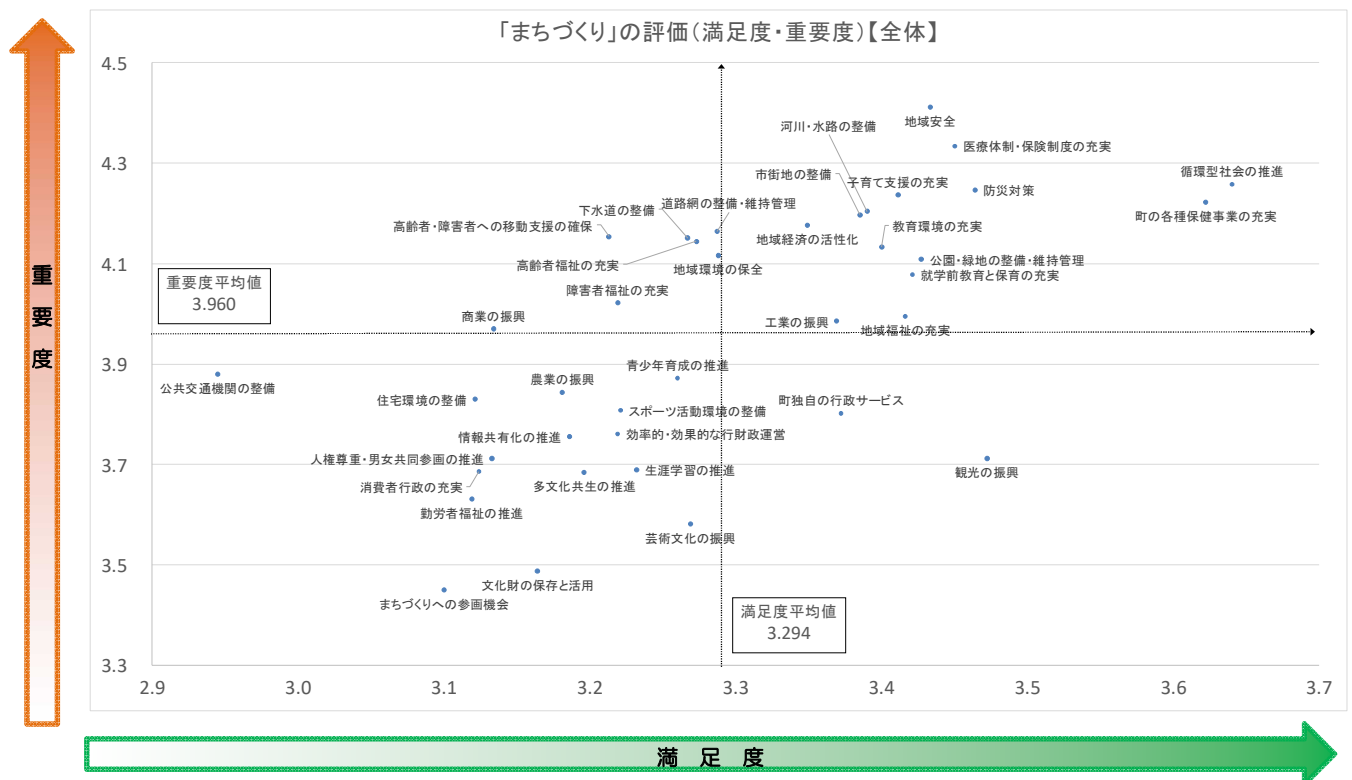
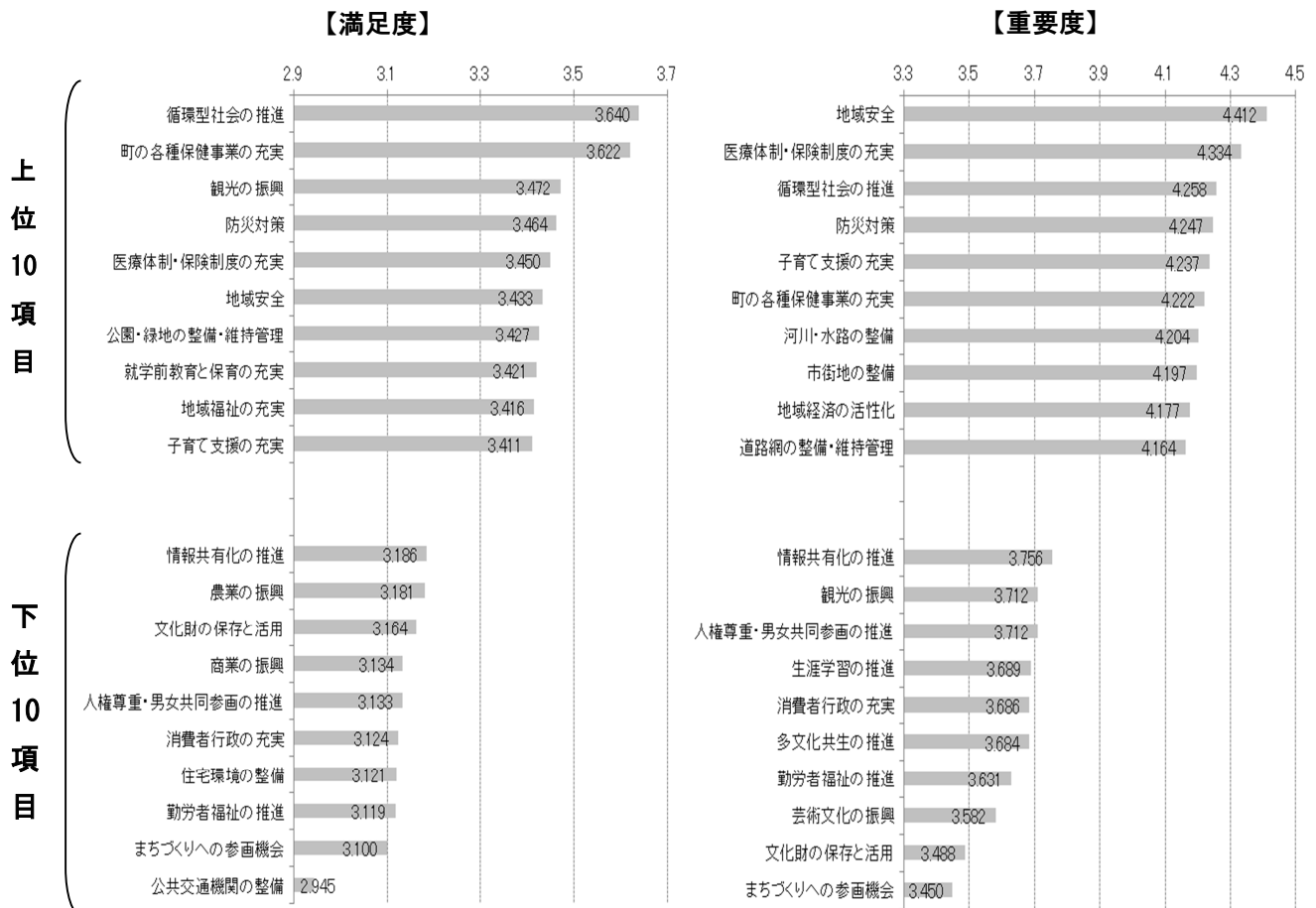
- ・ **満足度【横軸】**：各項目に対する、町民の現状での満足度。高いほど（右にあるほど）、町民からの評価が高い。
- ・ **重要度【縦軸】**：町民が考える各項目の重要度。高いほど（上にあるほど）、今後重点的に取り組むことを望む町民が多い。



◎マトリクス分析結果早見表

基本 目標	総合計画における 主な関連施策	満足度調査・項目	満足度	重要度	重要度:高 満足度:高	重要度:高 満足度:低	重要度:低 満足度:低	重要度:低 満足度:高
I	I-1 工業の振興	①工業の振興が図られていることについて	3.369	3.986	○			
	I-2 商業の振興	②商業の振興が図られていることについて	3.134	3.970		◎		
	I-3 農業の振興	③農業の振興が図られていることについて	3.181	3.844			○	
	I-4 地域経済の活性化	④地域経済の活性化が図られていることについて	3.349	4.177	○			
	I-5 勤労者福祉の推進	⑤勤労者福祉の推進が図られていることについて	3.119	3.631			○	
	I-6 観光の振興	⑥観光の振興が図られていることについて	3.472	3.712				○
II	II-1 市街地の整備	①市街地の整備がされていることについて	3.385	4.197	○			
		②公共交通機関の整備がされていることについて	2.945	3.880			○	
	II-2 道路網の整備・維持管理	③道路網の整備・維持管理がされていることについて	3.287	4.164		◎		
	II-3 公園・緑地の整備・維持管理	④公園・緑地の整備・維持管理がされていることについて	3.427	4.109	○			
	II-4 河川・水路の整備	⑤河川・水路の整備がされていることについて	3.390	4.204	○			
III	III-1 効率的・効果的な行財政運営	①効率的・効果的な行財政運営が図られていることについて	3.219	3.761			○	
	III-2 協働のまちづくりの推進	②まちづくりへの参画の機会があることについて	3.100	3.450			○	
	III-3 多文化共生の推進	③多文化共生の推進が図られていることについて	3.196	3.684			○	
	III-4 人権尊重・男女共同参画の推進	④人権尊重・男女共同参画の推進が図られていることについて	3.133	3.712			○	
	III-5 情報共有化の推進	⑤情報共有化の推進が図られていることについて	3.186	3.756			○	
	III-6 地域創生の推進	⑥町独自の行政サービスを実施していることについて	3.372	3.802				○
IV	IV-1 地域福祉の充実	①地域福祉が充実していることについて	3.416	3.995	○			
	IV-2 子育て支援の充実	②子育て支援が充実していることについて	3.411	4.237	○			
	IV-3 障害者福祉の充実	③障害者福祉が充実していることについて	3.219	4.022		◎		
	IV-4 高齢者福祉の充実	④高齢者福祉が充実していることについて	3.273	4.144		◎		
		⑤高齢者や障害者に必要な移動支援が確保されていることについて	3.213	4.154		◎		
	IV-5 医療体制と保険制度の充実	⑥医療体制や保険制度が充実していることについて	3.450	4.334	○			
	IV-6 健康の保持増進	⑦町で実施する各種保健事業が充実していることについて	3.622	4.222	○			
V	V-1 下水道の整備	①下水道の整備がされつつあることについて	3.267	4.151		◎		
	V-2 地域環境の保全	②地域環境の保全が図られていることについて	3.288	4.116		◎		
	V-3 循環型社会の推進	③循環型社会の推進が図られていることについて	3.640	4.258	○			
	V-4 防災対策の充実	④防災対策がなされていることについて	3.464	4.247	○			
	V-5 地域安全の充実	⑤地域安全が図られていることについて	3.433	4.412	○			
	V-6 住宅環境の整備	⑥住宅環境の整備がされていることについて	3.121	3.830			○	
	V-7 消費者行政の充実	⑦消費者行政が充実していることについて	3.124	3.686			○	
VI	VI-1 就学前教育と保育の充実	①就学前教育と保育が充実していることについて	3.421	4.078	○			
	VI-2 教育環境の充実	②教育環境が充実していることについて	3.400	4.133	○			
	VI-3 生涯学習の推進	③生涯学習の推進が図られていることについて	3.232	3.689			○	
	VI-4 青少年育成の推進	④青少年育成の推進が図られていることについて	3.260	3.872			○	
	VI-5 スポーツ・芸術文化の振興	⑤スポーツ活動をしやすい環境の整備がされていることについて	3.221	3.808			○	
		⑥芸術文化の振興が図られていることについて	3.269	3.582			○	
	VI-6 文化財の保存と活用	⑦文化財の保存と活用がされていることについて	3.164	3.488			○	
※全 38 項目			平均値	3.294	3.960			

全体



満足度×重要度マトリクス分析【全体】

今回の調査における全体の満足度平均値は 3.294 点、重要度平均値は 3.960 点となっています。

マトリクス図の右上の【重要度：高、満足度：高】（今後も継続的な取り組みが必要な施策領域）には、「地域安全」や「医療体制・保険制度の充実」、「循環型社会の推進」、「防災対策」、「子育て支援の充実」などの項目が数多く位置しています。これらは町民の暮らしの安全・安心や生活の質に直結する分野であり、これまでの町の取り組みが一定の成果として評価されつつも、今後も持続的かつ継続的な取り組みが強く期待されている領域であるといえます。

一方で、左上の【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）には、産業振興 1 項目（商業の振興）、基盤整備 1 項目（道路網の整備・維持管理）、保健福祉 3 項目（障害者福祉の充実、高齢者福祉の充実、高齢者・障害者への移動支援の確保）、生活環境 2 項目（下水道の整備、地域環境の保全）の計 7 項目がプロットされています。これらは町民ニーズが重要度の全体平均を上回る高い水準にありながら満足度が平均を下回っている項目であり、今後の町政運営で重点的な取り組みが必要な課題と考えられます。

「商業の振興」については、物価高騰や人手不足に直面する厳しい経営状況をふまえ、新たな店舗の進出や既存店舗の魅力向上のための支援として「空き店舗等活用・創業促進事業補助金」等補助制度の活用促進を図るほか、関係機関と連携して経営相談や事業承継といった事業者の経営支援に取り組んでいきます。

「道路網の整備・維持管理」については、国の補助事業や交通安全対策特別交付金などを効果的に活用しながら、町道の舗装の老朽化対策及び、道路除草や街路樹の適正な維持管理等を実施していき、すべての人が安全に通行できる道路環境を確保していくための計画的かつ効率的な事業推進を図っていきます。

「障害者福祉の充実」については、親の急病などの緊急時に障害のある人が自宅に取り残されてしまうことがないように、各関係機関と連携し、緊急時の受入支援体制の充実を図るほか、障害のある人が地域で自立した生活ができるような支援体制の整備を行っていきます。

「高齢者福祉の充実」及び「高齢者・障害者への移動支援の確保」では、令和 7 年度に運賃引き下げを行った「高齢者等デマンド交通事業」の周知・利用促進をはじめ、高齢者の交流と健康づくり、介護予防の場等として「高齢者ふれあいセンター」の運営など、ニーズに応じたサービスの提供を行っていきます。

「下水道の整備」では、引き続き、国の交付金などを活用しながら効率的かつ計画的に整備を進めるとともに、認可区域の拡大と整備済み区域での接続促進の強化により、地域の生活環境向上と水質保全を図るための取り組みを行っていきます。

「地域環境の保全」では、一人ひとりの行動が地域全体の環境に与えることから、狂犬病予防接種や飼い犬・猫の避妊・断種手術の費用補助等の実施のほか、所有者の遠隔地在住化等により管理不全となりがちな空き地に対し適正管理の指導を行うなどにより、快適な地域環境の保全に向けた取り組みを行っていきます。

また、マトリクス図で多くの項目群から離れて孤立している項目に、「公共交通機関の整備」及び「観光の振興」があることが特徴として見て取れます。

「公共交通機関の整備」については、左下の【重要度：低、満足度：低】（課題は残るが重要度は低い施策領域）にプロットされており、満足度は全 38 項目中で唯一 3 点台を割り込む評価となっており、バス停や駅から遠いエリアの存在や、路線・便数が限られていることによる利便性の課題が要因と考えられます。一方で、自動車での移動が主流な地域柄もあり、公共交通機関を日頃利用しない層の「自分事としての重要度」の認識が高まりにくいことが影響し、左下の領域に独立してプロットされる結果となったことが想定されます。令和 8 年度は『地域公共交通計画策定事業』に着手し持続可能な公共交通の構築に向けた取り組みを進めるほか、引き続き広域公共バス「あおぞら」の利便性向上や活用促進に向けた取り組みを進めます。

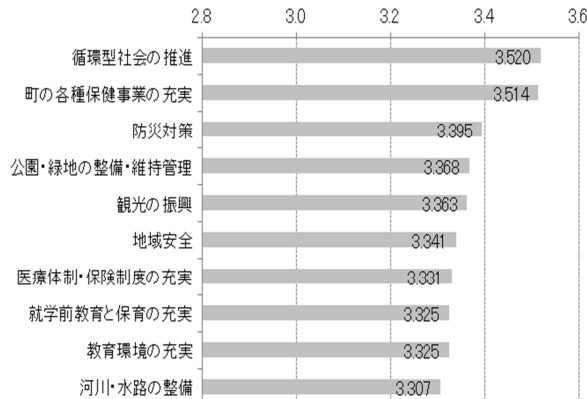
「観光の振興」については、右下の【重要度：低、満足度：高】（一定の成果は得られているが重要度は低い施策領域）にプロットされており、「刀水橋花火大会」や国際的な特色を生かした「活きな世界のグルメ横丁」といった地域イベントの盛り上がりや町民に高く評価された結果が、満足度第 3 位という評価に繋がったと見て取れます。一方で、日常生活に不可欠な医療や防災といったインフラ施策と比較されるため、行政が取り組むべき今後の優先課題としては相対的に低く抑えられ、右下の領域に孤立する形でプロットされたと考えられます。引き続き関係団体と連携し、「活きな世界のグルメ横丁」などのイベント実施をはじめ、SNS や ICT を活用した効果的な情報発信や新たな観光資源の開発等、町の知名度向上とにぎわい創出に向けた取り組みを行っていきます。

男性

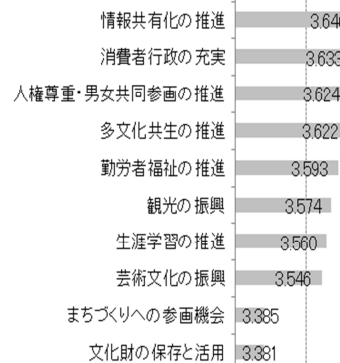
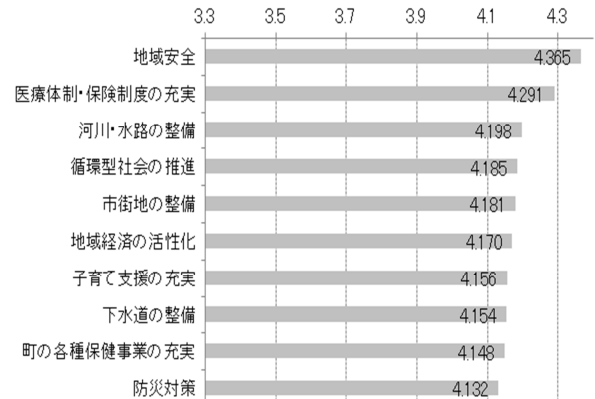
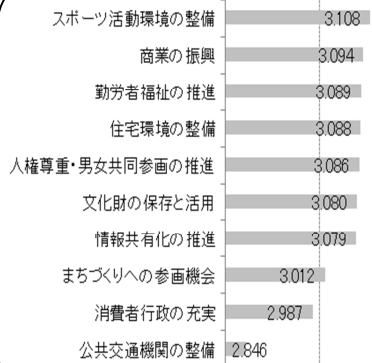
【満足度】

【重要度】

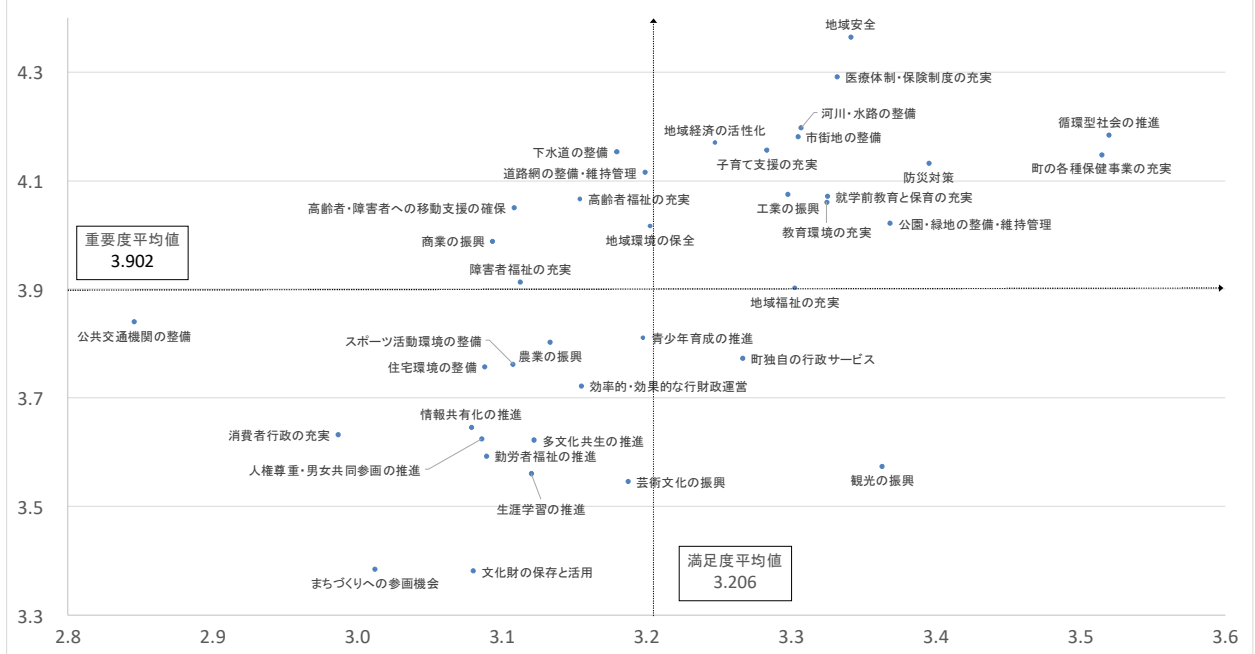
上位10項目



下位10項目



「まちづくり」の評価(満足度・重要度)【男性】



満足度

満足度×重要度マトリクス分析【男性】

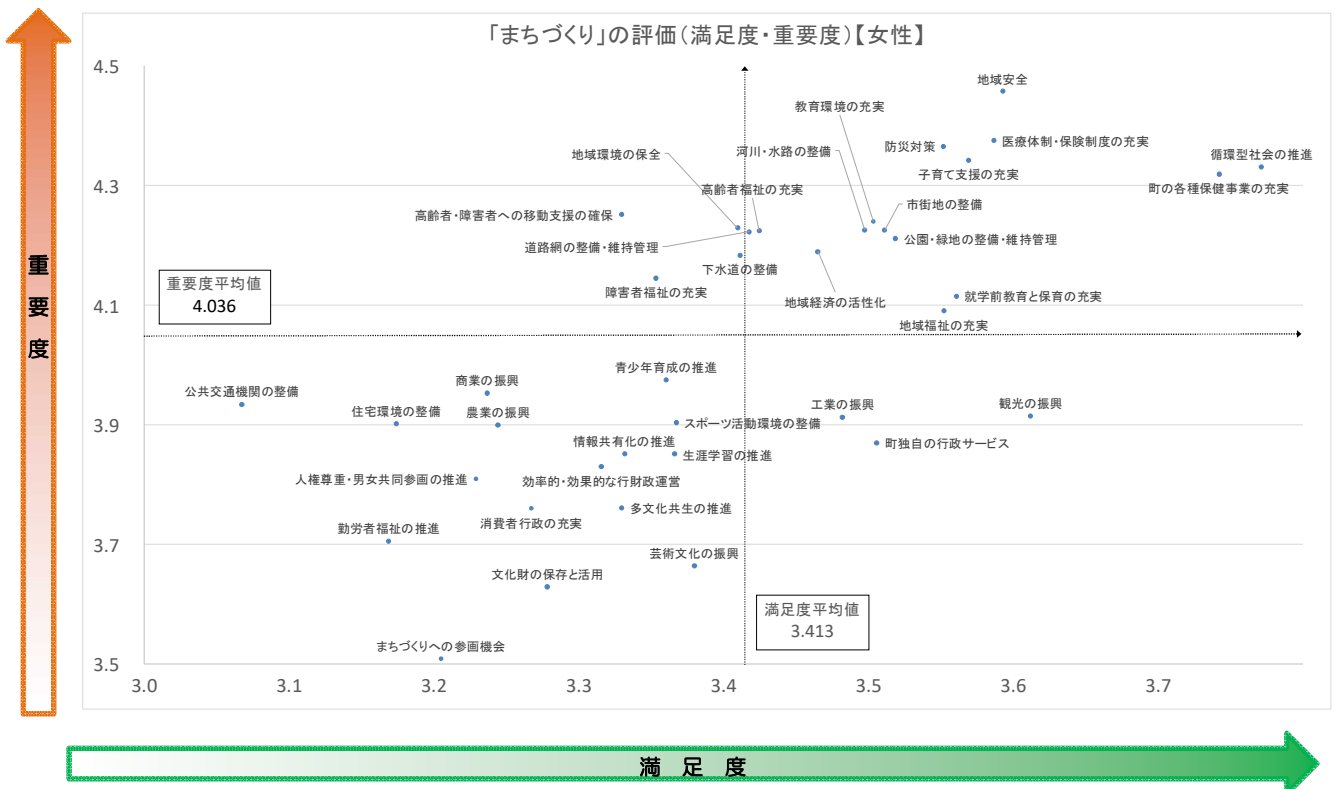
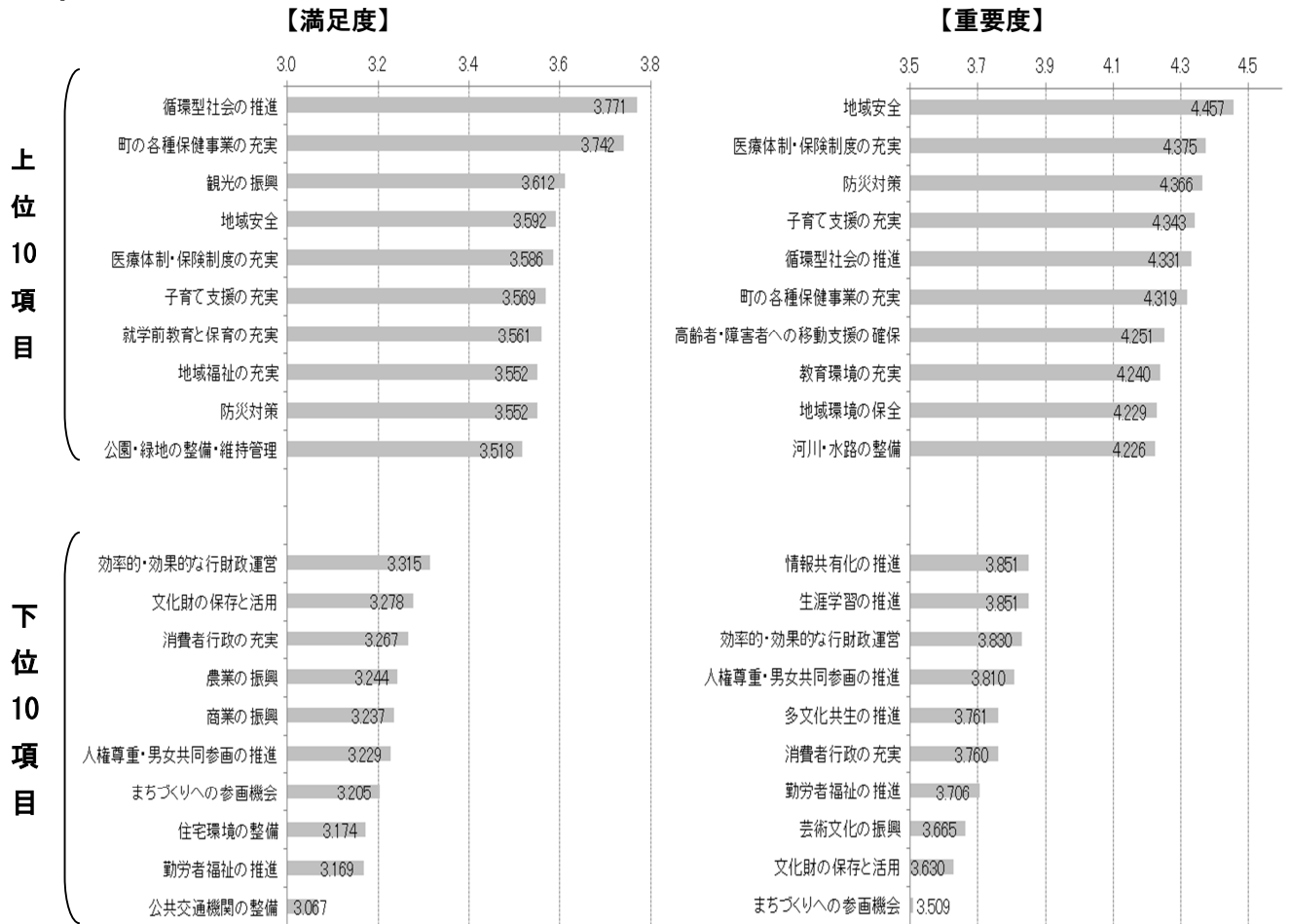
全体の満足度平均 3.294 点、重要度平均 3.960 点に対し、男性については満足度平均 3.206 点、重要度平均 3.902 点とやや低い水準とされている傾向にあります。

男性のマトリクス図では、「工業の振興」及び「商業の振興」については全体の平均値からの位置づけと比較した際に、重要度がどちらも高い位置にプロットされていると見て取れます。この要因として、本町の男性の職業構成を見ると、半数近く（48.3%）が「会社員・団体社員」として町内や近隣の産業基盤を支えており、「ものづくり」の現場や企業の経済活動に直接携わっている現役世代が多く存在していることから、産業振興に関連する施策を重要と捉えられていると推測されます。

「工業の振興」については、引き続き関係機関と連携しながら、既存の制度融資や補助金の活用促進に取り組み、町内企業の持続的な発展に向けた支援を行っていきます。

「商業の振興」については、物価高騰や人手不足などの影響により厳しい経営状況にある事業者へ、「店舗リニューアル補助金」や「空き店舗等活用・創業促進事業補助金」をはじめとする各種支援により、課題に寄り添った経営支援を行い、地域経済の活性化を図っていきます。

女性



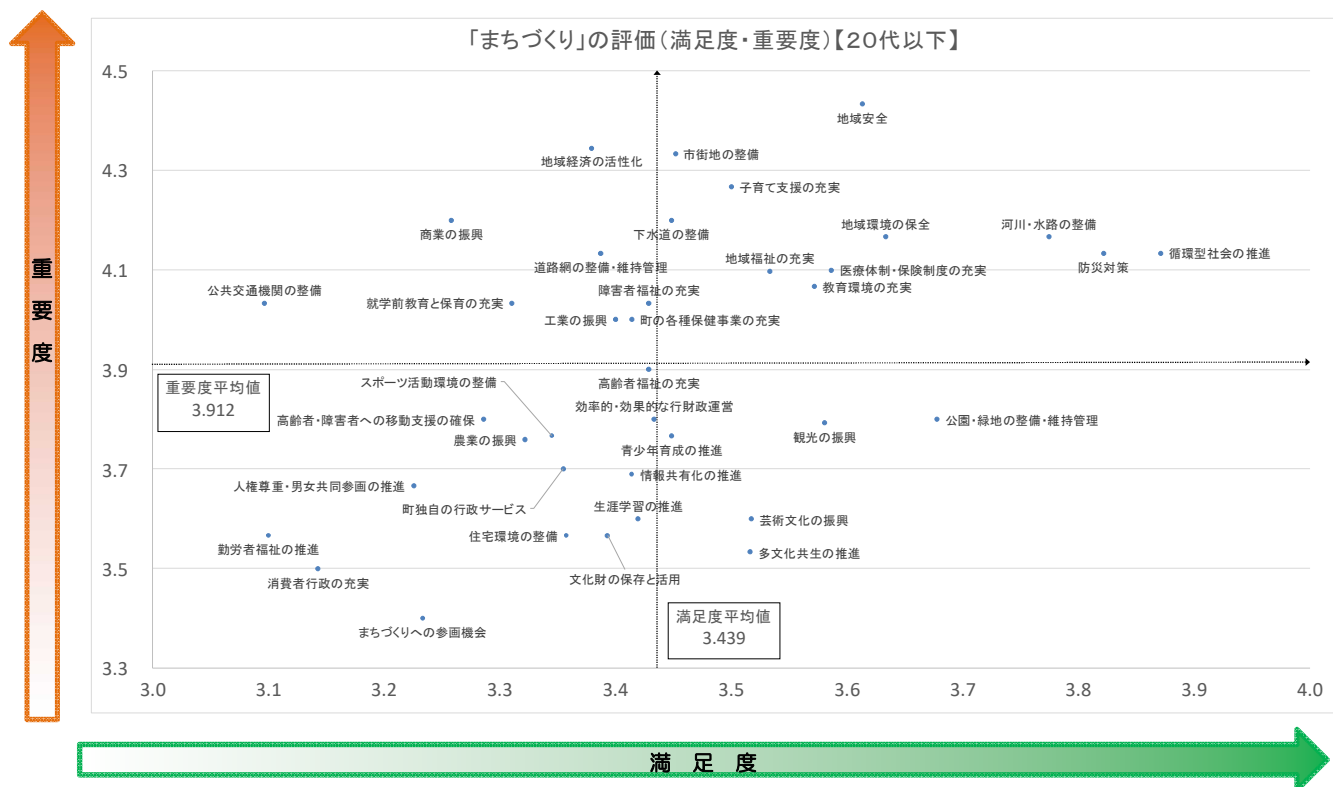
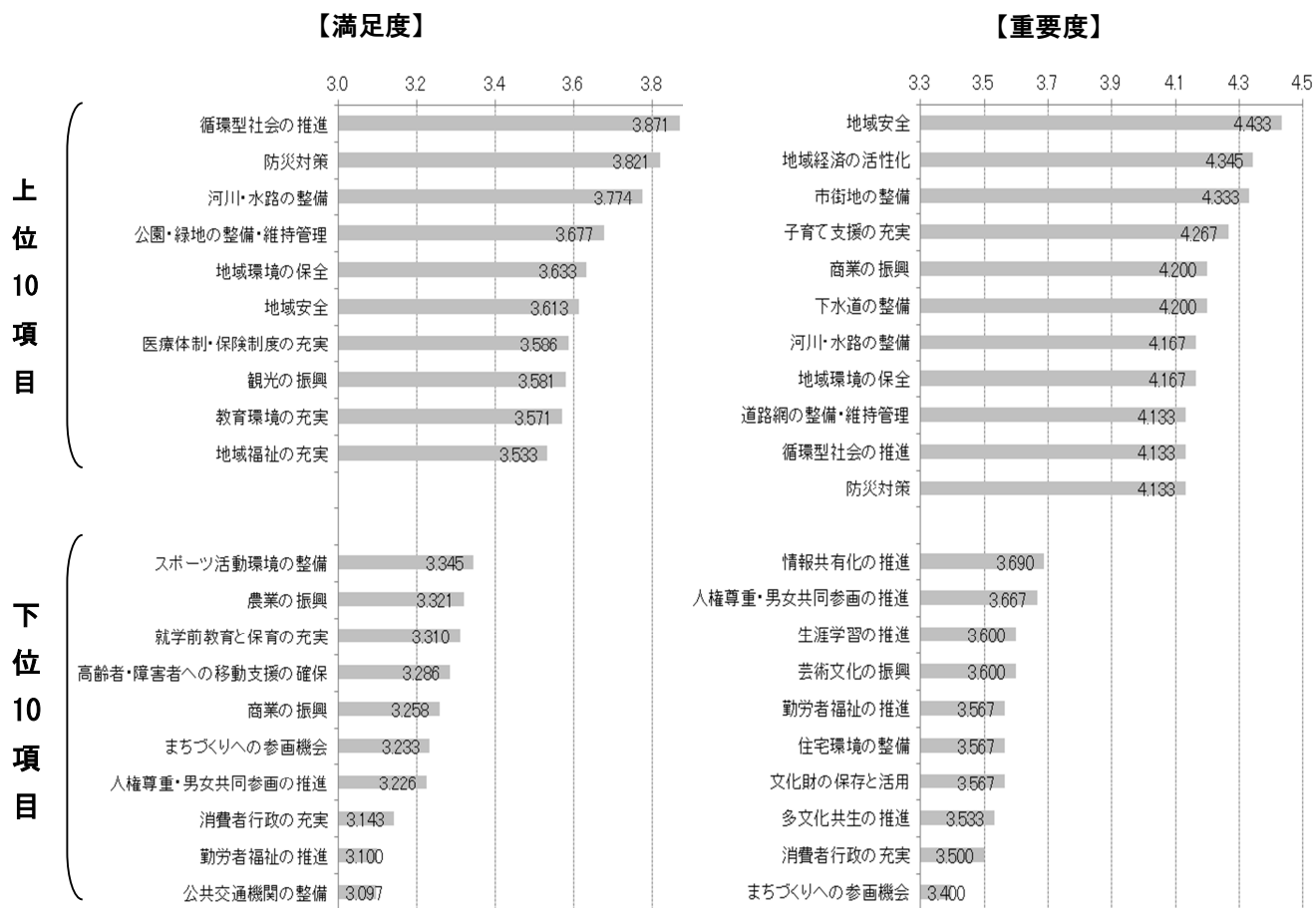
満足度×重要度マトリクス分析【女性】

全体の満足度平均 3.294 点、重要度平均 3.960 点に対し、女性については満足度平均 3.413 点、重要度平均 4.036 点と比較的高い水準とされている傾向にあります。

男性と比較すると、女性の場合は産業振興分野の「工業の振興」と「商業の振興」については重要度平均値を下回る結果となっています。また、全体の平均値からの位置づけと比較した際に、保健福祉分野の「子育て支援の充実」については、重要度が高い位置にプロットされていると見て取れます。これは、子育て世代に限らず、「子は未来の宝」として、次代のまちづくりを担う人材育成が重要であるという意識から、これまでの町の取り組みを評価しつつ、高い重要度に位置づけられたと考えられます。

「子育て支援の充実」については、多様化するニーズを捉えた子育て支援サービスを充実させ、引き続き保護者の経済的・精神的負担を軽減する取り組みを行っていきます。また、令和 8 年度から開設した『こども家庭センター』では、子どもの健やかな成長をサポートする場所として、0～18 歳までのすべての子どもとその家庭、妊産婦を対象に様々な相談に応じ、関係機関と連携を図りながら、家族が抱えるさまざまな悩みについて気軽に相談できる窓口として、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境を構築してまいります。

20 代以下



満足度×重要度マトリクス分析【20代以下】

全体の満足度平均 3.294 点、重要度平均 3.960 点に対し、20 代以下については満足度平均が 3.439 点と全世代で最も高く、重要度平均も 3.912 点と、比較的高い水準とされている傾向にあります。

しかし全体マトリクス図とは異なり、20 代以下では「工業の振興」と「地域経済の活性化」が【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）へプロットされており、また、「商業の振興」については全体の平均値からの位置づけと比較した際に、重要度がかなり高い位置にプロットされていると見て取れます。高齢者層が医療や介護などの保健福祉分野を最重視するのに対し、若年層は、将来にわたって安定した生活基盤を築くための「身近で質の高い雇用の場の確保」や「日常の利便性・にぎわい」を他の世代よりも求めていることが要因と考えられます。

「工業の振興」では既存の制度融資や補助金の活用促進などの支援を、「商業の振興」では経営相談や人材確保支援など事業者の課題に寄り添った経営支援を、「地域経済の活性化」では企業間のビジネスマッチング支援や新産業団地の立地支援と企業誘致後の継続的な支援などを行い、地域経済全体の底上げを図ります。

また、「就学前教育と保育の充実」についても、全体マトリクス図とは異なり、【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）へプロットされているのが見て取れます。20 代以下の若者世代は、自身がこれから結婚や出産、育児というライフイベントを迎える、あるいは現在まさに直面し始めている世代です。そのため、将来への生活設計において「子どもを安心して生み育てられる環境が町にあるか」が強い関心事であると同時に、町の取り組みに一定の理解を示しつつも、学童保育の受け入れ体制など、回答者自身が求める理想の「利用のしやすさ」などにギャップが生じている可能性があることが要因と考えられます。

すべてのこどもが安心して学び成長できる環境を保障するために、認定こども園や幼稚園、保育園との連携を強化しながら、保育の充実を図ります。また、働く保護者の支援として、利用拡大が見込まれる学童保育においては、学校の余裕教室の活用など、柔軟な運営体制の整備を進めるほか、保護者のライフスタイルの多様化に合わせた支援として、こども誰でも通園制度を実施していきます。

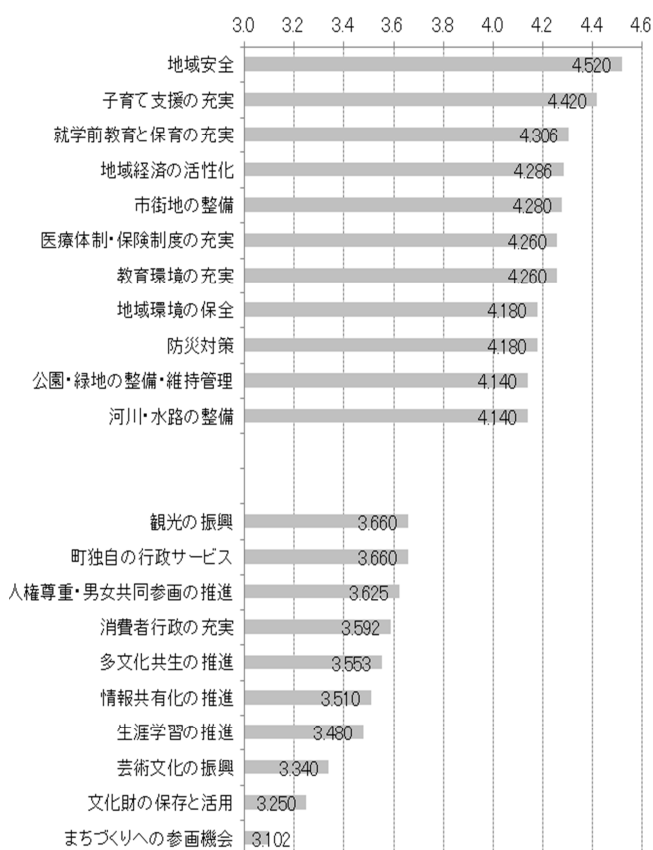
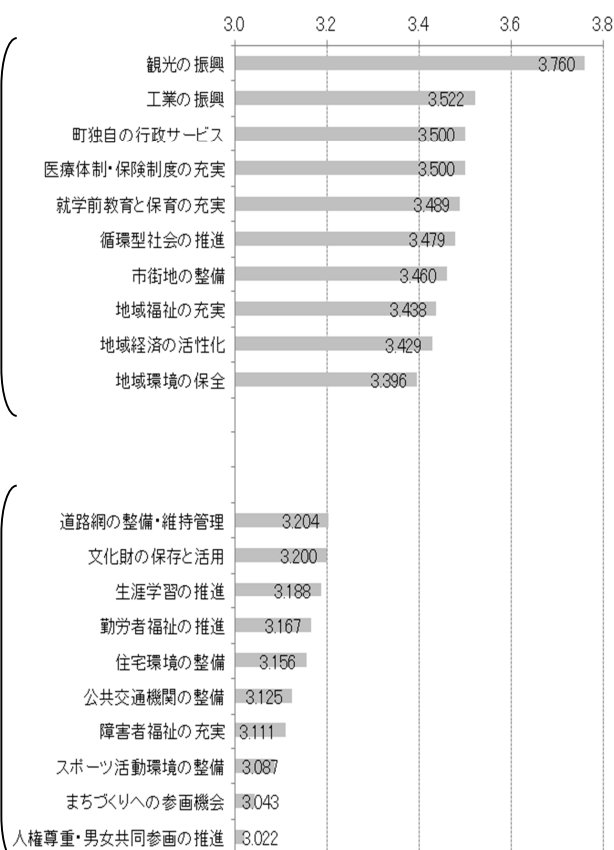
30代

上位
10
項目

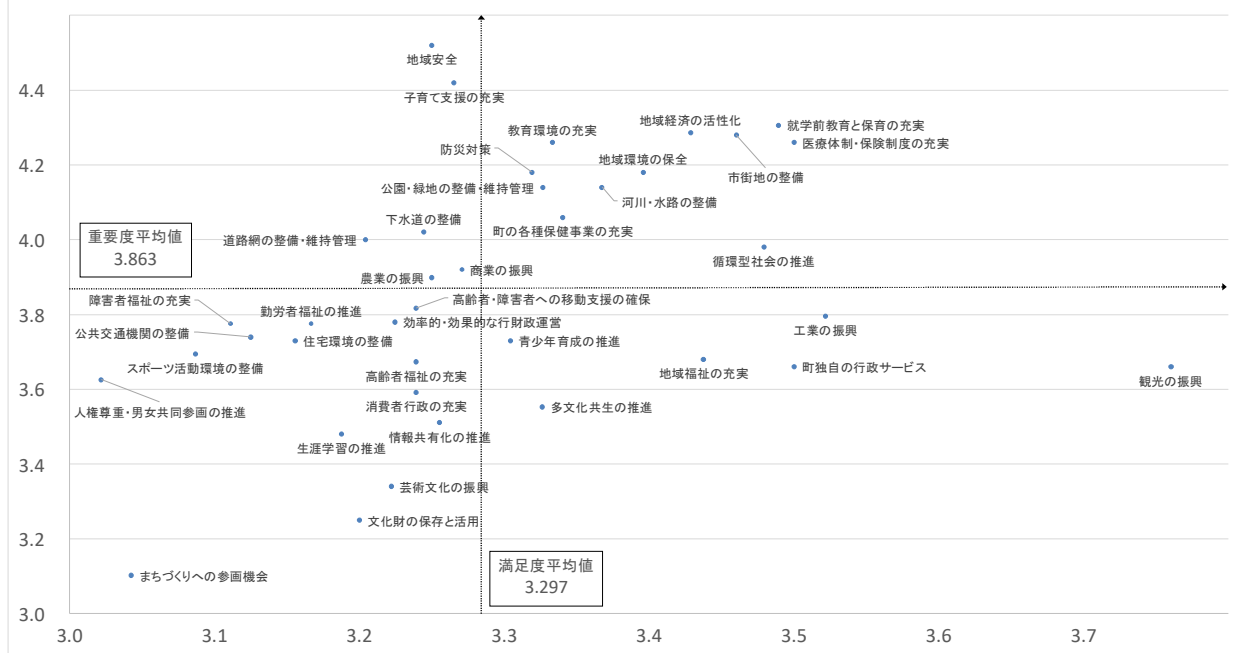
下位
10
項目

【満足度】

【重要度】



「まちづくり」の評価(満足度・重要度)【30代】



満足度

満足度×重要度マトリクス分析【30代】

全体の満足度平均 3.294 点、重要度平均 3.960 点に対し、30 代については満足度平均が 3.297 点、重要度平均 3.863 点と、ほぼ同一水準の傾向にあります。

マトリクス図では、重要度における「子育て支援の充実」や「就学前教育と保育の充実」、「教育環境の充実」といった子育て関連項目が揃って高い重要度にプロットされている点が目立ちます。30 代は、まさに育児をリアルタイムで担っている当事者世代が多いと想定され、少子化や核家族化が進む中、仕事と子育ての両立や経済的・精神的な負担軽減、切れ目のない相談体制へのニーズが、大きな注目点となった結果が表れていると考えられます。

「子育て支援の充実」ではこども家庭センターを軸とした包括的な相談体制の整備や産後ケアでは日帰り型、宿泊型に訪問型を追加するなど、より充実した支援サービスの提供を開始しているほか、「就学前教育と保育の充実」では保育施設や児童館への ALT の週 1 日の巡回訪問を通じて幼児期から英語に触れる機会を提供するとともに、保護者の多様な働き方に応じた保育環境の整備を行い、「教育環境の充実」では ICT 環境の強化、さらには近年深刻化する酷暑対策として空調機器の更新などを行い、子どもたちが安心して意欲をもって学べる環境の底上げを図ります。

また、全体平均では満足度が高い「地域安全」ですが、30 代単体では【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）へプロットされており、この背景には「子どもが安全に生活道路を通学できるか」「日常的な防犯・交通安全対策が地域でなされているか」という、子どもの身の回りの安全に対する要望が見てとれます。

子どもの安全な通学や日常の安心を守るため、警察を中心とした関係機関と連携し、交通安全教室や街頭指導の実施、講座の実施や安全・安心メールの活用強化による防犯意識向上の啓発などにより、犯罪や交通事故を未然に防ぐ安全なまちづくりの基盤を固めます。

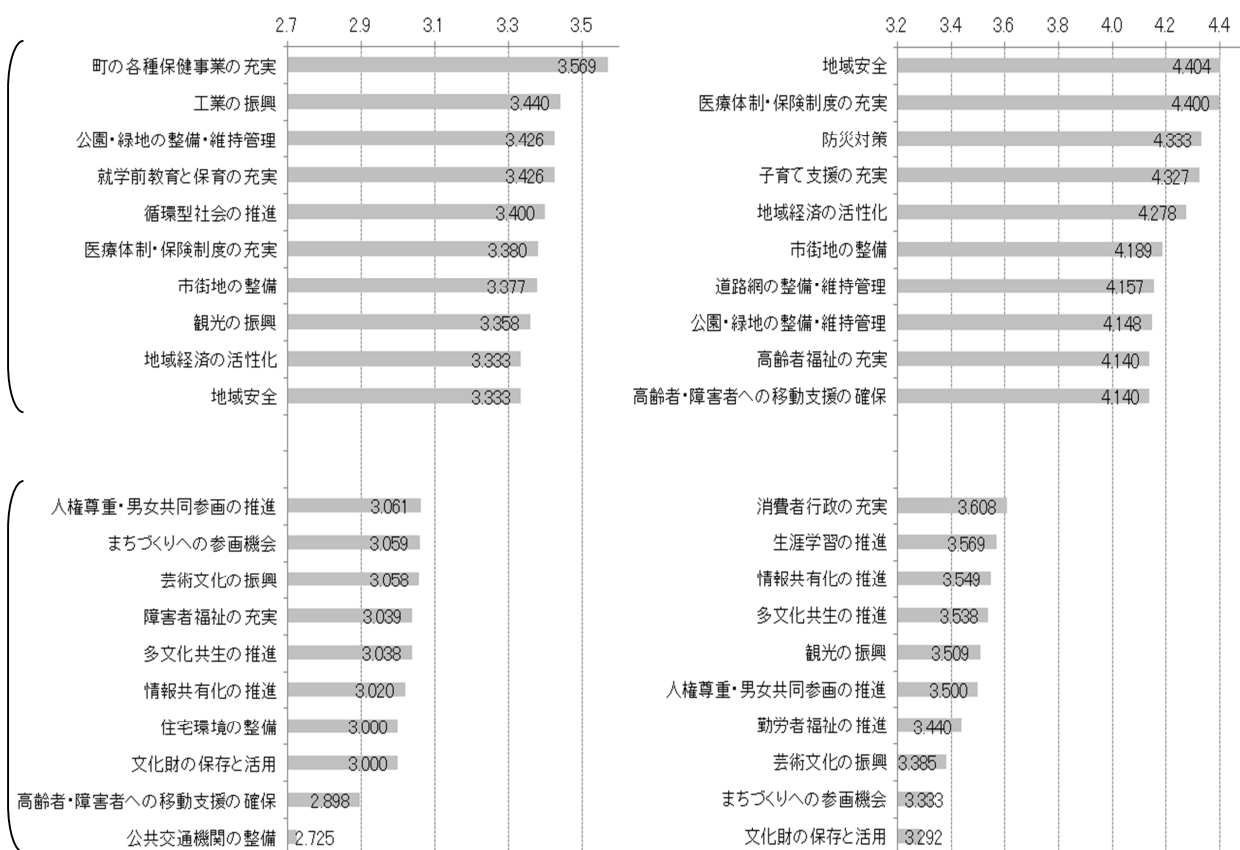
40代

【満足度】

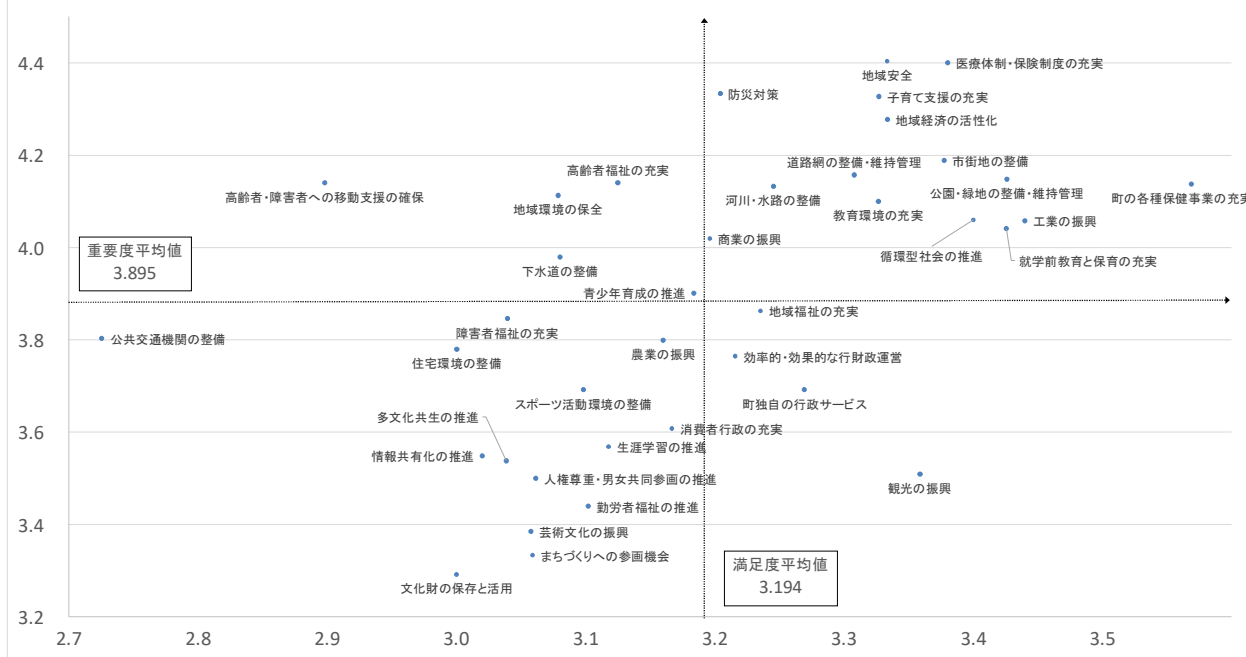
【重要度】

上位
10
項目

下位
10
項目



「まちづくり」の評価(満足度・重要度)【40代】



満足度×重要度マトリクス分析【40代】

全体の満足度平均 3.294 点、重要度平均 3.960 点に対し、40代については満足度平均が 3.194 点、重要度平均 3.895 点と、やや低い水準の傾向にあります。

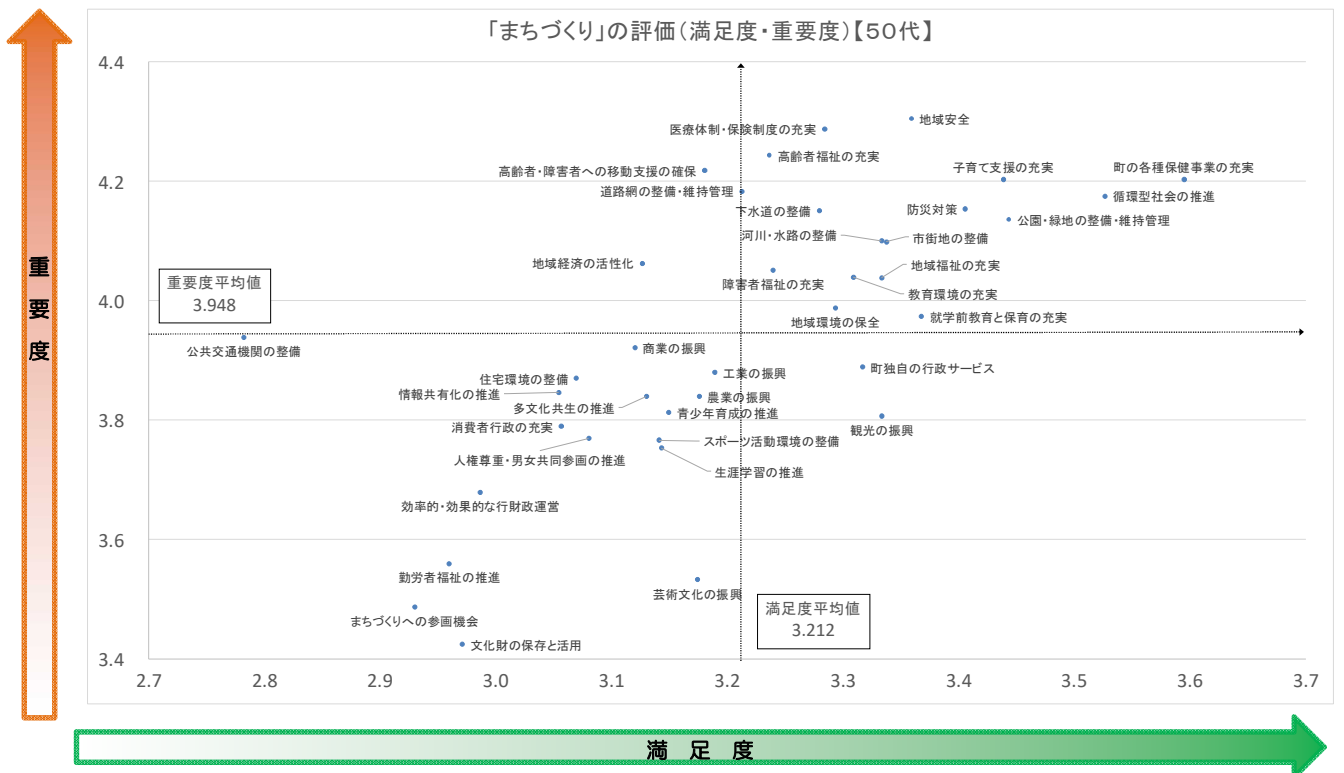
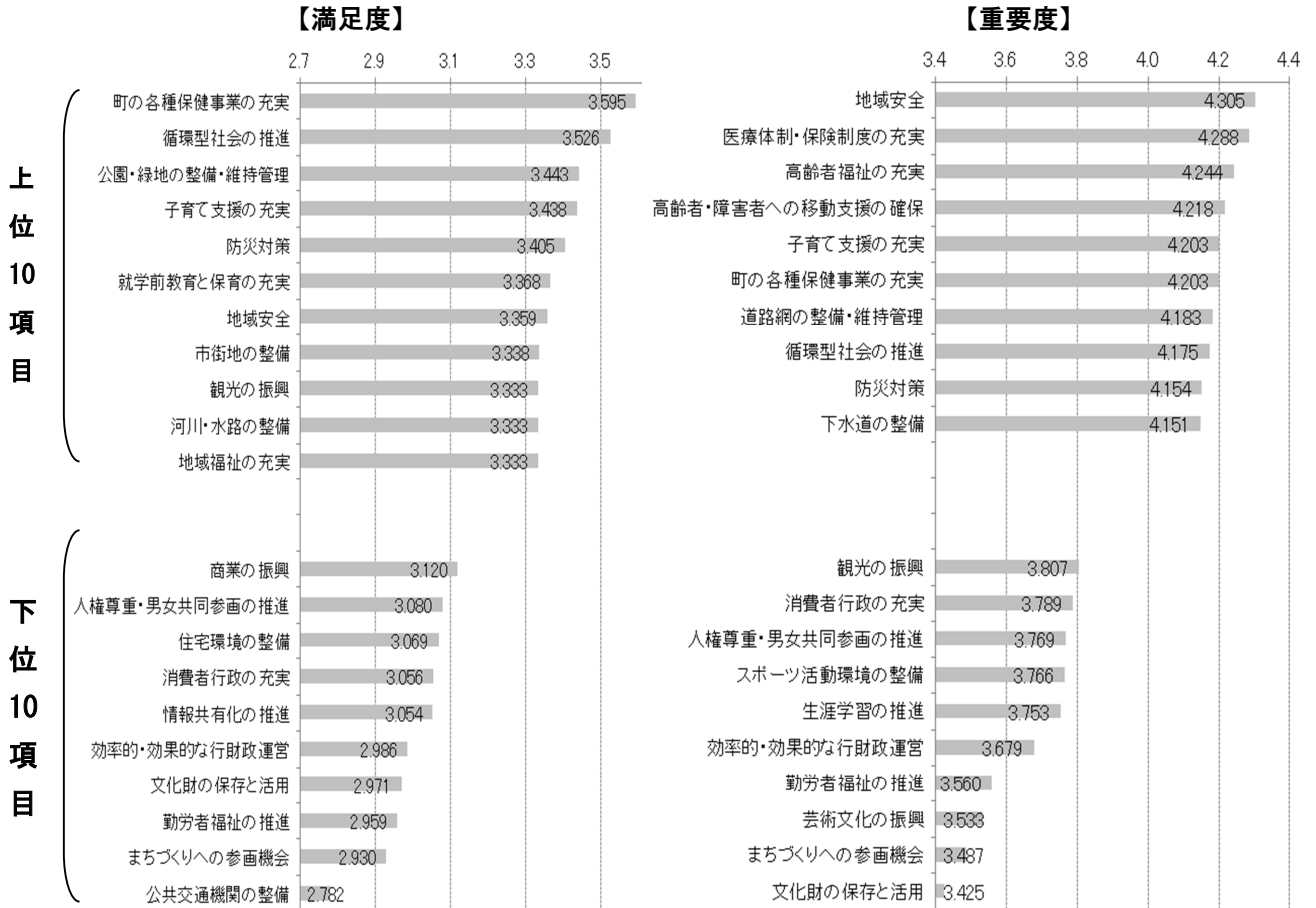
40代では、30代まで重要度が高いとされていた子育て関連施策への関心が落ち着きを見せる一方、「高齢者福祉の充実」や「高齢者・障害者への移動支援の確保」が重要度上位へとシフトしています。これは、自身の育児の終盤と「親世代の介護や日々の移動手段の確保」という多層的な実生活の課題に直面し始め、現状の福祉・インフラ体制について当事者として敏感に感じていることが大きな要因として想定されます。

「高齢者福祉の充実」では高齢者ふれあいセンターの管理運営を通じた生きがい活動の場の提供などの実施、「高齢者・障害者への移動支援の確保」では運賃引き下げを行った高齢者等デマンド交通事業のさらなる周知・利用促進等を行い、ニーズに応じたサービスの提供を行っていきます。

また、全体と更に違う点としては、40代では「青少年育成の推進」が【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）へプロットされていることが特徴といえます。40代は中高生などの思春期を迎える子どもを持つ親世代が増えてくることが想定され、当事者として青少年の健全育成に対する関心が高くなっているといえます。

近年、インターネットや SNS の普及に伴い、子どもたちが直面する犯罪手口やネット上のリスクが急速に複雑化・多様化しています。変化する社会環境から青少年を守り、健やかな成長を支えるため、SNS の適正利用について青少年自身とその周囲の大人に向けて、時代に即したリスクへの対応方法を含む啓発活動を展開します。また、関係機関と連携した青少年健全育成パトロールなどの実施により、継続的な啓発活動を行い、地域ぐるみで子どもたちの成長を支えていきます。

50代



満足度×重要度マトリクス分析【50代】

全体の満足度平均 3.294 点、重要度平均 3.960 点に対し、50 代については満足度平均が 3.212 点、重要度平均は 3.948 点と、やや低い水準の傾向にあります。

50 代では、「医療体制・保険制度の充実」が【重要度：高、満足度：高】（今後も継続的な取り組みが必要な施策領域）の領域に位置しながらも、他の年代と比較した際に、満足度が比較的平均値に近い位置にあることが見て取れます。これは、自身や同世代の健康リスク・生活習慣病への不安が高まる年代であること、また親の医療や介護に直面する機会が増えると想定されることから、「必要な時に適切な医療を安心して受けられる体制」の維持管理を自身のリアルな問題として重視していることが要因として考えられます。また、この現象については 60 代でも同様のことが見て取れます。

引き続き、誰もが住み慣れた地域で健康に暮らせるよう、医療機関や関係機関・団体と連携し、急病などの時にも医療を受けられる地域医療体制の維持・確保を図るほか、特定健康診査や人間ドック受診補助事業などの実施により、疾病の早期発見・早期治療による重症化予防の取り組みを進めていきます。

また、全体平均では満足度が高い領域に位置していた「地域経済の活性化」ですが、50 代単体では【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）にプロットされています。50 代は定年退職を見据えたキャリアの終盤にあり、物価高騰や社会保障負担の増大といった社会情勢の変化に対して敏感な世代といえます。自らの老後の生活基盤や地域の持続的な経済・雇用基盤の先行きに対しての不安が表れていると想定されます。

持続可能な地域経済の確立と企業の経営基盤強化のため、引き続き企業間のビジネスマッチング支援や新産業団地の立地支援と企業誘致後の継続的な支援、各種支援制度によるの中小企業のサポートなどを展開し、地域経済全体の底上げを図ります。

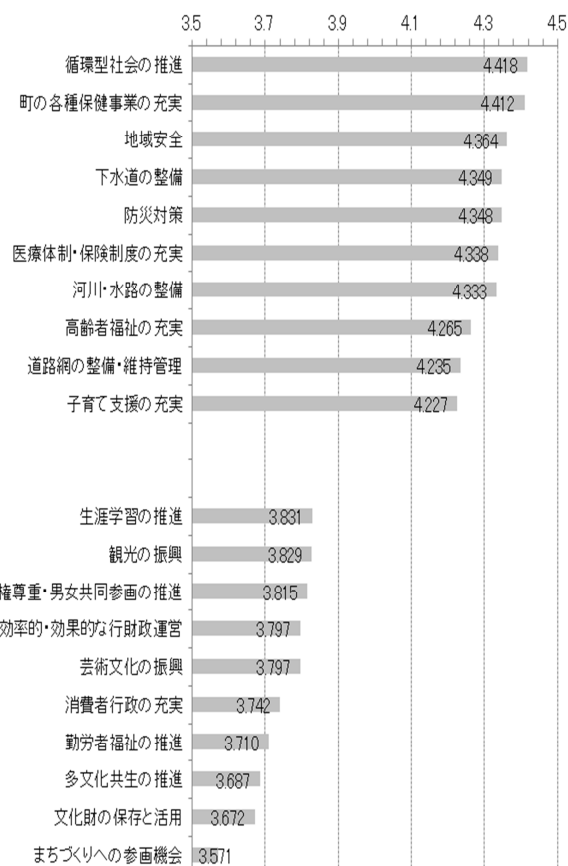
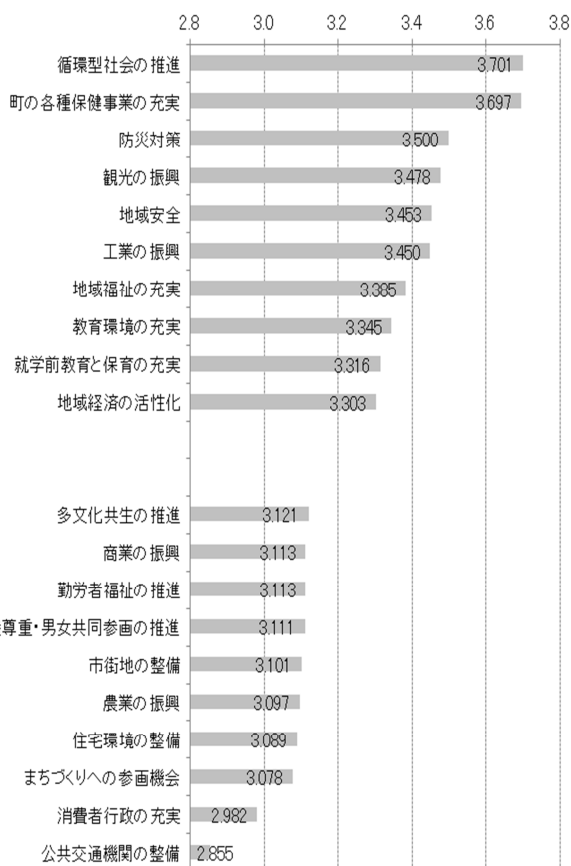
60代

上位10項目

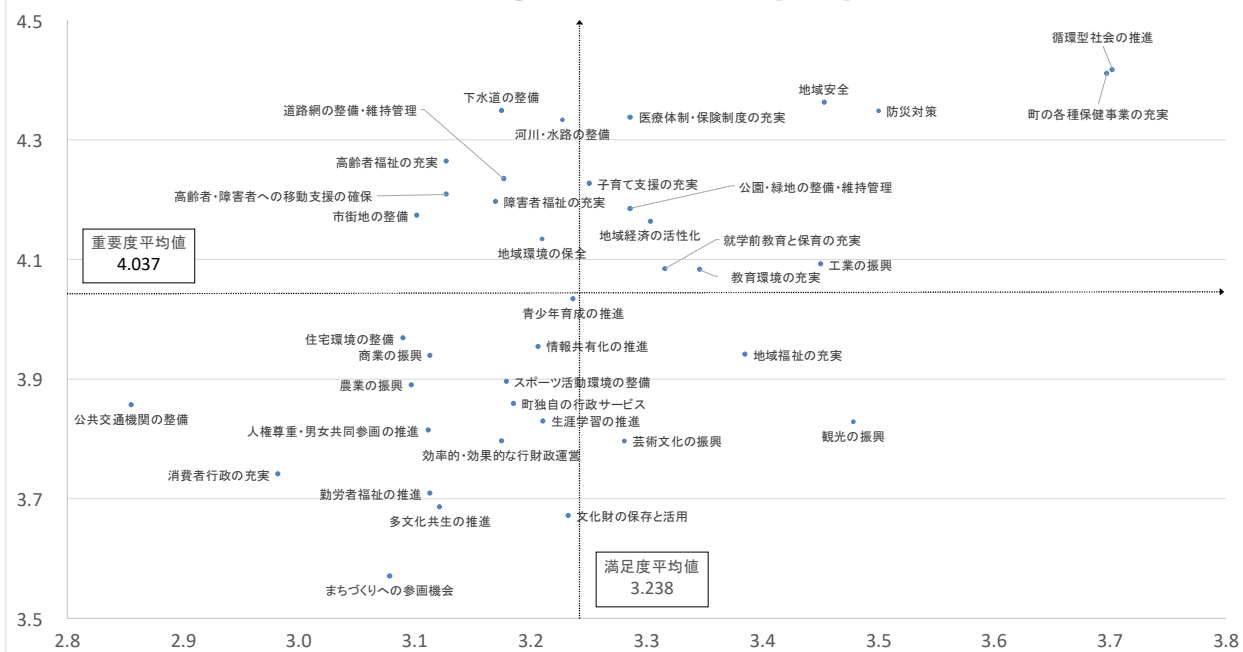
下位10項目

【満足度】

【重要度】



「まちづくり」の評価(満足度・重要度)【60代】



満足度×重要度マトリクス分析【60代】

全体の満足度平均 3.294 点、重要度平均 3.960 点に対し、60 代については満足度平均が 3.238 点と低い一方、重要度平均は 4.037 点とやや高い水準の傾向にあります。

全体平均では【重要度：高、満足度：高】（今後も継続的な取り組みが必要な施策領域）にあった「市街地の整備」ですが、60 代単体では【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）にプロットされています。60 代は定年退職などを機に、生活の基盤が「地域（町内）」へとシフトしていく世代といえます。そのため、今後の健康維持や日常生活に欠かせない、歩行者や高齢者に配慮したコンパクトで暮らしやすい都市構造の実現に対し、高い期待を向けていることが要因と考えられます。

引き続き人口減少社会に対応した持続可能なコンパクトシティを目指し、「大泉町立地適正化計画」に基づく都市機能や居住機能の誘導を進めます。また、寄木戸地区などの対象エリアの「地籍調査事業」についても着実な事業推進をし、安全で質の高い市街地環境の基盤を整えていきます。

また、「市街地の整備」と同様に、「河川・水路の整備」についても【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）にプロットされているのが特徴です。在宅時間が長くなる定年後の地域生活において、近年多発する局地的な大雨や台風による道路の冠水・浸水被害は、自らの生命や財産（住環境）を脅かす最も身近な脅威といえ、町の災害対応力や治水安全性の向上に対する要望が要因として想定されます。

「河川・水路の整備」においては、道路冠水被害が発生・懸念されるエリアの排水構造物の新設とともに、既存の側溝の修繕や土砂撤去などの維持管理を計画的に実施していきます。

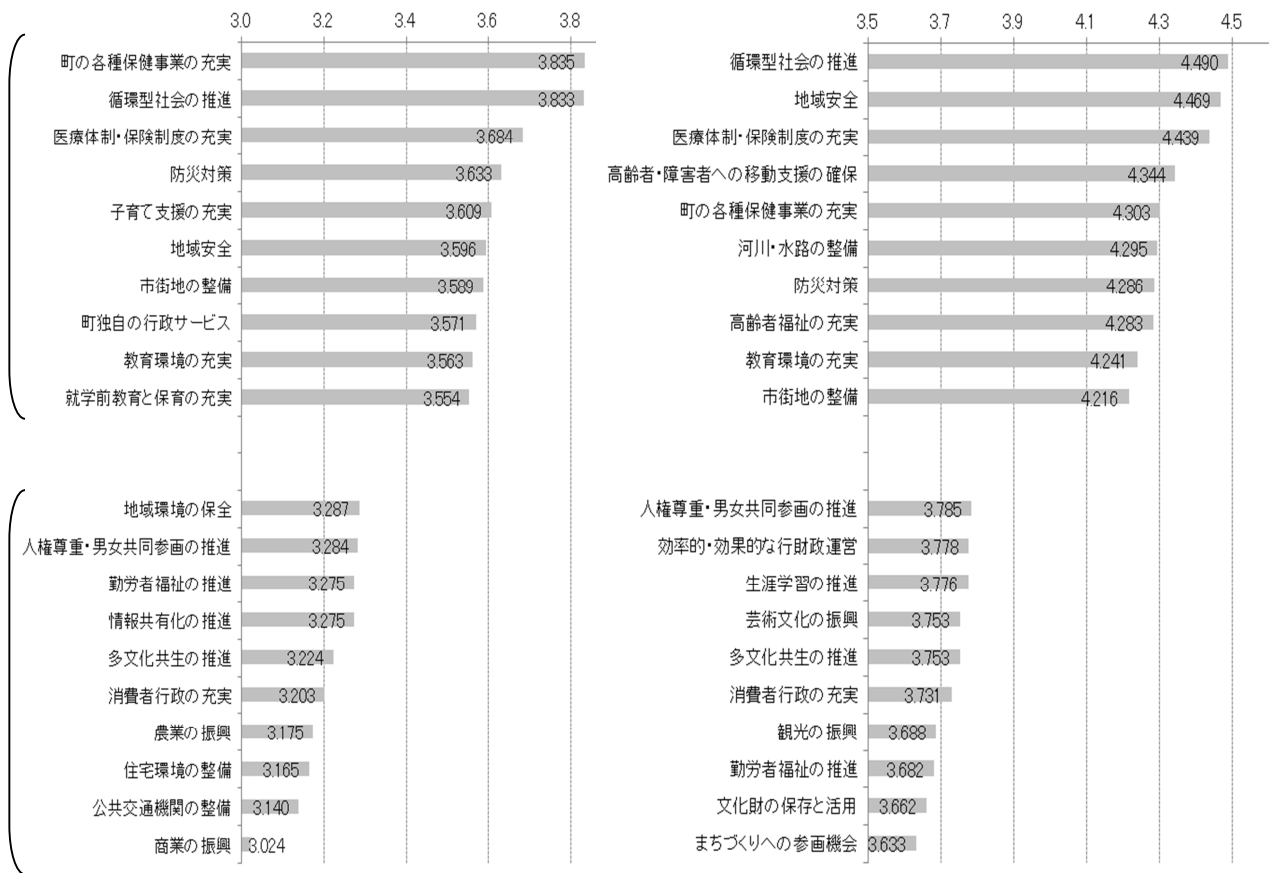
70 歲以上

【満足度】

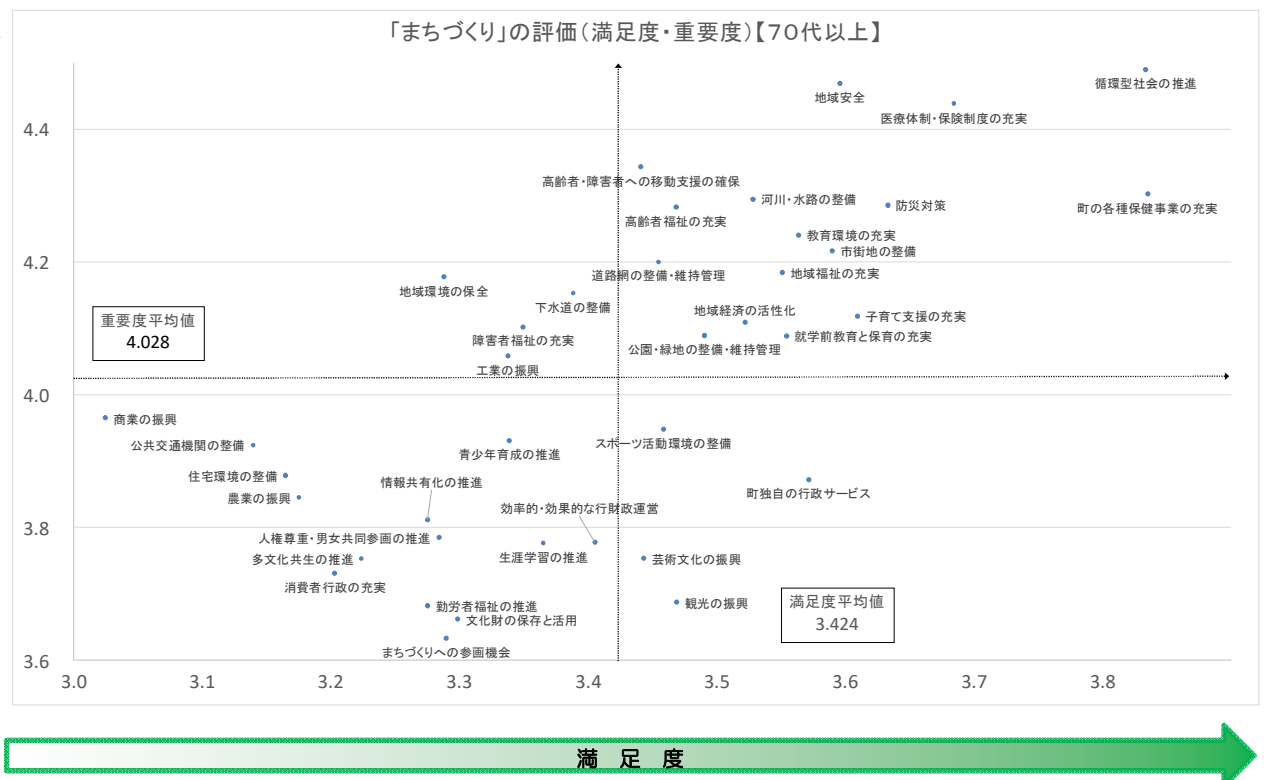
【重要度】

上位10項目

下
位
10
項
目



「まちづくり」の評価(満足度・重要度)【70代以上】



満足度×重要度マトリクス分析【70 歳以上】

全体の満足度平均 3.294 点、重要度平均 3.960 点に対し、70 歳以上については満足度平均が 3.424 点、重要度平均は 4.028 点とやや高い水準の傾向にあります。

全体平均や他の現役世代では【重要度：高、満足度：高】（今後も継続的な取り組みが必要な施策領域）にプロットされていることが多い「工業の振興」ですが、70 歳以上では【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）にプロットされています。職業別の年齢構成を見た際に、「無職」の割合は 70 歳以上が約 7 割（67.8%）を占めており、自身が就労しているわけではありません。しかし、単に自分たちの医療や介護といった福祉の充実を求めるだけでなく、本町の税収や活力を支える産業振興の基盤を案じた視点を持っていることが要因と考えられます。

町の持続的な財源と活力を維持するため、引き続き関係機関と連携しながら、各種補助金制度の活用促進などの取り組みにより、町内企業が社会情勢の変化に対応しながら持続可能な発展を遂げられるよう支援を行います。

また、全体平均では【重要度：高、満足度：低】（重点的な取り組みが必要な施策領域）にプロットされている「高齢者・障害者への移動支援の確保」ですが、70 歳以上では【重要度：高、満足度：高】（今後も継続的な取り組みが必要な施策領域）にプロットされています。70 歳以上においては、運転免許の返納などを迎え「日々の買い物や通院の足をいかに確保するか」は、生活や健康維持に直結する問題といえます。令和 7 年度に運賃引き下げを行った高齢者等デマンド交通などの町の取り組みを評価しつつも、生活の足として継続的なサービス提供が求められていることが伺えます。引き続き、サービスの利用を促進し、ニーズを踏まえた高齢者の移動手段の確保に努めていきます。

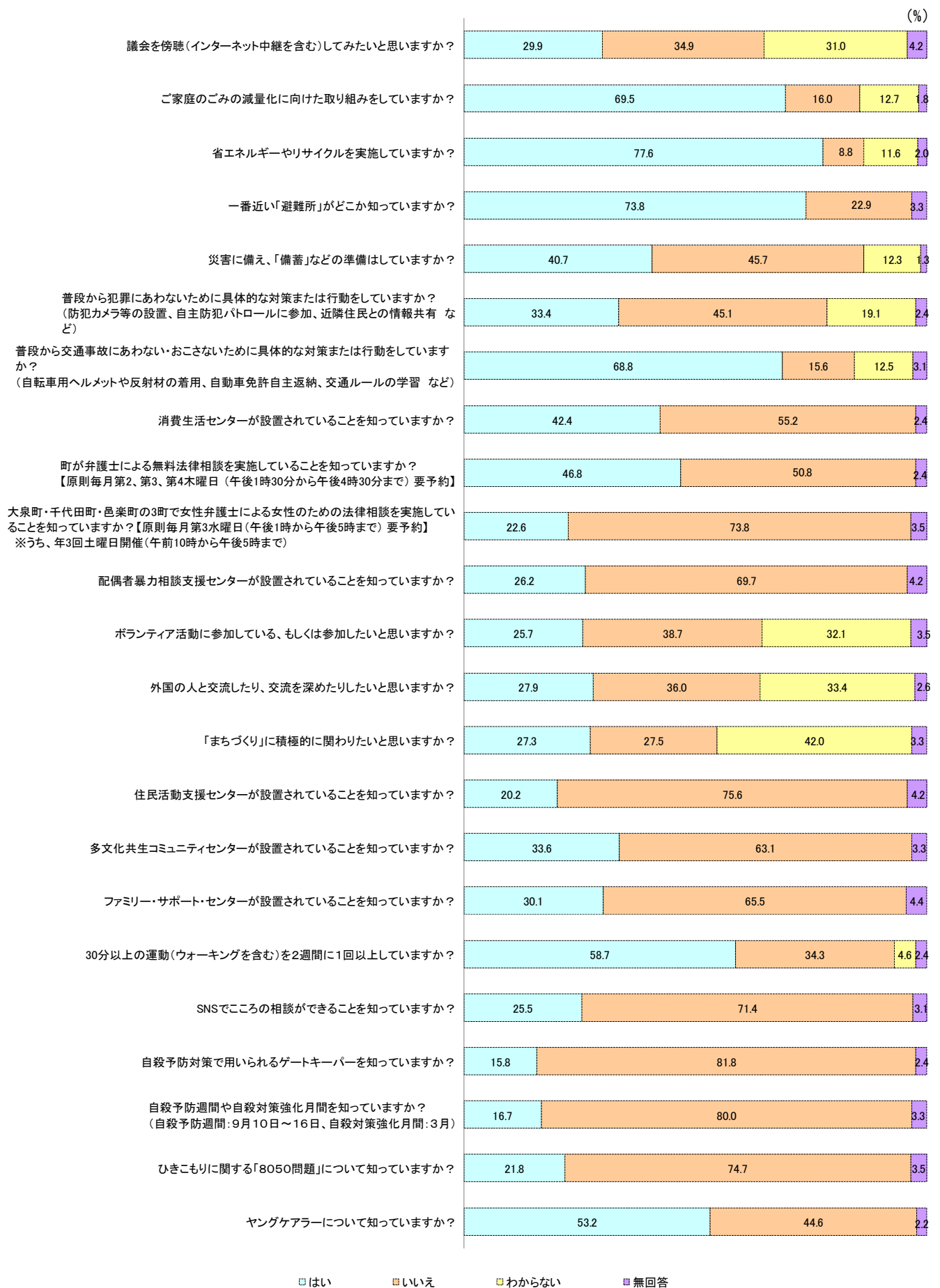
Ⅲ あなたの「意識」について①

以下の質問について、最も近いものに○を付けてください。（3択問題）

		はい		いいえ		わからない		無回答		合計
		回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	回答数	構成比 (%)	
1	議会を傍聴（インターネット中継を含む）してみたいと思いますか？	136	29.9	159	34.9	141	31.0	19	4.2	455
2	ご家庭のごみの減量化に向けた取り組みをしていますか？	316	69.5	73	16.0	58	12.7	8	1.8	455
3	省エネルギーやリサイクルを実施していますか？	353	77.6	40	8.8	53	11.6	9	2.0	455
4	一番近い「避難所」がどこか知っていますか？	336	73.8	104	22.9	—	—	15	3.3	455
5	災害に備え、「備蓄」などの準備はしていますか？	185	40.7	208	45.7	56	12.3	6	1.3	455
6	普段から犯罪にあわないために具体的な対策または行動をしていますか？ （防犯カメラ等の設置、自主防犯パトロールに参加、近隣住民との情報共有 など）	152	33.4	205	45.1	87	19.1	11	2.4	455
7	普段から交通事故にあわない・おこさないために具体的な対策または行動をしていますか？ （自転車用ヘルメットや反射材の着用、自動車免許自主返納、交通ルールの学習 など）	313	68.8	71	15.6	57	12.5	14	3.1	455
8	消費生活センターが設置されていることを知っていますか？	193	42.4	251	55.2	—	—	11	2.4	455
9	町が弁護士による無料法律相談を実施していることを知っていますか？ 【原則毎月第2、第3、第4木曜日（午後1時30分から午後4時30分まで）要予約】	213	46.8	231	50.8	—	—	11	2.4	455
10	大泉町・千代田町・邑楽町の3町で女性弁護士による女性のための法律相談を実施していることを知っていますか？ 【原則毎月第3水曜日（午後1時から午後5時まで）要予約】 ※うち、年3回土曜日開催（午前10時から午後5時まで）	103	22.6	336	73.8	—	—	16	3.5	455
11	配偶者暴力相談支援センターが設置されていることを知っていますか？	119	26.2	317	69.7	—	—	19	4.2	455
12	ボランティア活動に参加している、もしくは参加したいと思いますか？	117	25.7	176	38.7	146	32.1	16	3.5	455
13	外国の人と交流したり、交流を深めたりしたいと思いますか？	127	27.9	164	36.0	152	33.4	12	2.6	455
14	「まちづくり」に積極的に関わりたいと思いますか？	124	27.3	125	27.5	191	42.0	15	3.3	455
15	住民活動支援センターが設置されていることを知っていますか？	92	20.2	344	75.6	—	—	19	4.2	455
16	多文化共生コミュニティセンターが設置されていることを知っていますか？	153	33.6	287	63.1	—	—	15	3.3	455
17	ファミリー・サポート・センターが設置されていることを知っていますか？	137	30.1	298	65.5	—	—	20	4.4	455
18	30分以上の運動（ウォーキングを含む）を2週間に1回以上していますか？	267	58.7	156	34.3	21	4.6	11	2.4	455
19	SNSでこころの相談ができることを知っていますか？	116	25.5	325	71.4	—	—	14	3.1	455
20	自殺予防対策で用いられるゲートキーパーを知っていますか？	72	15.8	372	81.8	—	—	11	2.4	455
21	自殺予防週間や自殺対策強化月間を知っていますか？ （自殺予防週間：9月10日～16日、自殺対策強化月間：3月）	76	16.7	364	80.0	—	—	15	3.3	455
22	ひきこもりに関する「8050問題」について知っていますか？	99	21.8	340	74.7	—	—	16	3.5	455
23	ヤングケアラーについて知っていますか？	242	53.2	203	44.6	—	—	10	2.2	455

【「はい」の回答数が多い質問】

- ・「省エネルギーやリサイクルを実施していますか？」…77.6%
- ・「一番近い「避難所」がどこか知っていますか？」…73.8%
- ・「ご家庭のごみの減量化に向けた取り組みをしていますか？」…69.5%

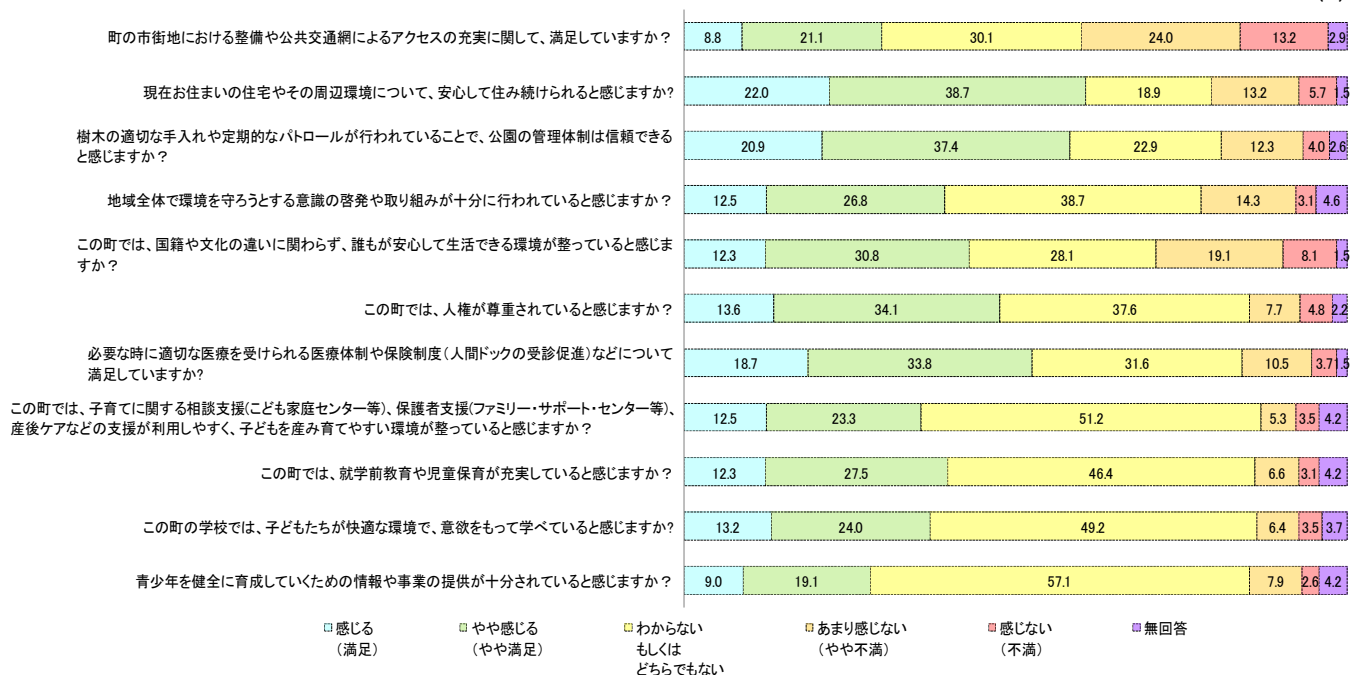


		『はい』 構成比(%)	R6調査 実施分(%)	増減
1	議会を傍聴(インターネット中継を含む)してみたいと思いますか？	29.9	38.1	▲ 8.2
2	ご家庭のごみの減量化に向けた取り組みをしていますか？	69.5	68.3	1.2
3	省エネルギーやリサイクルを実施していますか？	77.6	75.3	2.3
4	一番近い「避難所」がどこか知っていますか？	73.8	74.7	▲ 0.9
5	災害に備え、「備蓄」などの準備はしていますか？	40.7	47.0	▲ 6.3
6	普段から犯罪にあわないために具体的な対策または行動をしていますか？ (防犯カメラ等の設置、自主防犯パトロールに参加、近隣住民との情報共有 など)	33.4	-	-
7	普段から交通事故にあわない・おこさないために具体的な対策または行動をしていますか？ (自転車用ヘルメットや反射材の着用、自動車免許自主返納、交通规则の学習 など)	68.8	-	-
8	消費生活センターが設置されていることを知っていますか？	42.4	42.9	▲ 0.5
9	町が弁護士による無料法律相談を実施していることを知っていますか？ 【原則毎月第2、第3、第4木曜日(午後1時30分から午後4時30分まで)要予約】	46.8	46.6	0.2
10	大泉町・千代田町・邑楽町の3町で女性弁護士による女性のための法律相談を実施していることを知っていますか？ 【原則毎月第3水曜日(午後1時から午後5時まで) 要予約】 ※うち、年3回土曜日開催(午前10時から午後5時まで)	22.6	22.4	0.2
11	配偶者暴力相談支援センターが設置されていることを知っていますか？	26.2	26.9	▲ 0.7
12	ボランティア活動に参加している、もしくは参加したいと思いますか？	25.7	34.2	▲ 8.5
13	外国の人と交流したり、交流を深めたりしたいと思いますか？	27.9	31.3	▲ 3.4
14	「まちづくり」に積極的に関わりたいと思いますか？	27.3	30.8	▲ 3.5
15	住民活動支援センターが設置されていることを知っていますか？	20.2	23.1	▲ 2.9
16	多文化共生コミュニティセンターが設置されていることを知っていますか？	33.6	29.5	4.1
17	ファミリー・サポート・センターが設置されていることを知っていますか？	30.1	28.5	1.6
18	30分以上の運動(ウォーキングを含む)を2週間に1回以上していますか？	58.7	52.5	6.2
19	SNSでこころの相談ができることを知っていますか？	25.5	30.8	▲ 5.3
20	自殺予防対策で用いられるゲートキーパーを知っていますか？	15.8	24.0	▲ 8.2
21	自殺予防週間や自殺対策強化月間を知っていますか？ (自殺予防週間:9月10日～16日、自殺対策強化月間:3月)	16.7	22.4	▲ 5.7
22	ひきこもりに関する「8050問題」について知っていますか？	21.8	23.7	▲ 1.9
23	ヤングケアラーについて知っていますか？	53.2	48.9	4.3

以下の質問について、最も近いものに○を付けてください。（５択問題）

		感じる (満足)		やや感じる (やや満足)		わからない もしくは どちらでもな い		あまり感じな い (やや不満)		感じない (不満)		無回答		合計
		回答 数	構成 比(%)	回答 数	構成 比(%)	回答 数	構成 比(%)	回答 数	構成 比(%)	回答 数	構成 比(%)	回答 数	構成 比(%)	
24	町の市街地における整備や公共交通網によるアクセスの充実に関して、満足していますか？	40	8.8	96	21.1	137	30.1	109	24.0	60	13.2	13	2.9	455
25	現在お住まいの住宅やその周辺環境について、安心して住み続けられると感じますか？	100	22.0	176	38.7	86	18.9	60	13.2	26	5.7	7	1.5	455
26	樹木の適切な手入れや定期的なパトロールが行われていることで、公園の管理体制は信頼できると感じますか？	95	20.9	170	37.4	104	22.9	56	12.3	18	4.0	12	2.6	455
27	地域全体で環境を守ろうとする意識の啓発や取り組みが十分に行われていると感じますか？	57	12.5	122	26.8	176	38.7	65	14.3	14	3.1	21	4.6	455
28	この町では、国籍や文化の違いに関わらず、誰もが安心して生活できる環境が整っていると感じますか？	56	12.3	140	30.8	128	28.1	87	19.1	37	8.1	7	1.5	455
29	この町では、人権が尊重されていると感じますか？	62	13.6	155	34.1	171	37.6	35	7.7	22	4.8	10	2.2	455
30	必要な時に適切な医療を受けられる医療体制や保険制度(人間ドックの受診促進)などについて満足していますか？	85	18.7	154	33.8	144	31.6	48	10.5	17	3.7	7	1.5	455
31	この町では、子育てに関する相談支援(こども家庭センター等)、保護者支援(ファミリー・サポート・センター等)、産後ケアなどの支援が利用しやすく、子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じますか？	57	12.5	106	23.3	233	51.2	24	5.3	16	3.5	19	4.2	455
32	この町では、就学前教育や児童保育が充実していると感じますか？	56	12.3	125	27.5	211	46.4	30	6.6	14	3.1	19	4.2	455
33	この町の学校では、子どもたちが快適な環境で、意欲をもって学んでいると感じますか？	60	13.2	109	24.0	224	49.2	29	6.4	16	3.5	17	3.7	455
34	青少年を健全に育成していくための情報や事業の提供が十分されていると感じますか？	41	9.0	87	19.1	260	57.1	36	7.9	12	2.6	19	4.2	455

(%)



		『感じる(満足)』・『やや感じる(やや満足)』 構成比(%)	R7調査 実施分(%)	増減
24	町の市街地における整備や公共交通網によるアクセスの充実に、満足していますか？	29.9	-	-
25	現在お住まいの住宅やその周辺環境について、安心して住み続けられると感じますか？	60.7	-	-
26	樹木の適切な手入れや定期的なパトロールが行われていることで、公園の管理体制は信頼できると感じますか？	58.3	-	-
27	地域全体で環境を守ろうとする意識の啓発や取り組みが十分に行われていると感じますか？	39.3	-	-
28	この町では、国籍や文化の違いに関わらず、誰もが安心して生活できる環境が整っていると感じますか？	43.1	-	-
29	この町では、人権が尊重されていると感じますか？	47.7	-	-
30	必要な時に適切な医療を受けられる医療体制や保険制度(人間ドックの受診促進)などについて満足していますか？	52.5	-	-
31	この町では、子育てに関する相談支援(こども家庭センター等)、保護者支援(ファミリー・サポート・センター等)、産後ケアなどの支援が利用しやすく、子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じますか？	35.8	-	-
32	この町では、就学前教育や児童保育が充実していると感じますか？	39.8	-	-
33	この町の学校では、子どもたちが快適な環境で、意欲をもって学んでいると感じますか？	37.2	-	-
34	青少年を健全に育成していくための情報や事業の提供が十分されていると感じますか？	28.1	-	-

Ⅳ あなたの「意識」について②

以下の質問について、回答をご記入いただくか、最も近いものに○を付けてください。

◎日本語はできますか？（1つ選択してください）

※外国人のみの設問です。

		回答数	構成比(%)	R7 年度調査分(%)	増減
1	できる(通訳がいなくても話せる)	19	45.2	19.4	25.8
2	少しできる(通訳が必要)	18	42.9	55.6	▲ 12.7
3	できない	2	4.8	16.7	▲ 11.9
4	無回答	3	7.1	8.3	▲ 1.2
計		42	100.0	100.0	0.0

『日本語が話せるか』という設問では「少しできる（通訳が必要）」が45.2%と最も多く、次いで「できる（通訳がいなくても話せる）」が42.9%、「できない」が4.8%となっています。

○町からの情報について

1 町政に関する「情報」をどのように入手していますか？（3つまで選択してください）

■回答者数 434 人

		回答数	構成比(%)	R7 年度調査分(%)	増減
1	広報「おおいずみ」	353	81.3	81.7	▲ 0.4
2	回覧板	245	56.5	70.8	▲ 14.3
3	公共施設などの掲示板	47	10.8	11.7	▲ 0.9
4	懇談会や説明会などの町の行事	9	2.1	3.4	▲ 1.3
5	電話や窓口などで直接聞く	22	5.1	4.7	0.4
6	ご近所や友人から聞く	94	21.7	20.4	1.3
7	大泉町ホームページ	134	30.9	26.4	4.5
8	大泉町 LINE	103	23.7	16.4	7.3
9	大泉町X(旧 Twitter)	11	2.5	1.6	0.9
10	大泉町 Facebook	2	0.5	2.1	▲ 1.6
11	大泉町 YouTube	6	1.4	2.1	▲ 0.7
12	新聞・ラジオ・テレビ	40	9.2	9.7	▲ 0.5
13	その他	6	1.4	1.8	▲ 0.4
計		1,072			

『町政に関する「情報」の入手』については、「広報『おおいずみ』」が81.3%と最も多く、次いで「回覧板」が56.5%、「大泉町ホームページ」が30.9%などとなっています。昨年と比較した際、『大泉町ホームページ』や『大泉町 LINE』など、デジタル媒体を情報源として活用している人が増えていきます。

○町の魅力について

2 大泉町を魅力的なまちとして伝えたいと思いますか？（1つ選択してください）

		回答数	構成比(%)	R7 年度調査分(%)	増減
1	とても思う	72	15.8	19.2	▲ 3.4
2	やや思う	161	35.4	28.1	7.3
3	どちらともいえない	156	34.3	30.1	4.2
4	あまり思わない	34	7.5	9.4	▲ 1.9
5	全く思わない	20	4.4	5.3	▲ 0.9
6	無回答	12	2.6	8.0	▲ 5.4
計		455	100.0	100.1	▲ 0.1

『大泉町を魅力的なまちとして伝えたいか』については、「とても思う」と「やや思う」の合計が51.2%と半数を占める一方で、「どちらともいえない」が34.3%以上と3割以上となっています。

年代別(%)	20代以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
とても思う	20.5	18.6	19.0	17.6	13.9	11.5	0.0
やや思う	35.9	33.9	34.9	30.8	39.2	37.7	0.0
どちらとも言えない	35.9	25.4	31.7	35.2	31.6	41.0	0.0
あまり思わない	2.6	16.9	11.1	6.6	8.9	2.5	0.0
思わない	5.1	3.4	3.2	8.8	3.8	1.6	50.0
無回答	0.0	1.7	0.0	1.1	2.5	5.7	50.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

年代別では、「とても思う」「やや思う」の合計がすべての年代で約50%を占める結果となっています。

2-1 2の設問で1または2に○をつけた方にお聞きします。具体的には、どのような事柄を伝えたいと思いますか？（3つまで選択してください）

■回答者数 233人

		回答数	構成比(%)	R7 年度調査分(%)	増減
1	水と緑の自然環境があること	103	44.2	44.4	▲ 0.2
2	快適な居住環境が整っていること	112	48.1	53.6	▲ 5.5
3	「ものづくり」のまちとして産業基盤があること	82	35.2	34.3	0.9
4	歴史や文化など伝統があること	32	13.7	10.1	3.6
5	地域公民館等によるコミュニティ（日常生活でのふれあいなど）があること	46	19.7	19.8	▲ 0.1
6	多文化共生が図られていること	116	49.8	44.9	4.9
7	その他	5	2.1	4.8	▲ 2.7
計		496			

年代別の回答内訳(%)	20代以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
水と緑の自然環境があること	14.3	17.9	15.3	19.8	23.5	24.5	0.0
快適な居住環境が整っていること	21.4	21.4	22.0	23.3	24.5	21.9	0.0
「ものづくり」のまちとして産業基盤があること	11.9	12.5	22.0	18.6	11.8	19.2	0.0
歴史や文化など伝統があること	9.5	7.1	5.1	3.5	7.8	6.6	0.0
地域公民館等によるコミュニティ(日常生活でのふれあいなど)があること	11.9	3.6	6.8	4.7	10.8	13.2	0.0
多文化共生が図られていること	31.0	37.5	27.1	27.9	20.6	13.9	0.0
その他	0.0	0.0	1.7	2.3	1.0	0.7	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0

町の魅力として『具体的に伝えたいこと』については、「多文化共生が図られていること」が前年度より4.9%増加して49.8%と最も多い結果となった一方で、年代別に見ると、年齢層が高くなるにつれて「多文化共生が図られていること」を魅力として感じている人が少ない傾向であることがわかりました。

また、「快適な居住環境が整っていること」については前年度より5.5%下がり48.1%という結果となりましたが、年代別で見ると、すべての年代で20%以上と高い割合を占めています。

3 仮に、自由に「お住まい」を変えられるとしたら、今後も「大泉町」で暮らしたいと思いますか？（1つ選択してください）

	回答数	構成比(%)
1 今後も暮らしたい	216	47.5
2 暮らしたいとは思わない	60	13.2
3 わからない	167	36.7
4 無回答	12	2.6
計	455	100.0

R7 年度調査分(%)	増減
40.9	6.6
16.0	▲ 2.8
34.7	2.0
8.4	▲ 5.8
100.0	0.0

年代別(%)	20代以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
今後も暮らしたい	48.7	44.1	47.6	42.9	40.5	57.4	0.0
暮らしたいとは思わない	5.1	18.6	20.6	15.4	11.4	9.0	0.0
わからない	41.0	35.6	31.7	39.6	45.6	30.3	50.0
無回答	5.1	1.7	0.0	2.2	2.5	3.3	50.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

『今後も「大泉町」で暮らしたいか』については、「今後も暮らしたい」が6.6%増えて47.5%と最も多く、次いで「わからない」が36.7%、「暮らしたいとは思わない」が13.2%となっています。

また、年代別では、「70歳以上」で「今後も暮らしたい」が50%を超えている一方で、すべての年代で「わからない」が30%を超えています。

○町の環境について

4 身近に自然を楽しめる空間について満足していますか？（例：利根川、城之内公園、いずみ緑道など）

		回答数	構成比(%)	R7 年度調査分(%)	増減
1	満足	110	24.2	19.2	5.0
2	やや満足	184	40.4	37.2	3.2
3	どちらともいえない	102	22.4	27.6	▲ 5.2
4	やや不満	30	6.6	6.6	0.0
5	不満	17	3.7	4.1	▲ 0.4
6	無回答	12	2.6	5.3	▲ 2.7
計		455	100.0	100.0	0.0

年代別(%)	20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	無回答
満足	33.3	22.0	27.0	22.0	22.8	23.8	0.0
やや満足	43.6	44.1	38.1	34.1	40.5	44.3	0.0
どちらともいえない	12.8	20.3	25.4	28.6	22.8	20.5	0.0
やや不満	7.7	3.4	6.3	8.8	6.3	5.7	50.0
不満	2.6	8.5	3.2	4.4	5.1	0.8	0.0
無回答	0.0	1.7	0.0	2.2	2.5	4.9	50.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

『身近に自然を楽しめる空間』については、「満足」と「やや満足」で64.6%と約7割を占める結果となりました。

またすべての年代において「満足」と「やや満足」が50%以上になっているほか、「やや不満」と「不満」に大幅な差はありませんでした。

5 環境学習の機会について満足していますか？（例：環境イベントの実施、ごみ処理施設や企業の工場の見学など）

		回答数	構成比(%)	R7 年度調査分(%)	増減
1	満足	42	9.2	9.1	0.1
2	やや満足	85	18.7	16.4	2.3
3	どちらともいえない	269	59.1	57.1	2.0
4	やや不満	23	5.1	7.1	▲ 2.0
5	不満	9	2.0	2.5	▲ 0.5
6	無回答	27	5.9	7.8	▲ 1.9
計		455	100.0	100.0	0.0

年代別(%)	20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	無回答
満足	20.5	5.1	12.7	7.7	8.9	7.4	0.0
やや満足	23.1	20.3	20.6	11.0	16.5	23.0	0.0
どちらともいえない	48.7	64.4	61.9	68.1	60.8	50.8	50.0
やや不満	5.1	5.1	4.8	7.7	3.8	4.1	0.0
不満	0.0	1.7	0.0	2.2	5.1	1.6	0.0
無回答	2.6	3.4	0.0	3.3	5.1	13.1	50.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

『環境学習の機会』については、「どちらともいえない」が59.1%と最も多い結果となりました。

また、30 代以上のすべての年代において、「どちらともいえない」の割合が50%以上を占めています。

○災害時等の緊急情報収集手段について

6 災害時等の緊急情報をどのような方法で入手していますか？
(あてはまるものすべて選択してください)

■回答者数 437 人

		回答数	構成比(%)
1	防災行政無線	242	55.4
2	大泉町安全・安心メール	103	23.6
3	大泉町電話配信サービス	12	2.7
4	大泉町ホームページ	80	18.3
5	大泉町X(旧 Twitter)・大泉町Facebook	7	1.6
6	大泉町 LINE	110	25.2
7	親族・地域(近所)からの呼びかけ	80	18.3
8	テレビ	187	42.8
9	ラジオ	49	11.2
10	インターネット	122	27.9
11	役場・消防の広報車	94	21.5
12	緊急速報メール(ドコモ・ソフトバンク・au・楽天)	191	43.7
13	その他	9	2.1
計		1286	

年代別(%)	20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	無回答
防災行政無線	3.7	5.9	6.2	10.8	10.1	18.8	0.0
大泉町安全・安心メール	0.5	2.5	5.9	5.0	4.1	5.5	0.0
大泉町電話配信サービス	0.5	0.2	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0
大泉町ホームページ	0.7	2.3	2.3	4.3	4.3	4.3	0.0
大泉町X(旧 Twitter)・大泉町Facebook	0.5	0.0	0.2	0.2	0.5	0.2	0.0
大泉町LINE	1.6	3.9	5.3	5.5	4.6	4.3	0.0
親族・地域(近所)からの呼びかけ	2.5	0.9	2.5	2.1	3.2	7.1	0.0
テレビ	3.9	3.9	5.0	8.2	7.1	14.4	0.2
ラジオ	0.5	0.5	1.1	1.8	2.3	5.0	0.0
インターネット	4.6	5.3	4.8	7.8	2.7	2.7	0.0
役場・消防の広報車	1.1	0.7	1.6	1.4	4.3	12.1	0.2
緊急速報メール(ドコモ・ソフトバンク・au・楽天)	1.8	4.3	6.4	8.5	9.4	13.0	0.2
その他	0.2	0.5	0.2	0.7	0.2	0.2	0.0

『緊急情報の情報収集手段』については、「防災行政無線」が55.4%と最も多く、次いで「緊急速報メール」が43.7%、「テレビ」が42.8%などとなっています。

7 防災行政無線の放送が聞こえなかった場合に、無料で内容を確認できるテレホンサービスを知っていますか？（1つ選択してください）

		回答数	構成比(%)
1	知っていた	25	5.5
2	知らない	417	91.6
3	無回答	13	2.9
計		455	100.0

R7 年度調査分(%)	増減
8.0	▲ 2.5
86.3	5.3
5.7	▲ 2.8
100.0	0.0

年代別(%)	20代以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
知っていた	2.6	6.8	11.1	2.2	3.8	6.6	0.0
知らない	97.4	91.5	88.9	94.5	92.4	89.3	50.0
無回答	0.0	1.7	0.0	3.3	3.8	4.1	50.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

『テレホンサービス』については、「知らない」が前年度より 5.3%増え 91.6 と最も多い結果となりました。年代別に見た際も、全世代で約9割近くが「知らない」と回答しています。

○町の全体的な取り組みについて

8 大泉町の全体的な取り組みについて、あなたが感じている「満足度」に○を付け、100点満点としたときの「点数」をご記入ください。

【満足度】

	回答数	構成比(%)	R7 年度調査分 (%)	増減
満足	48	10.5	8.2	2.3
やや満足	208	45.7	40.6	5.1
どちらともいえない	132	29.0	32.4	▲ 3.4
やや不満	35	7.7	10.3	▲ 2.6
不満	15	3.3	3.2	0.1
無回答	17	3.7	5.3	▲ 1.6
計	455	99.9	100.0	▲ 0.1

『大泉町の全体的な取り組み』の満足度は、「やや満足」が45.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が29.0%、「満足」が10.5%となっています。

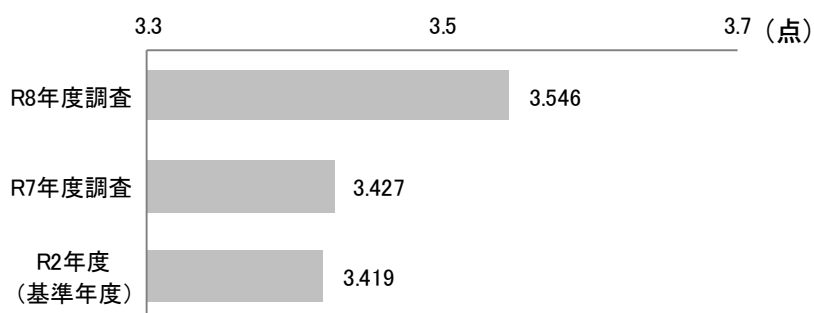
【点数】

	年代別							全体
	20代以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	
100点満点中の平均点	69.7	66.1	68.7	66.8	67.3	65.4	37.0	66.8
有効回答数	30	51	55	76	68	107	1	388
無回答数	9	8	8	15	11	15	1	67
回答数計	39	59	63	91	79	122	2	455

『大泉町の全体的な取り組み』の点数は、「100点満点中の平均点」が66.8点となっており、令和7年度調査実施分の63.7点よりも3.1点増加しています。

大泉町の全体的な取り組み 平均値比較

【満足度】 5 点満点中



【点数】 100 点満点中

